

# 令和 6 年度 文化財拠点施設整備事業 第 号

## 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書(1)	A-21	3階平面詳細図	A-41	(既設・撤去) 平面図
A-02	特記仕様書(2)	A-22	矩計詳細図(1)	A-42	(既設・撤去) 立面図(1)
A-03	特記仕様書(3)	A-23	矩計詳細図(2)	A-43	(既設・撤去) 立面図(2)
A-04	特記仕様書(4)	A-24	矩計詳細図(3)	A-44	(既設・撤去) 断面図
A-05	特記仕様書(5)	A-25	矩計詳細図(4)	A-45	(既設・撤去) 天井伏図
A-06	特記仕様書(6)	A-26	3階展開図	A-46	(既設・撤去) 矩計詳細図(1)
A-07	特記仕様書(7)	A-27	2階展開図	A-47	(既設・撤去) 矩計詳細図(2)
A-08	特記仕様書(改修-1)	A-28	1階展開図(1)	A-48	(既設・撤去) 1階展開図(1)
A-09	特記仕様書(改修-2)	A-29	1階展開図(2)	A-49	(既設・撤去) 1階展開図(2)
A-10	附近見取図	A-30	1階展開図(3)	A-50	(既設・撤去) 2階展開図(1)
A-11	敷地求積表	A-31	建具配置平面図・建具表(1)	A-51	(既設・撤去) 2階展開図(2)
A-12	敷地配置図	A-32	建具表(2)	A-52	(既設・撤去) 3階展開図
A-13	仕上表(1)	A-33	部分詳細図	A-53	(既設・撤去) 建具配置平面図
A-14	仕上表(2)	A-34	サイン家具配置図・サイン詳細図	A-54	(既設・撤去) 建具表(1)
A-15	平面図・屋根伏図	A-35	家具詳細図(1)	A-55	(既設・撤去) 建具表(2)
A-16	立面図	A-36	家具詳細図(2)	A-56	(既設・撤去) 外構図
A-17	断面図	A-37	可動式間仕切詳細図		
A-18	天井伏図	<del>A-38</del>	<del>外構図(別途工事)</del>		
A-19	1階平面詳細図	A-39	仮設計画図		
A-20	2階平面詳細図	A-40	(既設) 敷地配置図		



4 地業工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 3 地盤の載荷試験, 4 一般事項, 5 材料, 6 セメントミルク工法, 7 特定埋込杭工法, 8 継手, 9 杭頭の処理等, 10 材料, 11 継手, 12 一般事項, 13 材料その他, 14 アースドリル工法, 15 場所打ち鋼管コンクリート杭工法, 16 材料, 17 砂利及び砂地業, 18 捨コンクリート地業, 19 床下防湿層.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 8 施工完了後の継手の試験, 9 工法, 10 施工完了後の溶接部の試験, 6 コンクリート工事, 7 鉄骨工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 10 型枠一般, 11 材料, 12 型枠の存置期間及び取外し, 13 コンクリートの強度試験, 14 一般事項, 15 種類及び品質, 16 一般事項, 17 材料及び調合, 18 材料及び調合, 19 一般事項, 20 材料及び調合, 21 一般事項, 22 一般事項.

5 鉄筋工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 1 鉄筋, 2 溶接金網, 3 継手及び定着, 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔, 5 各部配筋, 6 圧接完了後の圧接部の試験, 7 工法.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 7 レディーミクストコンクリート工場の選定, 6 コンクリートの調合, 7 打継ぎ, 9 湿潤養生.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 1 鉄骨製作工場, 2 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置, 3 鋼材, 4 高力ボルト, 5 普通ボルト, 6 アンカーボルト, 7 溶接材料, 8 ターンバックル, 9 床構造用のデッキプレート, 10 スタッド.

7 鉄 骨 工 事	11 柱底均しモルタル (7.2.9)	柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※図示による	押 出 成 形 セ メ ン ト 板 工 事	9 外壁パネル構法 (8.4.3)	外壁パネル構法の種別 ・A種 ・B種 耐風圧性能及び耐震性能 ※図示による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ※図示による パネルの短辺小口相互の接合部の目地幅 ※10~20mm ・その他( ) 出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 ※10~20mm ・その他( ) 伸縮目地に耐火目地材を充填する場合 ※図示による	9 施工 (9.4.4)	接着工法の場合の目地処理でプレキャストコンクリート下地の場合 ※図示による 種別S-F1又はS-I-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ※図示による 一般部のルーフィングシートの張付けを機械的固定方法で行う場合の建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・その他( )	
	12 材料試験等 (7.2.10)	板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う ・行わない		10 間仕切壁パネル構法 (8.4.4)	間仕切壁パネル構法の種別 ・C種 ・D種 ・E種 耐震性能 ※図示による		10 防水層の種別及び工程 (9.5.3)	5節 塗膜防水 ・ウレタンゴム系塗膜防水 防水層の工法による種別 ・X-1 ・X-2 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による 種別X-1における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・その他( ) ・ゴムアスファルト系塗膜防水 防水層の種別 ・Y-1 ・Y-2 種別Y-2における工程5の保護層の仕様 ・保護コンクリート ・保護モルタル
13 工作図 (7.3.2)	3節 工作一般 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による	17 締付け (7.4.7)	JIS形高力ボルトの本締め付けでナット回転法を用いる時、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ※図示による	11 材料 (8.5.2)	5節 押出成形セメント板 (ECP) パネルの種類、形状、厚さ及び幅 ※図示による	11 施工 (9.6.4)	6節 ケイ酸質系塗布防水 壁及び天井部の防水層の下地 ※図示による 防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理 ・図示による その他の下地処理 ※図示による	
14 ボルト孔 (7.3.8)	母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・その他( )	18 溶接作業を行う技能資格者 (7.6.3)	6節 溶接接合 溶接作業を行う技能資格者に対して、技量付加試験を行う場合 ※図示による	12 外壁パネル工法 (8.5.3)	外壁パネル工法の種別 ・A種 ・B種 耐風圧性能及び耐震性能 ※図示による 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様 ・その他( ) パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ※図示による パネル相互の目地幅 ※図示による 出隅及び入隅のパネル接合目地幅 ※15mm程度 ・その他( )	12 材料 (9.7.2)	7節 シーリング シーリング材の種類及び施工箇所 ※図示による シーリング材表面に仕上げを行わない場合 ※図示による	
15 仮組 (7.3.10)	仮組 ・行う ・行わない	19 溶接の準備 (7.6.4)	開先の形状 ※図示による	13 間仕切壁パネル工法 (8.5.4)	間仕切壁パネル工法の種別 ・B種 ・C種 耐震性能 ※図示による	13 目地寸法 (9.7.3)	シーリング材の目地寸法 ・図示による	
16 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2)	4節 高力ボルト接合 すべり試験を実施する場合の試験の方法等 ※図示による	20 溶接施工 (7.6.7)	鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ※図示による 鋼製エンドタブの切断面の仕上げ ・図示による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ※図示による スカラップの形状 ※図示による	14 溝掘り及び開口部の措置 (8.5.5)	パネルにやむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 ※図示による	14 シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	
21 溶接部の試験 (7.6.12)	溶接部の外観試験の試験方法等 ※図示による 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない AQL (平均出良品率) ・2.5% ※4.0% 検査水準 ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準	22 デッキプレートの溶接 (7.7.8)	7節 スタッド溶接及びデッキプレートの溶接 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 ※図示による	9 防水工事	2節 アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・図示による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・図示による 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製L-30×15×2.0 (mm)程度 ・その他( ) 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ ・図示による 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ・図示による 絶縁用シートに使用する材料 ・図示による 立上り部の保護の乾式保護材 ・図示による 立上り部の保護のれんが ・図示による	15 保証規定	その他 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 保証期間 ※工事引渡し後 10年間 ・工事引渡し後 ( ) 年間	
23 塗装の範囲 (7.8.2)	8節 錆止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ※図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示による	24 塗料種別 (7.8.4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料の種別 ※A種 ・B種 耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料の種別 ・A種 ・B種	① 材料 (9.2.2)	2節 防水層の種類、種別及び工程 (9.2.3)	10 石工事	1節 共通事項 石材の割付け ・図示による	
25 耐火被覆の種類等 (7.9.2)	9節 耐火被覆 耐火被覆の種類、材料、工法等 ※図示による	26 耐火被覆の性能、品質等 (7.9.3)	耐火被覆の耐火性能 ※図示による	② 施工 (9.2.4)	下地がモルタル塗りの場合の適用箇所 ※図示による 立上り ・図示による 屋根露出防水断熱工法のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による	1 施工一般 (10.1.3)	2節 材料 天然石 岩石の種類 ※図示による 石材の形及び寸法 ※図示による 石材の表面仕上げの種類 ※図示による ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・有り ・無し テラゾ 種石の種類及び大きさ ・図示による テラゾブロックの形状による区分、仕上げ面による区分及び寸法、仕上げの種類 ※図示による テラゾタイルの寸法による区分、仕上げの種類 ※図示による	
27 アンカーボルトの設置等 (7.10.3)	10節 工事現場施工 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法 ※図示による 柱底均しモルタルの厚さ ※図示による 柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 ・B種	28 施工 (7.11.2)	11節 軽量形鋼 ボルトの接合方法 ※図示による	4 保護層等の施工 (9.2.5)	平場の保護コンクリートの厚さ ・図示による 立上り部の保護工法 ※図示による れんが押えの施工 ※図示による 屋上排水溝の設置 ※図示による	2 施工一般 (10.2.3)	3節 取付け金物 (10.2.2)	外壁湿式工法及び内壁空積工法の受金物の材質、形状及び寸法 ・図示による 外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ・図示による 特殊部位用金物 ※図示による アンカーの材質及び寸法 ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 ※図示による
29 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)	12節 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理方法等 ・プラスト処理 ・りん酸塩処理 ・その他( )			5 材料 (9.3.2)	3節 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・図示による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ・図示による 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製L-30×15×2.0 (mm)程度 ・その他( ) 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示による	3 材料 (10.3.2)	4節 取付け用金物 (10.2.2)	外壁湿式工法 石材の厚さ ※図示による 石材の加工 ※図示による
8 コン クリ ート ブ ロ ック 、 A L C パ ネ ル 及 び	1 材料 (8.2.2)	2節 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ ※図示による		6 防水層の種別及び工程 (9.3.3)	防水層の工法による種別 ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-I-T1 ・AS-I-J1 屋根露出防水断熱工法及び屋根露出防水断熱工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・その他( ) 屋根露出防水断熱工法における防湿用シートの設置 ※図示による 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による	4 材料 (10.3.3)	5節 取付け金物 (10.2.2)	外壁湿式工法及び内壁空積工法の受金物の材質、形状及び寸法 ・図示による 特殊部位用金物 ※図示による アンカーの材質及び寸法 ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 ※図示による
	2 モルタルの調合 (8.2.3)	モルタルの調合 ・図示による		7 材料 (9.4.2)	4節 合成高分子系ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類及び厚さ ※図示による 可塑性移行防止シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・その他( ) 固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの ・その他( ) 断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ・図示による	6 施工 (10.3.3)	4節 内壁空積工法 石材の厚さ ※図示による	
	3 鉄筋の加工及び組立 (8.2.5)	各部の配筋 ※図示による		⑦ 材料 (9.4.2)	4節 合成高分子系ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類及び厚さ ※図示による 可塑性移行防止シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・その他( ) 固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの ・その他( ) 断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ・図示による	8 施工 (10.4.3)	5節 乾式工法 石材の厚さ ※図示による 石材の加工 ※図示による	
	4 ブロック積み等 (8.2.7)	目地仕上げの工法 ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ		⑧ 防水層の種別及び工程 (9.4.3)	防水層の工法による種別 ・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-I-F1 ・S-I-F2 ・S-I-M1 ・S-I-M2 ・S-C1 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・その他( ) 仕上塗料の種類及び使用量 ※図示による 断熱工法における防湿用フィルムの設置 ※図示による S-C1の工程4の保護モルタルの塗厚 ※図示による	9 材料 (10.5.2)	6節 下地ごしらえの工法 ・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ※あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅 ※6mm以上 ・その他( ) 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 ・図示による	
	5 モルタル及びコンクリートの充填 (8.2.8)	充填するブロックの範囲 ※図示による			10 施工 (10.5.3)	5節 乾式工法 石材の厚さ ※図示による 石材の加工 ※図示による	7 材料 (10.4.2)	4節 内壁空積工法 石材の厚さ ※図示による
	6 材料 (8.3.2)	3節 コンクリートブロック幅壁及び塀 ブロックの種類、モジュール呼び寸法及び正味厚さ ・図示による 塀の場合で化粧有りのブロックの適用 ※図示による			11 床の石張り (10.6.2)	6節 乾式工法 石材の厚さ ※図示による 石材の加工 ※図示による	8 施工 (10.4.3)	下地ごしらえの工法 ・あと施工アンカー工法 ※あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地の目地幅 ※6mm以上 ・その他( ) 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 ※6mm程度 ・その他( )
	7 鉄筋の加工及び組立 (8.3.4)	壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による 各部の配筋 ※図示による				9 材料 (10.5.2)	9 材料 (10.5.2)	5節 乾式工法 石材の厚さ ※図示による 石材の加工 ※図示による
	8 材料 (8.4.2)	4節 ALCパネル パネルの区分、単位荷重、厚さ、幅、長さ、耐火性能等 ※図示による 耐火目地材 ※図示による					10 施工 (10.5.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 目地幅 ※8mm以上 ・その他( ) 目地をシーリング材で仕上げる場合 ・図示による
							6節 床及び階段の石張り 石材の厚さ ※図示による 浸透性吸水防止剤 ・行う ・行わない 裏面処理 ・行う ・行わない 裏打ち処理 ・行う ・行わない 一般目地の目地幅 ※図示による 伸縮調整目地の位置 ・図示による	

REVISION	 株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE				FILE No.
		DRAWING	特記仕様書 (3)	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	A-03

10 石 工 事	12 階段の石張り (10.6.3)	石材の厚さ ※図示による 石裏面処理 ・行う ・行わない 一般目地の目地幅 ※図示による 伸縮調整目地の位置及びシーリング材の目地寸法 ・図示による	5 紀州材	その他 ※本工事に使用する木材については、原則として紀州材の杉又はひのきとし、適用箇所等は図示による。 紀州材とは、県内の森林で生産され、県内で製材加工された木材及び木材加工品をいう。紀州材であることを証明する書類として「紀州材証明書」の提出が必要。(和歌山県条例第14号「和歌山県木材業者の登録に関する条例」において登録された者より購入した場合に発行される)	10 材料 (14.7.2)	7節 アルミニウム製笠木 アルミニウム製笠木の部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 笠木本体の材料の表面処理の種別 ※図示による	
	13 特殊部位の石張り (10.7.2)	7節 特殊部位の石張り 笠木、甲板等の石材の取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 石材の厚さ ※図示による 石裏面処理 ・行う ・行わない 乾式工法の場合の取付け代 ・図示による 石材の裏面の補強用モルタル ・行う ・行わない				11 工法 (14.7.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による
	(10.7.3)	隔て板の石材の厚さ ・図示による					
11 タ イ ル 工 事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	1節 共通事項 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ・図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	2節 長尺金属板葺 長尺金属板の種類に応じた板及びコイルの種類、塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等 ※図示による 下葺材の種類 ※図示による	15 左 官 工 事	1 ラス系下地 (15.2.4)	2節 下地 ラス系下地の種類 通気工法 ・二層下地 ・単層下地 直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 外張断熱工法で断熱材の外側に鋼線を施工する形式の通気工法を行う場合 ※図示による
	② 見本焼き、試験施工 (11.1.4)	タイルの見本焼き ・行う ・行わない 試験張り ・行う ・行わない					2節 屋根葺形式 ※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 屋根葺形式に応じた、葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等 ※図示による 横葺の場合のけらばの適用 ・つかみ込み納め ・けらば包み納め 雪止め ・設ける ・設けない
③ 材料 (11.2.2)	2節 セメントモルタルによるタイル張り タイル ※図示による 役物 ※図示による	3節 折板葺 折板の形式、山高・山ピッチ、耐力及び材料による区分並びに厚さ ※図示による 折板に使用する材料の材質の種類 ※図示による	3 材料 (13.3.2)	軒先面戸板 ・使用する ・使用しない 折板に、断熱材張りを行う場合、断熱材の種類、厚さ、防火性能等 ※図示による	② セっこうボード、 その他のボード下地 (15.2.5)	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ ※図示による 木質系セメント板の種類及び厚さ ※図示による	
④ 張付け用材料等 (11.2.3)	既調合モルタル ※図示による					4 工法 (13.3.3)	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 耐雪性能に応じた工法 ・図示による
⑤ 施工 (11.2.6)	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル ・改良積上げ張り 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ユニットタイル (内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り	4節 粘土瓦葺 粘土瓦 種類、大きさ、産地等 ※図示による 役物瓦の種類、雪止め瓦の使用等 ※図示による J I S A 5 2 0 8に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない 瓦葺木の材質、寸法等 ・図示による 棟補強用心材の材質、寸法 ・図示による 瓦葺結用釘又はねじの種類、径及び長さ ※図示による 棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示による	4 工法 (13.4.2)	5 材料 (13.4.2)	③ こまい下地 (15.2.6)	木ずり用小幅板の樹種 ※心去り材の杉 ・その他 ( )	
⑥ 張付け用材料等 (11.2.3)	既調合モルタル ※図示による					6 工法 (13.4.3)	建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等の工法 ※図示による 瓦葺結用釘又はねじの有効長さの最小値 ※図示による 棟木の留付け工法 ※図示による 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ ・モルタル ・瓦葺き用しっくい
⑦ 施工 (11.3.5)	下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル ・内装タイル接着剤張り 外装タイル ・外装タイル接着剤張り 外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない ユニットタイル (内装タイル以外) ・外装タイル接着剤張り	5節 とい といその他の材種等 ※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※図示による	6 工法 (13.4.3)	⑦ 材料 (13.5.2)	④ 材料 (15.3.2)	3節 モルタル塗り モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材の適用及び形状 ※図示による	
6 材料 (11.3.2)	目地詰め ・行う ・行わない					7 材料 (13.5.2)	建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合の適用範囲 ※図示による
7 張付け用材料 (11.3.3)	シーリング材の種類 ・図示による	6節 とい といその他の材種等 ※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※図示による	7 工法 (13.5.2)	⑧ 工法 (13.5.2)	⑥ 工法 (15.3.5)	床の目地の目地割り及び種類 ・図示による 外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない	
8 シーリング材 (11.3.4)	シーリング材の種類 ・図示による					8 工法 (13.5.2)	鋼管製といの防露巻き ・図示による
9 施工 (11.3.5)	下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※図示による 壁タイル張りの工法 内装タイル ・内装タイル接着剤張り 外装タイル ・外装タイル接着剤張り 外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない ユニットタイル (内装タイル以外) ・外装タイル接着剤張り	7節 とい といその他の材種等 ※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※図示による	8 工法 (13.5.2)	⑧ 工法 (13.5.2)	⑦ 材料 (15.6.2)	6節 仕上塗材仕上げ 仕上塗材の種類 (呼び名)、仕上げの形状及び工法 ※図示による 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材を用いる場合の適用 ・図示による 複層仕上塗材の耐水性 ・図示による 複層仕上塗材の上塗材の樹脂、外観および溶媒の種類 ※図示による	
12 木 工 事	① 木材 (12.2.1)					2節 材料 木材の含水率 ※A種 ・B種 製材 ※図示による 造作用集成材等 ※図示による 造作用単板積層材 ※図示による 直交集成板 ※図示による 合板等 ※図示による	14 金 属 工 事
② 接合具等 (12.2.2)	造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭埋し 諸金物の形状、寸法及び材質 ・図示による	2節 表面処理 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・A B-1種 ・A B-2種 ・A C-1種 ・A C-2種 ・B A-1種 ・B A-2種 ・B B-1種 ・B B-2種 ・B C-1種 ・B C-2種 ・C種 C種の表面処理で常温乾燥形の塗装の場合 ・図示による 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・その他 ( ) 色合等 ※図示による	11 材料 (15.10.2)	しっくいの適用 ※図示による 色しっくいの適用 ※図示による			
③ 防蟻・防蟻処理 (12.3.1)	3節 防蟻・防蟻・防虫処理 木材への防蟻・防蟻の適用部材及び処理の種類 ・薬剤の加圧注入処理等 適用部材及び保存処理性能区分 ※図示による ・薬剤の塗布等 附属書A (規定)に基づく表面処理用木材保存剤による処理の適用、薬剤の種類及び適用部材 ※図示による 処理の方法 ・図示による ※薬剤の製造所の仕様 ・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 ※図示による ・合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理の適用 ※図示による	3節 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)	2節 鉄鋼の亜鉛めっきの種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種	12 調合及び塗厚 (15.10.3)	既調合しっくいの調合、塗厚等 ・図示による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ・図示による		
④ 防虫処理 (12.3.2)	防虫処理の適用 ※図示による	4節 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋内 ※19形 ・25形 屋外 ・19形 ※25形	4節 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋内 ※19形 ・25形 屋外 ・19形 ※25形	13 工法 (15.10.4)	既調合しっくいの上塗りの仕上げ工法の種別 ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ		
	4節 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 5節 窓、出入口その他 6節 床板張り 7節 壁及び天井下地	5節 形式及び寸法 (14.4.3)	5節 形式及び寸法 形式及び寸法 ※図示による	14 材料 (15.11.2)	11節 こまい壁塗り 土壁用のりの種類 ※つのみ ・その他 ( ) 砂壁用のりの種類 ※ふのみ ・その他 ( ) 土物仕上げに用いる土色の種類 ※図示による 大津仕上げに用いる土色の種類 ※図示による 砂色の種類 ※図示による		
		6節 形式及び寸法 (14.5.3)	6節 形式及び寸法 スタッド、ランナ等の種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 スタッドの高さが5mを超える場合のスタッド、ランナ等の種類 ※図示による	15 調合 (15.11.3)	下塗りの調合 ・図示による		
		7節 工法 (14.5.4)	7節 工法 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※図示による	16 塗厚 (15.11.4)	塗厚 ・図示による 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ※図示による		
		8節 材料 (14.6.2)	8節 金属成形板張り 金属成形板の種類及び表面処理 ※図示による	17 工程 (15.11.5)	こまい壁の工程の種別 ※A種 ・B種		
		9節 工法 (14.6.3)	取付け用下地 ※図示による 長尺のものの温度変化に対する伸縮調整継手 ※図示による	18 土物仕上げ (15.11.7)	工法の種類 ※図示による ちりじゃくり ※図示による		
				19 大津仕上げ (15.11.8)	工法の種類 ※図示による ちりじゃくり ※図示による		

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE			FILE No.
		DRAWING	特記仕様書 (4)	一級建築士事務所登録第(〒)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.

15	20 配合及び密度等 (15. 12. 3)	12節 ロックウール吹付け 仕上げ吹付け厚さ ※図示による	25 鍵 (16. 8. 4)	マスターキー ・製作する ・製作しない 鍵の製作本数等 ・図示による	6 材料 (17. 3. 2)	3節 P Cカーテンウォール コンクリートの種類 ※図示による コンクリートの品質 ・図示による 鉄筋の種類記号 ※S D 2 9 5 A ・その他 ( ) 補強鉄線の径及び網目寸法 ※図示による シーリング材の種類 ※図示による 耐火目地材 ※図示による 断熱材 ※図示による 先付け材料の仕上げ材 (タイル等) ・建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 ※図示による	
	16 建具工事	1 防火戸 (16. 1. 3)		9節 自動ドア開閉装置 駆動装置の性能値 ※図示による 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能値 ・図示による 検出装置の性能 ※図示による		7 形状及び仕上げ (17. 3. 3)	7節 製品の見え掛り部の寸法許容差 ・図示による P Cカーテンウォールの仕上げ ※図示による 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 ※図示による
	2 見本の製作等 (16. 1. 4)	建具見本 ・製作する ・製作しない 特殊な建具の仮組 ・実施する ・実施しない	26 性能 (16. 9. 2)	10節 戸の開閉方式 ※図示による 引き戸用検出装置の種類 ※図示による 凍結防止措置を行う場合 ※図示による	8 製作 (17. 3. 4)	8節 鉄筋の配筋 ・図示による	
	3 その他 (16. 1. 6)	防犯建物部品の適用 ※図示による	27 機構 (16. 9. 3)	11節 自閉式上吊り引戸装置 自閉式上吊り引戸装置の性能 ・図示による	9 取付け (17. 3. 5)	9節 カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ・図示による	
	4 性能及び構造 (16. 2. 2)	2節 アルミニウム製建具 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法 ※図示による 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ※図示による 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※図示による 耐震ドアとする場合の面内変形追従性の等級 ※図示による	28 性能等 (16. 10. 3)	11節 重量シャッター シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ※図示による 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 電動式シャッターの急降下制動装置又は急降下停止装置の設置箇所 ※図示による 電動式シャッターの障害物感知装置の設置箇所 ※図示による 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの設置箇所 ※図示による シャッターケース ・設ける ・設けない	10 ガラスの取付け (17. 3. 6)	10節 構造ガasketを用いるガラスの取付け ※図示による	
	5 材料 (16. 2. 3)	防虫網の材質、線径及び網目 ・図示による 防鳥網の適用 ※図示による	29 形式及び機構 (16. 11. 2)	12節 スラット及びシャッターケース用鋼板の種類及びめっきの付着量 ※図示による	18 塗装工事	1 各部の素地ごしらえ (18. 2. 2)	2節 素地ごしらえ 各素地における素地ごしらえの種別 木部 ・A種 ・B種 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 モルタル面及びせつこうプラスター面 ・A種 ※B種 コンクリート面及びA L Cパネル面 ・A種 ・B種 せつこうボード面及びその他ボード面 ・A種 ・B種
	6 形状及び仕上げ (16. 2. 4)	建具の枠の見込み寸法 ※図示による アルミニウムの表面処理の種類、標準色・特注色の別等 ※図示による 結露水の処理方法 ※図示による	30 材料 (16. 11. 3)	12節 軽量シャッター 開閉方式の種類 ・電動式 (手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ※図示による		2 塗料種別 (18. 3. 2)	3節 錆止め塗料塗り 鉄鋼面の錆止め塗料の種別 ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別 ・A種 ・B種 ・C種
	7 工法 (16. 2. 5)	水切り板、ぜん板等 ※図示による 内付け建具の適用 ※図示による	31 形式及び機構 (16. 12. 2)	13節 スラットの材質の種類及びめっきの付着量 ※図示による	3 錆止め塗料塗り (18. 3. 3)	4節 鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種	
	8 性能及び構造 (16. 3. 2)	3節 樹脂製建具 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法 ※図示による 外部に面する建具を木下地に取り付ける場合の種別 ※図示による 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※図示による 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ※図示による	32 材料 (16. 12. 3)	13節 オーバーヘッドドア セクション材料による区分 ※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ 耐風圧性能の区分 ※図示による 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	4 各塗り等の種別 (18. 4. 2)	4節 各塗り等の種別 木部合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ・A種 ・B種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ・A種 ※B種 クリヤラッカー塗り (C L) ・A種 ※B種 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (N A D) ・A種 ※B種 鉄鋼面の耐候性塗料塗り (D P) の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り (D P) の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り (D P) ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面等のつや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) ・A種 ※B種	
	9 材料 (16. 3. 3)	ガラス ※複層ガラス ・その他 ( )	33 形状及び仕上げ (16. 12. 4)	14節 ガイドレールに使用する材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	5 (18. 8. 4)	5節 屋内の鉄鋼面のつや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) ・A種 ※B種	
	10 形状及び仕上げ (16. 3. 4)	建具の枠の見込み寸法 ※図示による 表面色 ・標準色 ・特注色	34 形式及び機構 (16. 13. 2)	14節 板ガラスの種類、品種及び厚さ等 ※図示による ガラス留め材の種類 ・シーリング (種類記号: ) ・ガスケット (種類記号: )	6 (18. 9. 2)	6節 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ・A種 ※B種 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P) ・A種 ※B種 ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) ・A種 ※B種 工程1の着色の適用 ※図示による	
	11 性能及び構造 (16. 4. 2)	4節 簡易気密型ドアセットの適用 ※図示による 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ※図示による	35 材料 (16. 13. 3)	板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※建具の製造所の仕様 ・その他 ( )	7 (18. 10. 2)	7節 オイルステン塗り (O S) の塗料 ※図示による 木材保護塗料塗り (W P) ・A種 ※B種	
	12 材料 (16. 4. 3)	点検口の類 ※図示による	36 材料 (16. 14. 2)	14節 ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ ※図示による 壁用金属枠及び補強材 ※図示による カ青の材質、寸法及び形状 ・図示による 化粧目地モルタルの色 ※図示による シーリング材の種類 ※図示による 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による ガラスブロックの目地幅の寸法 ・図示による 伸縮調整目地の位置 ・図示による 目地部の横カ青の納まり ※ガラスブロックの製造所の仕様 ・その他 ( )	8 (18. 11. 2)	8節 屋外の鉄鋼面のつや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) ・A種 ※B種 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P) ・A種 ※B種 ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) ・A種 ※B種 工程1の着色の適用 ※図示による	
	12 形状及び仕上げ (16. 4. 4)	鋼板類の厚さ ※図示による	37 ガラス溝の寸法、形状等 (16. 14. 3)	15節 ガラスブロック積み (16. 14. 5)	9 (18. 12. 2)	9節 オイルステン塗り (O S) の塗料 ※図示による 木材保護塗料塗り (W P) ・A種 ※B種	
	13 性能及び構造 (16. 5. 2)	5節 簡易気密型ドアセットの適用 ※図示による	17 カーテンウォール工事	1 共通事項 カーテンウォールの耐風圧性、耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等の諸性能値 ※図示による 性能の確認方法及び判定方法 ・図示による	10 (18. 12. 2)	10節 木材保護塗料塗り (W P) ・A種 ※B種	
	14 材料 (16. 5. 3)	鋼板類の種類 ※図示による 召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金		2 材料 (17. 2. 2)	2節 メタルカーテンウォール カーテンウォールに使用する金属系材料の種類 ※図示による シーリング材の種類 ※図示による ガラス取付け材料のシーリング材の種類 ※図示による ガラス取付け材料の構造ガasketの材質・形状等 ※図示による 断熱材 ※図示による	19 内装工事	1 材料 (19. 2. 2)
	15 形状及び仕上げ (16. 5. 4)	鋼板類の厚さ ※図示による	3 形状及び仕上げ (17. 2. 3)	製品の寸法許容差 ・図示による 製品の見え掛り部分の仕上げ ※図示による ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 ・その他 ( )	2 施工 (19. 2. 3)		2節 ビニル床シート張りの接合部の処理の工法 ※熱溶接工法 ・その他 ( )
	16 材料 (16. 6. 3)	6節 ステンレス製建具 ステンレス鋼板の種類 ・図示による	4 取付け (17. 2. 5)	躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ・図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ・図示による	20 形状及び仕上げ (16. 7. 3)	20 形状及び仕上げ (16. 7. 3)	
	17 形状及び仕上げ (16. 6. 4)	表面仕上げ ※H L ・その他 ( )	5 ガラスの取付け (17. 2. 6)	ガラスの取付け ※図示による			
	18 工法 (16. 6. 5)	ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	21 工法 (16. 7. 4)	8節 建具用金物 既製品又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のもの ※建具の製造所の仕様 ・その他 ( )	22 一般事項 (16. 8. 1)	23 材質、形状及び寸法 (16. 8. 2)	
	19 材料 (16. 7. 2)	7節 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率の種別 ※A種 ・B種 フラッシュ戸の表面材の種類 ※図示による 表面材の品質等、材料ホルムアルデヒド放散量等 ・図示による ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) の表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、 接着剤による区分及び難燃性による区分 ※図示による かまち及び鏡板の種類 ※図示による ふすまの材料の種類 ・I型 ・II型 ふすま紙の上張りの種類 ※図示による 枠及びくつずりの材料 ※図示による フラッシュ戸の表面板の厚さ ・図示による 各木製建具の見込み寸法 ・図示による					
	20 形状及び仕上げ (16. 7. 3)	フラッシュ戸の工法で引戸の定規線の召合せかまちをいんろう付きとする場合 ※図示による ふすまの線の仕上げ ※図示による	22 一般事項 (16. 8. 1)	8節 建具用金物 既製品又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のもの ※建具の製造所の仕様 ・その他 ( )	23 材質、形状及び寸法 (16. 8. 2)	24 取付け施工 (16. 8. 3)	
	21 工法 (16. 7. 4)	フラッシュ戸の工法で引戸の定規線の召合せかまちをいんろう付きとする場合 ※図示による ふすまの線の仕上げ ※図示による					
	22 一般事項 (16. 8. 1)	8節 建具用金物 既製品又はこれに準ずる金物のうち、機能上必要な最小限のもの ※建具の製造所の仕様 ・その他 ( )	23 材質、形状及び寸法 (16. 8. 2)	金物の種類及び見え掛り部の材質 ※図示による 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 木製建具用の戸車及びレール ・図示による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ※図示による	24 取付け施工 (16. 8. 3)	24 取付け施工 (16. 8. 3)	
	23 材質、形状及び寸法 (16. 8. 2)	金物の種類及び見え掛り部の材質 ※図示による 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ・図示による 木製建具用の戸車及びレール ・図示による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ※図示による					

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE				FILE No.
		DRAWING	特記仕様書 ( 5 )	一級建築士事務所県登録第(〒)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	A-05

19 内 装 工 事	3 材料及び工法 (19.3.2) (19.3.3)	3節 カーベツト敷き 織じゅうたんの種類、織り方、パイルの形状、色柄、パイル糸の種類及び帯電性 ※図示による 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・その他（ ） タフテッドカーベツトのパイルの形状、パイル長及び帯電性 ※図示による タフテッドカーベツトの工法 ・グリッパー工法 ・全面接着工法 タイルカーベツトの種類、パイルの形状、寸法、総厚さ及び敷き方等 ※図示による 下敷き材 ・図示による 取付け用付属品である見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示による	6 階段滑り止め (20.2.7)	材種、形状、寸法等 ※図示による 取付け工法の種類 ※接着工法 ・埋込み工法	5 路盤の厚さ及び仕上り (22.3.2)	3節 路盤 路盤の厚さ ※図示による
	4 材料及び工法 (19.4.2) (19.4.3)	4節 合成樹脂塗床 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類 ・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法 ・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	7 黒板及びホワイト ボード (20.2.9)	黒板 ※図示による ホワイトボード ※図示による	6 材料 (22.3.3)	路盤材料の種類 ※図示による
5 材料 (19.5.2)	5節 フローリング張り フローリングの種類 ※図示による	8 鏡 (20.2.10)	鏡の厚さ ※5mm ・その他（ ）	7 舗装の構成及び仕上り (22.4.2)	舗装の構成及び仕上り 再生アスファルトの種類 ※図示による	4節 アスファルト舗装 アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による
6 工法一般等 (19.5.3) (19.5.4)	フローリング張りの工法 ・釘留め工法 ・根木張り工法 ・直張り工法 ・フローリングボード 樹種 ※図示による 複合フローリング 樹種 ※図示による 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・接着工法 フローリングの適用 ・フローリングボード ・複合フローリング ・フローリングブロック フローリングの厚さ、幅、長さ及び樹種 ※図示による 複合フローリングの表層 ※図示による フローリング裏面の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・その他（ ）	10 タラップ (20.2.12)	種類及び仕上げ ・図示による	8 材料 (22.4.3)	表層の加熱アスファルト混合物等の種類 ※図示による	5節 コンクリート舗装 コンクリート舗装の構成及び厚さ ※図示による
(19.5.5)		11 煙突ライニング (20.2.13)	煙突用成形ライニング材の適用安全使用温度 ( °C) 工法 ( )	9 配合その他 (22.4.4)	表層の加熱アスファルト混合物等の種類 ※図示による	5節 コンクリート舗装 コンクリート舗装の構成及び厚さ ※図示による
7 材料 (19.6.2)	6節 畳敷き 畳の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 D種の場合の畳床記号 ・K T - I ・K T - II ・K T - III ・K T - K ・K T - N 衝撃緩和型畳の畳表 ・C 1 ・C 2 ・畳製造所の仕様	12 ブラインド (20.2.14)	・横型 種類、幅、高さ及びスラットの幅並びにスラット、ヘッドボックス及びボトムレールの材種 ※図示による ・縦型 幅及び高さ並びに開閉方式及び操作方法 ※図示による スラット ・焼付け塗装仕上げのアルミスラット ・消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工のクロススラット スラットの幅 ※図示による	10 試験 (22.4.6)	アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	5節 コンクリート舗装 コンクリート舗装の構成及び厚さ ※図示による
8 材料 (19.7.2)	7節 セッコウボード、その他ボード及び合板張り セッコウボード、その他のボードの種類、厚さ等 ※図示による 合板の樹種名、板面の品質、厚さ及び防虫処理等 ※図示による	13 ロールスクリーン (20.2.15)	ロールスクリーンの操作方式、幅及び高さ ※図示による スクリーンの材種、品質等 ※図示による 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様 ・その他（ ）	11 舗装の構成及び仕上り (22.5.2)	コンクリートの種類、設計基準強度、スラブ及び粗骨材の最大寸法 ・図示による 早強ポルトランドセメントを用いる場合 ※図示による 注入目地材料の種類 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
9 工法 (19.7.3)	合板類の張付けの種類 ・A種 ・B種 セッコウボードの目地工法の種類 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法	14 カーテン及び カーテンレール (20.2.16)	カーテンのシングル・ダブルの別、片引き・引分け等の形式、開閉操作方式 ※図示による カーテン用生地の種類、品質、特殊加工等 ※図示による カーテンレールのレール及びブラケットの強さによる区分、レールの材料による区分、レールの仕上げ及び形状 ・図示による カーテンのひだの種類 ・フランスひだ (三つひだ) ・箱ひだ、つまひだ (二つひだ) ・プレーンひだ、片ひだ 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・その他（ ） カーテン用付属金物のフック ※鋼製 ・樹脂製	12 材料 (22.5.3)	コンクリートの種類、設計基準強度、スラブ及び粗骨材の最大寸法 ・図示による 早強ポルトランドセメントを用いる場合 ※図示による 注入目地材料の種類 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
10 材料 (19.8.2)	8節 壁紙張り 壁紙の種類及び防火性能 ※図示による	15 材料 (20.3.2)	3節 プレキャストコンクリート工事 補強鉄線の径及び網目寸法 ※図示による	13 施工 (22.5.4)	コンクリート版の目地の種類及び間隔 ・図示による 目地の構造 ・図示による	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
11 施工 (19.8.3)	モルタル面及びセッコウプラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 セッコウボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種	16 製作 (20.3.3)	コンクリートの設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) ・図示による 鉄筋の配筋 ・図示による	14 舗装の構成及び仕上り (22.6.2)	加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石 ※図示による	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
12 断熱材打込み工法 (19.9.3)	9節 断熱・防露 断熱材の種類及び厚さ ※図示による	17 養生その他 (20.3.4)	取付け方法 ※図示による	15 材料 (22.6.3)	加熱系混合物の配合その他 ※図示による ニート工法及び塗布工法の配合その他 ※図示による	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
13 断熱材現場発泡工法 (19.9.4)	断熱材の種類 ・A種 1 ・A種 1 H 断熱材の取付け厚さ ※図示による	18 材料及び工法 (20.4.2) (20.4.3)	4節 間知石及びコンクリート間知ブロック積み 間知石の材種 ※図示による 間知石積みの積み方 ・布積み ※谷積み 間知石積みの目塗り、伸縮調整目地の材種、厚さ等 ※図示による コンクリート間知ブロックの種類及び質量区分 ※図示による	16 配合その他 (22.6.4)	加熱系混合物の配合その他 ※図示による ニート工法及び塗布工法の配合その他 ※図示による	6節 カラー舗装 カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ ※図示による 表層に用いる加熱系混合物の結材の種類 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による 常温系カラー舗装 工法 ※図示による 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	21 排水工事	2節 屋外雨水排水 排水管用材料の材種、種類・記号、呼び径等 ※図示による 側溝の形状及び寸法 ※図示による 排水溝、ふたの種類等 ※図示による 鋸鉄製のふたの名称、種類及び適用荷重 ※図示による グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインパーピッチ、ボルト固定の有無等 ※図示による コンクリートの種類、設計基準強度及びスランプ ・図示による 現場打ちの場合の鉄筋の種類・記号等 ※図示による 凍上抑制層に用いる材料 ※図示による 砂の粒状試験 ・行う ・行わない 埋戻しに用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種	17 試験 (22.6.6)	加熱系混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	7節 透水性アスファルト舗装 透水性アスファルト舗装の構成 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による
	2 可動間仕切 (20.2.3)	8節 壁紙張り 壁紙の種類及び防火性能 ※図示による	22 舗装工事	3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	18 舗装の構成及び仕上り (22.7.2)	透水性アスファルト舗装の構成 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による
3 移動間仕切 (20.2.4)	パネル表面仕上げ ※図示による パネル内に取り付ける建具の寸法及び形状 ※図示による	2節 路床 凍上抑制層の適用及び厚さ ※図示による 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ※図示による 路床安定処理の適用及び方法 ※図示による	4節 間知石及びコンクリート間知ブロック積み 間知石の材種 ※図示による 間知石積みの積み方 ・布積み ※谷積み 間知石積みの目塗り、伸縮調整目地の材種、厚さ等 ※図示による コンクリート間知ブロックの種類及び質量区分 ※図示による	19 試験 (22.7.6)	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	7節 透水性アスファルト舗装 透水性アスファルト舗装の構成 ※図示による 舗装の平坦性 ・図示による
4 トイレブース (20.2.5)	パネル表面材 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部の種類 ※幅木タイプ ・その他（ ） ドアエッジの材質 ※トイレブースの製造所の仕様 ・その他（ ）	3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	5節 養生その他 (20.3.4)	20 舗装の構成及び仕上り (22.8.2) (22.8.3)	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	8節 ブロック系舗装 コンクリート平板舗装 目地材 ・砂 ・モルタル クッション材 ・砂 ・空練りモルタル 平板の種類、寸法及び厚さ ※図示による インターロッキングブロック舗装 種類、形状、寸法、厚さ、曲げ強度、表面加工等 ※図示による 舗石舗装 基層 ・アスファルト混合物 ・コンクリート版 基層の厚さ アスファルト混合物 ※50mm ・その他（ ） コンクリート版 ※70mm ・その他（ ） クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 石材の種類、形状、寸法及び厚さ ※図示による 仕上り面の平坦性 ・図示による
5 手すり (20.2.6)	種類及び仕上げ ※図示による	3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	6節 養生その他 (20.3.4)	21 試験 (22.7.6)	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	8節 ブロック系舗装 コンクリート平板舗装 目地材 ・砂 ・モルタル クッション材 ・砂 ・空練りモルタル 平板の種類、寸法及び厚さ ※図示による インターロッキングブロック舗装 種類、形状、寸法、厚さ、曲げ強度、表面加工等 ※図示による 舗石舗装 基層 ・アスファルト混合物 ・コンクリート版 基層の厚さ アスファルト混合物 ※50mm ・その他（ ） コンクリート版 ※70mm ・その他（ ） クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 石材の種類、形状、寸法及び厚さ ※図示による 仕上り面の平坦性 ・図示による
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	7節 養生その他 (20.3.4)	22 舗装の構成及び仕上り (22.9.2)	9節 砂利敷き 砂利敷きの種類 ・図示による	9節 砂利敷き 砂利敷きの種類 ・図示による
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	8節 養生その他 (20.3.4)	23 植栽及び屋上緑化工事	1節 共通事項 土壌の水素イオン濃度指数 (pH)、電気伝導度 (EC) 等の試験 ・行う ・行わない	1節 共通事項 土壌の水素イオン濃度指数 (pH)、電気伝導度 (EC) 等の試験 ・行う ・行わない
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	9節 養生その他 (20.3.4)	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	2節 植栽基盤 植栽基盤の整備 ・行う ・行わない 有効土層として整備する面積 ※図示による 有効土層として整備する厚さ ・図示による 植栽基盤に浸透した雨水を排水するため、暗きよ、開きよ、排水層、縦穴排水等を設置する場合 ※図示による 植栽基盤の整備工法の種類 樹木 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 芝及び地被類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良材 ・使用する ・使用しない	2節 植栽基盤 植栽基盤の整備 ・行う ・行わない 有効土層として整備する面積 ※図示による 有効土層として整備する厚さ ・図示による 植栽基盤に浸透した雨水を排水するため、暗きよ、開きよ、排水層、縦穴排水等を設置する場合 ※図示による 植栽基盤の整備工法の種類 樹木 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 芝及び地被類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良材 ・使用する ・使用しない
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	10節 養生その他 (20.3.4)	2 植栽基盤一般 (23.2.2)	3節 植栽 植栽の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による 支柱材の種類 ※丸太 ・竹 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他（ ） 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも	3節 植栽 植栽の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による 支柱材の種類 ※丸太 ・竹 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他（ ） 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	11節 養生その他 (20.3.4)	3 材料 (23.2.3)	植込み用土 ・客土 ・現場発生土の良質土 土壌改良材の種類 ※図示による	3節 植栽 植栽の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による 支柱材の種類 ※丸太 ・竹 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他（ ） 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	12節 養生その他 (20.3.4)	4 工法 (23.2.4)	土壌改良材のの指定量 ※図示による	3節 植栽 植栽の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による 支柱材の種類 ※丸太 ・竹 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他（ ） 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも
		3節 街きよ、縁石及び側溝 縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 ※図示による	13節 養生その他 (20.3.4)	5 材料 (23.3.2)	土壌改良材のの指定量 ※図示による	3節 植栽 植栽の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用並びに数量 ※図示による 支柱材の種類 ※丸太 ・竹 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・その他（ ） 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	DATE	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一			FILE No.
		DRAWING	特記仕様書 ( 6 )	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	A-06

23  
植  
栽  
及  
び  
屋  
上  
緑  
化  
工  
事

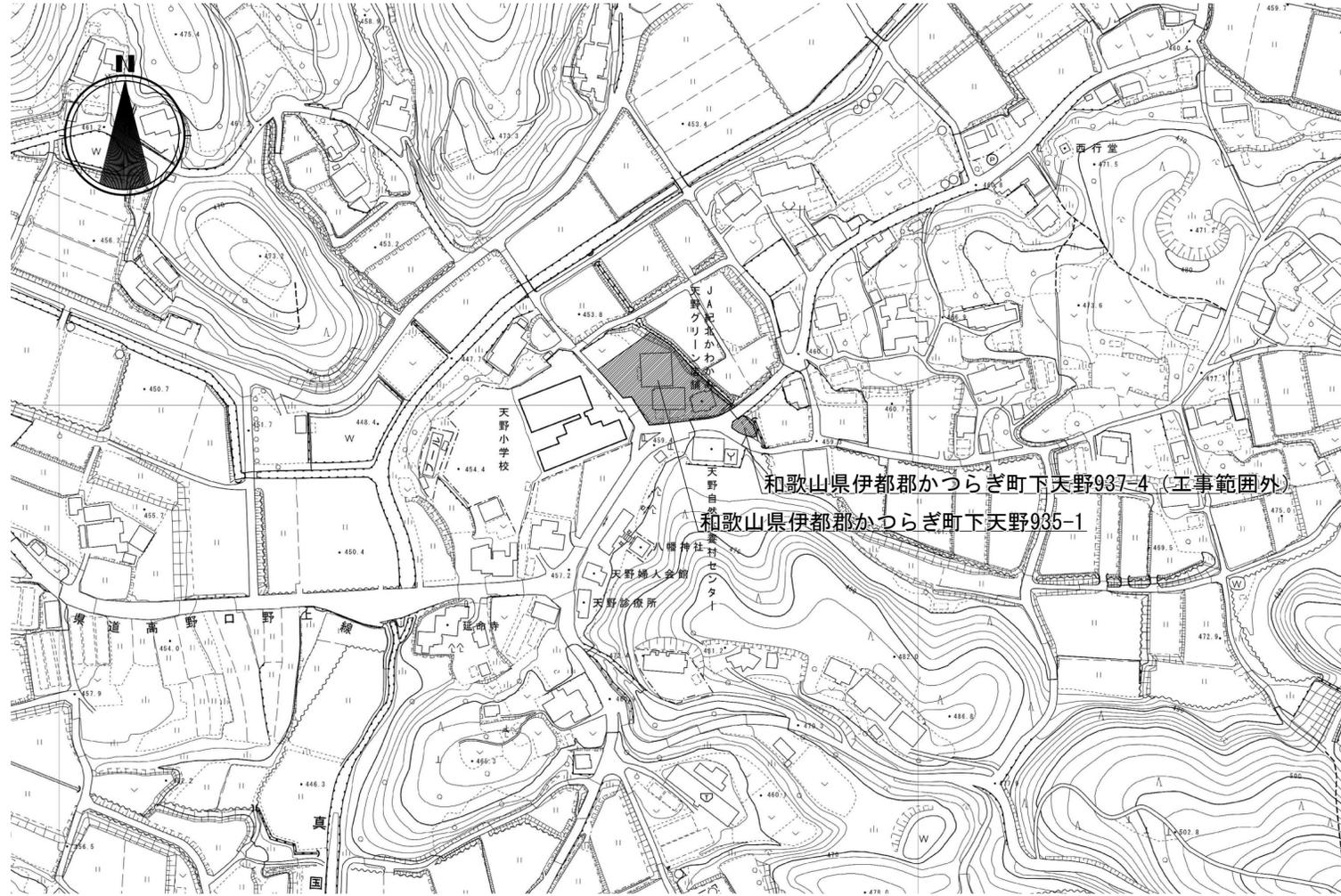
6	新植の工法 (23.3.3)	支柱 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハッ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形							
7	新植樹木の枯補償 (23.3.4)	新植樹木の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ その他 ( )							
8	移植樹木の枯損処置 (23.3.6)	移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・ その他 ( )							
9	材料 (23.4.2)	4節 芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類 ※コウライシバの種類 ・ ノシバの種類 吹付けは種用種子の種類 ※洋芝類 ・ その他 ( ) 吹付けは種用種子の量 ※図示による 地被類の植物の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数 ※図示による							
10	芝張りの工法 (23.4.3)	芝張り 平地 ※目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り							
11	芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償 (23.4.7)	芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ その他 ( )							
12	植栽基盤 (23.5.2)	5節 屋上緑化 屋上緑化システムの土壌層の厚さ ※図示による							
13	材料 (23.5.3)	排水層の種類 ・ 軽量骨材 ・ 透水排水管 ・ 板状成形品 軽量骨材の厚さ ※図示による 土壌層の植込み用土の種類 ・ 人工軽量土 ※改良土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みものの適用及び数量 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による							
14	工法 (23.5.4)	風圧力に対応した工法 ※図示による 支柱の設置及び形式 ※図示による かん水装置の設置及び種類 ※図示による							
15	新植樹木、芝及び地被類の枯補償 (23.5.5)	新植樹木の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ その他 ( ) 芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ その他 ( )							

改修1 各章共通事項	3節 工事現場管理 1 施工条件 (1.3.5)	工車用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※図示による	改修4 外壁改修工事	1節 共通事項 1 改修工法の種類 (4.1.4)	コンクリート打放し仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類 ※図示による モルタル塗り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類 ※図示による 欠損部改修工法の種類 ※図示による 浮き部改修工法の種類 ※図示による タイル張り仕上げ外壁 欠損部改修工法の種類 ※図示による 浮き部改修工法の種類 ※図示による 目地改修工法の種類 ※図示による	改修5 建具改修工事	1節 共通事項 1 改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合の工法 ・かふせ工法 ・撤去工法 新規に建具を設置する場合における、新規建具を設ける壁部分の開口の開け方及び新規建具周囲の補修工法並びにその範囲 ※図示による	
	5節 石綿含有建材の調査 2 事前調査 (1.5.1)	石綿含有建材の事前調査 ※有り ・無し 石綿含有建材の調査範囲 ※本工事の範囲 ・図示による 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ※有り ・無し 分析による石綿含有の調査 ・実施する ・実施しない 実施する場合の分析方法 ・定性分析 ・定量分析		2 改修後の塗り仕上げの種類 (4.1.5)	改修後の新規仕上げの種類 ※図示による		その他 2 その他	※「16建具工事」による	
改修2 仮設工事	6節 施工調査 3 施工数量調査 (1.6.2)	施工数量調査の調査範囲及び調査方法 ※本工事の対象範囲及び周辺状況について、目視等により行う	改修3 モルタル塗り仕上げ外壁の改修	2節 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 3 樹脂注入工法 (4.2.5)	注入工法の種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔及び注入量 ※図示による ひび割れ部の注入状況の確認方法 ・図示による	改修6 内装改修工事	1節 共通事項 1 他の部位との取合い等 (6.1.3)	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ・図示による	
	4 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	施工数量調査で、既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※監督員の指示による		3節 モルタル塗り仕上げ外壁の改修 4 モルタル塗替え工法 (4.3.10)	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による		2節 既存床の撤去及び下地補修 2 工法 (6.2.2)	浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ※図示による 合成樹脂塗床材の除去等の工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法	
改修3 防水改修工事	その他 5 その他	※「1各章共通事項」による	5 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.3.11)	浮き部分に対するアンカーピン本数 ・図示による アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入量 ※挿入孔1か所当たり25mL ・その他 ( )	3節 既存壁の撤去及び下地補修 3 工法 (6.3.2)	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・図示による	6節 軽量鉄骨天井下地 4 工法 (6.6.4)	あと施工アンカーの施工後の確認箇所 ※当該箇において3箇所 ・その他 ( )	
	2節 足場等 1 足場等 (2.2.1)	外部足場、防護シート等の設置 ・設置する(※図示による) ・設置しない 内部足場の設置 ・図示による 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種	6 アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.3.12)	浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ・図示による 注入量 ※注入口1か所当たり25mL ・その他 ( )	6節 軽量鉄骨天井下地 5 現場塗装仕上げ (6.11.6)	11節 フローリング張り 5 現場塗装仕上げ (6.11.6)	既存フローリングを撤去せず、塗装の塗替えを行う場合の下地調整及び塗装 ※図示による	その他 6 その他	※「11タイル工事」、「12木工事」、「14金属工事」、「15左官工事」、「19内装工事」による
改修7 塗装改修工事	3節 養生 2 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 ・図示による 既存部分における既存家具、既存設備等の養生方法 ・図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生方法、保管場所等 ※監督員の指示による 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ※図示による	7 アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.3.13)	注入量 ※注入口1か所当たり50mL ・その他 ( )	7節 フローリング張り 5 現場塗装仕上げ (6.11.6)	既存フローリングを撤去せず、塗装の塗替えを行う場合の下地調整及び塗装 ※図示による	改修7 塗装改修工事	2節 下地調整 1 施工一般 (7.2.1)	R/B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分除去 ・その他 ( )
	3 仮設間仕切り (2.3.2)	屋内に仮設間仕切りを設ける場合の設置箇所 ※図示による 種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種及びB種の場合 合板の材種 ※図示による 合板の厚さ ※9mm ・その他 ( ) せつこうボードの種類 ※図示による せつこうボードの厚さ ※9.5mm ・その他 ( ) 塗装等の仕上げを行う場合 ※図示による 仮設扉の設置箇所 ※図示による 仕様 ※合板張り木製扉程度 ・その他 ( )	8 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.3.14)	浮き部分の補修に使用する注入口付アンカーピンの本数 ・図示による 注入用エポキシ樹脂の注入量 ※注入口1か所当たり25mL ・その他 ( )	2節 下地調整 2 各部の下地調整 (7.2.2) (7.2.3) (7.2.4) (7.2.5) (7.2.6) (7.2.7)	各素地面の下地調整の種別 木部 ・RA種 ・RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 垂れめつき鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル面及びせつこうプラスター面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面及びALCパネル面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せつこうボード面及びその他ボード面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル面、プラスター面、コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面のひび割れ部の補修 ※図示による			
改修8 その他	4 その他	※「2仮設工事」による	9 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.3.15)	浮き部分の補修に使用する注入口付アンカーピンの本数 ・図示による 注入量 ※注入口1か所当たり25mL ・その他 ( )	4節 錆止め塗料塗り 3 塗料種類 (7.4.2)	鉄鋼面の錆止め塗料の種別 合成樹脂調合ベント塗り (SOP) の場合 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 耐水性塗料塗り (DP) の場合 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種	改修8 その他	4節 錆止め塗料塗り 3 塗料種類 (7.4.2)	鉄鋼面の錆止め塗料の種別 合成樹脂調合ベント塗り (SOP) の場合 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 耐水性塗料塗り (DP) の場合 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 ・E種
	1節 共通事項 1 施工一般 (3.1.3)	降雨等に対する養生方法 ・図示による	10 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.3.16)	注入量 ※注入口1か所当たり50mL ・その他 ( )	4節 錆止め塗料塗り 4 錆止め塗料塗り (7.4.3)	鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種 耐水性塗料塗りの場合の鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種 垂れめつき鋼面の錆止め塗料塗りの種別 ・A種 ・B種 ・C種			
改修9 その他	2 改修工法の種類及び工程等 (3.1.4) (3.2.5) (3.2.6) (3.3.2) (3.3.3) (3.3.4) (3.3.5) (3.4.2) (3.4.3) (3.4.4) (3.5.2) (3.5.3) (3.5.4) (3.6.3) (3.7.2) (3.7.3) (3.7.7) (3.7.8)	防水改修工法の種類等 ※図示による 既存防水層の処理等 ※図示による シーリング改修工法の種類等 ※図示による	11 タイル部分塗替え工法 (4.4.7)	既存の下地モルタルを設置せず1ヶ所あたり0.25㎡を超える場合の張替え ※図示による	5 各塗り等の種別 (7.5.2) (7.5.3) (7.5.4) (7.6.2) (7.7.2) (7.8.2) (7.8.3) (7.8.4) (7.9.2) (7.9.3) (7.9.4) (7.9.5) (7.10.2) (7.11.2)	各塗り等の種別 木部合成樹脂調合ベント塗り (SOP) ・A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面の合成樹脂調合ベント塗り (SOP) ・A種 ※B種 ・C種 垂れめつき鋼面の合成樹脂調合ベント塗り (SOP) ・A種 ・B種 ・C種 クリヤラッカー塗り (CL) ・A種 (着色に用いる塗料は図示による) ※B種 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ・A種 ※B種 鉄鋼面耐水性塗料塗り (DP) の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 垂れめつき鋼面の耐水性塗料塗り (DP) の上塗り塗料の等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐水性塗料塗り (DP) ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 コンクリート面、モルタル面、せつこうプラスター面、せつこうボード面、その他ボード面等 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め ・図示による 屋内の木部のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・A種 ・B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・A種 ※B種 ・C種 屋内の垂れめつき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ※A種 ・B種 ・C種 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ・A種 ※B種 ・C種 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・A種 ※B種			
	8節 とい 3 材料 (3.8.2)	といその他の材種等 ※図示による とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※図示による	12 タイル張替え工法 (4.4.8)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ・図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない セメントモルタルによるタイル張り タイルの種類及び工法 ※図示による 有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類等 ※図示による	6節 マスチック塗料塗り仕上げ外壁等の改修 15 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整 (4.5.4)	既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法 ※図示による 下地調整で、下地調整塗材に代えてポリマーセメントモルタルを使用する場合 ※図示による 処理範囲 ・図示による 下地処理 (下地のひび割れ部等の補修) の工法 ※図示による			
改修10 その他	4 工法 (3.8.3)	既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示による 鋼管製といの防露巻き ・図示による たてどい受金物の取付け ※図示による ルーフトレンの取付け ・図示による	13 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (4.4.15)	注入口付アンカーピンの本数 ※図示による	7節 マスチック塗料塗り仕上げ外壁等の改修 16 材料及び工法 (4.6.2)	マスチック塗料塗りの種別 ・A種 ・B種			
	9節 アルミニウム製笠木 5 材料 (3.9.2) 工法 (3.9.3)	アルミニウム製笠木の材料及び工法等 ※図示による	14 目地改修工法 (4.4.16)	伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示による	7節 外壁用塗膜防水材による改修 16 材料 (4.7.2)	仕上げの形状及び工法 ※図示による 仕上げ塗料の種類 ※図示による			

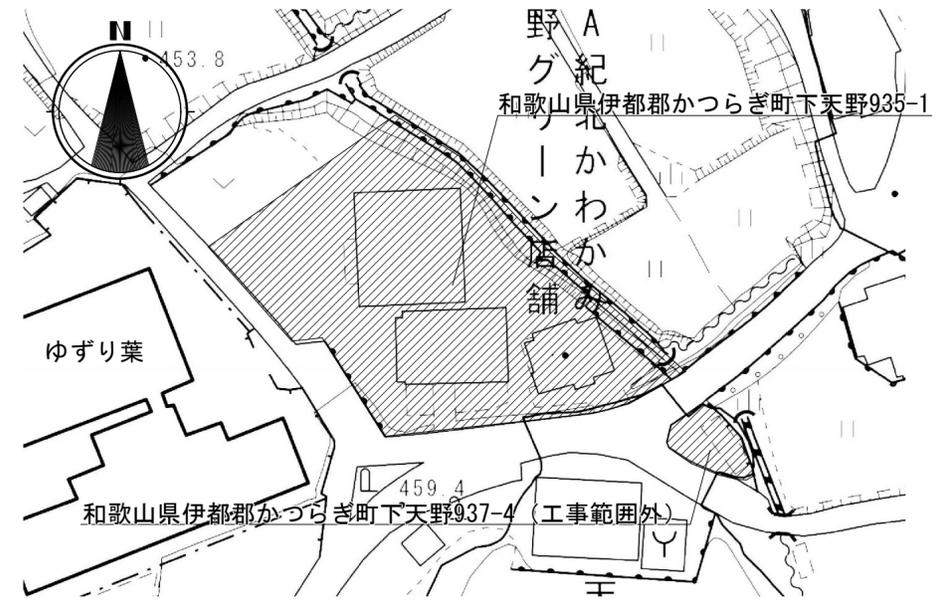
REVISION	 株式会社 川建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE				FILE No.
		DRAWING	特記仕様書 (改修-1)	一級建築士事務所県登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	A-08

改修8 耐震改修工事	(7.12.2) (7.13.2)	オイルステイン塗り(OS)の塗料 ※図示による 木材保護塗料塗り(WP) ・A種 ※B種	26節 免震改修工事 21 支承材及び減衰材(8.26.7) 22 支承材又は減衰材の設置(8.26.10) 23 仕上げ(8.26.13) 24 耐火被覆(8.26.14) 25 免震エキスパンションジョイント等(8.26.15) 26 検査(8.26.16) 27 維持管理要領(8.26.17) 27節 制震改修工事 28 既存部分の撤去等(8.27.2) 29 減衰材(8.27.4) 30 減衰材の設置(8.27.6) 31 仕上げ(8.27.8) 32 検査(8.27.9) 28節 土工事及び地業工事 33 既存杭の撤去等(8.28.2) その他 34 その他	支承材又は減衰材の材質及び諸元 ※図示による 性能確認試験の項目及び数量 ※図示による 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ※図示による 防錆処置 ※図示による 支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 ※図示による 割裂補強筋の適用 ※図示による 支承材又は減衰材設置後の仕上げ ※図示による 支承材への耐火被覆の適用及び仕様 ※図示による 免震化された部分の周囲に設置するエキスパンションジョイントの仕様、工法等 ※図示による 検査の項目及び数量 ※図示による 維持管理要領に記載する項目 ・図示による 地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等、維持管理に必要な計測機器等の設置の有無及び仕様 ※図示による 既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※図示による 既存鉄骨の措置 ※図示による 減衰材の材質及び諸元 ※図示による 性能確認試験の項目及び数量 ※図示による 製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ※図示による 防錆処置 ※図示による 減衰材の設置位置の寸法許容差 ※図示による 割裂補強筋の適用 ※図示による 減衰材設置後の仕上げ ※図示による 検査の項目及び数量 ※図示による 既存杭の一部を撤去する場合の撤去範囲及び撤去方法 ※図示による 既存杭の杭頭部等を処理する場合 ※図示による 既存杭を補強する場合 ※図示による 既存杭の健全性を確認する試験を行う場合 ※図示による ※「3土工事」、「4地業工事」、「5鉄筋工事」、「6コンクリート工事」、「7鉄骨工事」による	7節 透水性アスファルト舗装改修工事 10 既存舗装の撤去及び再利用(9.7.2) その他 11 その他 12 枯らし作業 13 アスベスト 14 景観計画(外壁) 15 家具	既存舗装の撤去 ※図示による 既存舗装の一部を撤去しないで再利用する場合 ※図示による ※「16建具工事」、「19内装工事」、「22舗装工事」、「23補載及び屋上緑化工事」、「改修3防水改修工事」、「改修4外壁改修工事」による ※内装仕上げ工事後に係員と協議し、速やかに「枯らし」作業を行うこと。 ※既設撤去時、石膏ボード等にアスベストが含有している可能性があると思われる為、係員と協議を行い調査を行うこと。 ※外壁の色については、景観計画に基づき、周辺地域の景観に沿う外観とすること。 また外壁色の決定の際には係員と入念に協議すること。 ※家具の形状及び寸法に関しては、施工時に係員と 入念に協議した上で決定すること。
	5 その他	※「18塗装工事」による				
2節 材料 1 あと施工アンカー(8.2.4) 2 構造体用モルタルの調合(8.2.6) 3 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等(8.2.13) 3節 鉄筋の加工及び組立 4 壁の配筋及び補強(8.3.7) 12節 あと施工アンカー工事 5 穿孔(8.12.4) 6 施工確認試験(8.12.7) 21節 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 7 既存部分の撤去等(8.21.2) 8 既存部分の処理(8.21.3) 9 鉄筋の加工及び組立(8.21.6) 10 コンクリートの打込み(8.21.8) 11 既存構造体との取合い(8.21.9) 12 仕上げ(8.21.10) 22節 鉄骨ブレースの設置工事 13 既存構造体との取合い(8.22.7) 14 仕上げ(8.22.9) 23節 柱補強工事 15 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法(8.23.5) 16 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法(8.23.6) 17 仕上げ(8.23.7) 24節 連続繊維補強工事 18 施工(8.24.6) 19 仕上げ(8.24.7) 25節 耐震スリット新設工事 20 施工(8.25.2)	あと施工アンカー ・金属系アンカー ・接着系アンカー 金属系アンカーの引張耐力、せん断耐力、アンカー本体の径及び埋込み長さ、接合筋の種類、径及び長さ ※図示による 金属系アンカーのセット方式 ※本体打込み式改良型 ・その他( ) 接着系アンカーの引張耐力、せん断耐力、アンカー筋の径及び埋込み長さ、アンカー筋の種類、アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※図示による 接着系アンカーの種類 ※カプセル方式の回転・打撃式 ・その他( ) あと施工アンカーの性能確認試験 ・行う ・行わない モルタルの圧縮強度及びフロー値 ※図示による 連続繊維補強材の材料、工法、引張強度、ヤング係数等 ※図示による 壁の配筋及び壁開口部の補強 ※図示による 埋込み配管等の探査の方法 ※図示による あと施工アンカーの施工後の確認試験 ※引張試験機による引張試験 ・その他( ) 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・その他( ) 試験の箇所数 ※1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抜き取る ・その他( ) 引張試験の確認強度 ※図示による 既存仕上げの撤去範囲 ・図示による 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設 ※図示による 既存構造体の撤去範囲 ※図示による はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※図示による 目荒らしの程度 ※図示による 割裂補強筋の仕様 ※図示による 打込みの工法の種類 ・流込み工法 ・圧入工法 既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 ・図示による 増設壁工事後の仕上げ ※図示による 割裂補強筋の仕様 ※図示による ブレース設置工事後の仕上げ ※図示による コンクリート及び構造体用モルタルの打込みの工法の種類 ・流込み工法 ・圧入工法 鋼板等の加工で柱頭及び柱脚に隙間を設ける場合 ※図示による 補強工事後の仕上げ ※図示による ひび割れ部の改修工法の種類 ※樹脂注入工法 ・その他( ) 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※図示による 連続繊維補強材の強度試験の適用及び試験数量 ※図示による 補強工事後の仕上げ ※図示による 耐震スリットの幅及び深さ ※図示による 耐火材の使用箇所及び仕様 ※図示による 遮音材の使用箇所及び仕様 ※図示による 撤去部の補修 ・図示による	1節 石綿含有建材の除去工事 1 一般事項(9.1.1) 2 石綿含有吹付け材の除去(9.1.3) 3 石綿含有保温材等の除去(9.1.4) 4 石綿含有成形板の除去(9.1.5) 5 石綿含有仕上塗材の除去(9.1.6) 2節 外断熱改修工事 6 材料(9.2.2) 7 既存外壁の処置(9.2.3) 8 工法(9.2.4) 3節 断熱・防露改修工事 9 断熱材後張り工法(9.3.4)	石綿粉じん濃度測定 ・実施する ・実施しない 実施する場合の測定方法、測定時間、測定場所及び測定箇所数 ※図示による 石綿含有吹付け材の除去工法 ・図示による 石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 石綿含有吹付け材等の処分方法 ・埋立処分 ・中間処理 石綿含有保温材等の除去方法 ・破砕して除去 ・原形のまま、手ばらし 作業場所周辺の養生 ※図示による 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・埋立処分 ・中間処理 石綿含有仕上塗材の除去工法 ※図示による 汚泥として処理が必要な場合 ※図示による 断熱材の種類及び厚さ ※図示による 外装材の種類及び防火性能 ※図示による 既存外壁の仕上材の撤去 ※図示による 下地面の清掃 ※図示による 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示による 不陸等の下地調整 ※図示による 断熱材の施工 ※図示による 通気層の有無及び厚さ ※図示による 外装材の外壁への取付け ※図示による 外装材の施工 ※図示による 断熱材の種類及び厚さ ※図示による 後張りした断熱材に直接ボードの張付けを行う場合 ※図示による 断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※図示による			

REVISION	 株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE		FILE No.
		DRAWING 特記仕様書(改修-2)	DESIGNER 一級建築士事務所 登録第(〒)326-6号	CHECK	DRAWN	SHEET No. A-09



附近見取図 S=1/2500



附近見取図 S=1/800

REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図

DRAWING

附近見取図

S=1/2500、1/800

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(〒)326-6号

DATE

DESIGNER

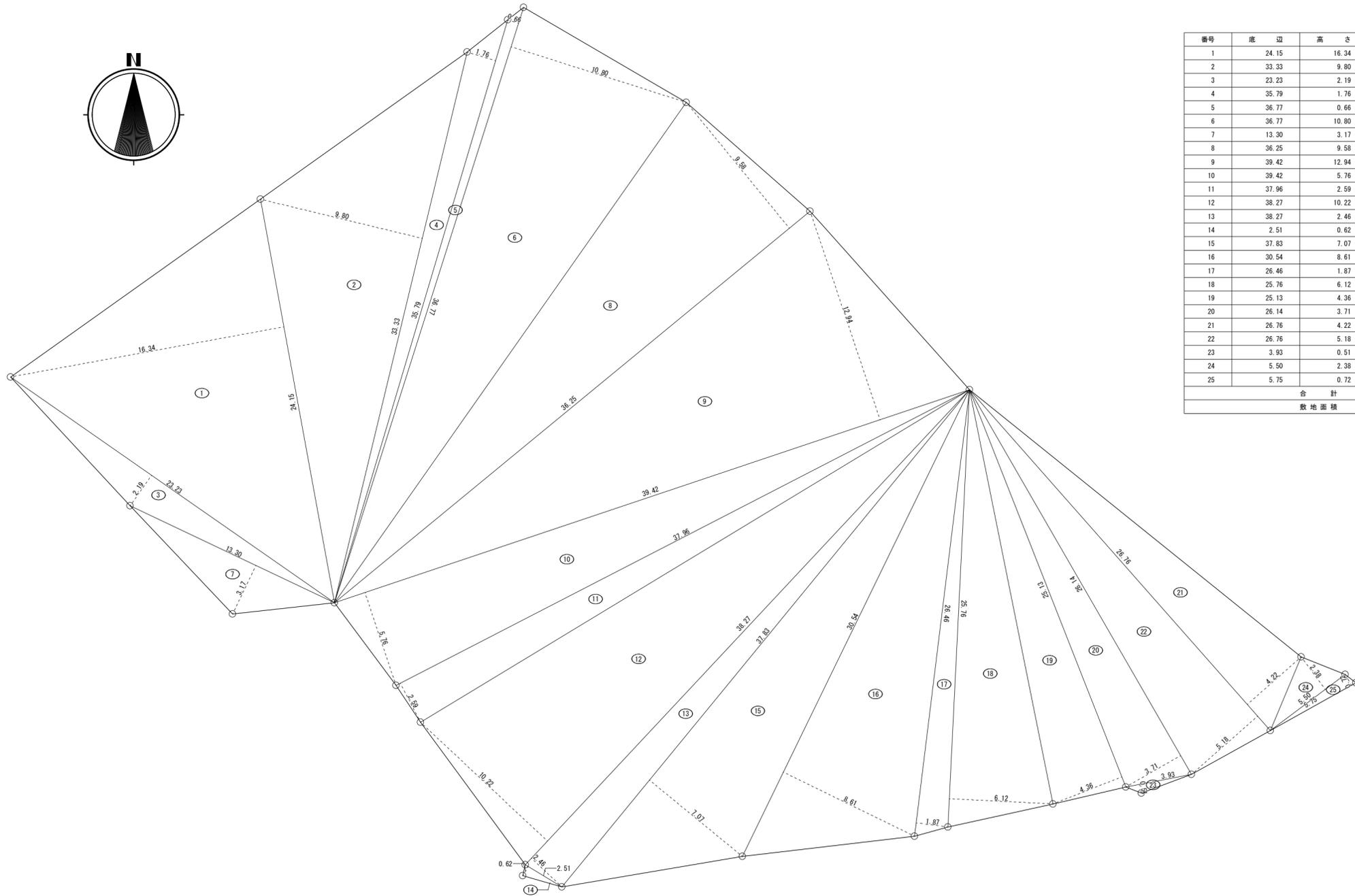
CHECK

DRAWN

FILE No.

SHEET No.

A-10



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	24.15	16.34	394.6110	197.30550
2	33.33	9.80	326.6340	163.31700
3	23.23	2.19	50.8737	25.43685
4	35.79	1.76	62.9904	31.49520
5	36.77	0.66	24.2682	12.13410
6	36.77	10.80	397.1160	198.55800
7	13.30	3.17	42.1610	21.08050
8	36.25	9.58	347.2750	173.63750
9	39.42	12.94	510.0948	255.04740
10	39.42	5.76	227.0592	113.52960
11	37.96	2.59	98.3164	49.15820
12	38.27	10.22	391.1194	195.55970
13	38.27	2.46	94.1442	47.07210
14	2.51	0.62	1.5562	0.77810
15	37.83	7.07	267.4581	133.72905
16	30.54	8.61	262.9494	131.47470
17	26.46	1.87	49.4902	24.74010
18	25.76	6.12	157.6512	78.82560
19	25.13	4.36	109.5668	54.78340
20	26.14	3.71	96.9794	48.48970
21	26.76	4.22	112.9272	56.46360
22	26.76	5.18	138.6168	69.30840
23	3.93	0.51	2.0043	1.00215
24	5.50	2.38	13.0900	6.54500
25	5.75	0.72	4.1400	2.07000
合計				2,091.54145
敷地面積				2,091.54 m <sup>2</sup>

REVISION



株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

DRAWING

敷地求積図

設計図

S=1/200

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

DATE

DESIGNER

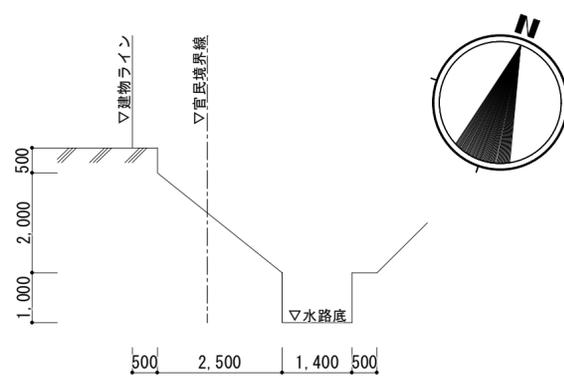
CHECK

DRAWN

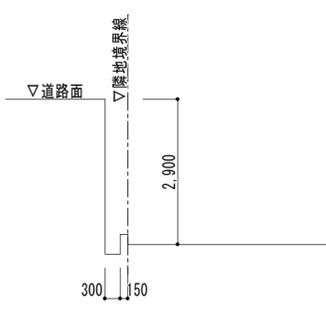
FILE No.

SHEET No.

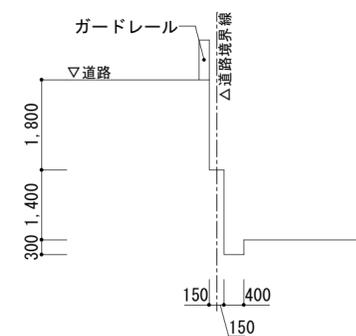
A-11



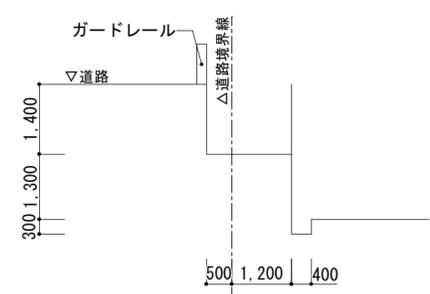
A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

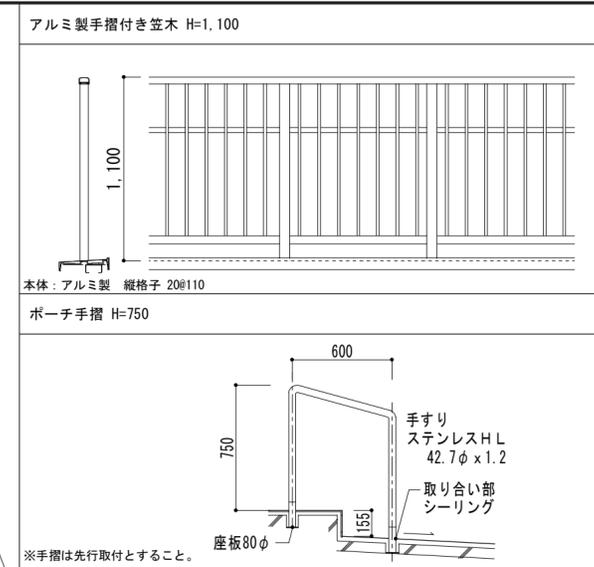
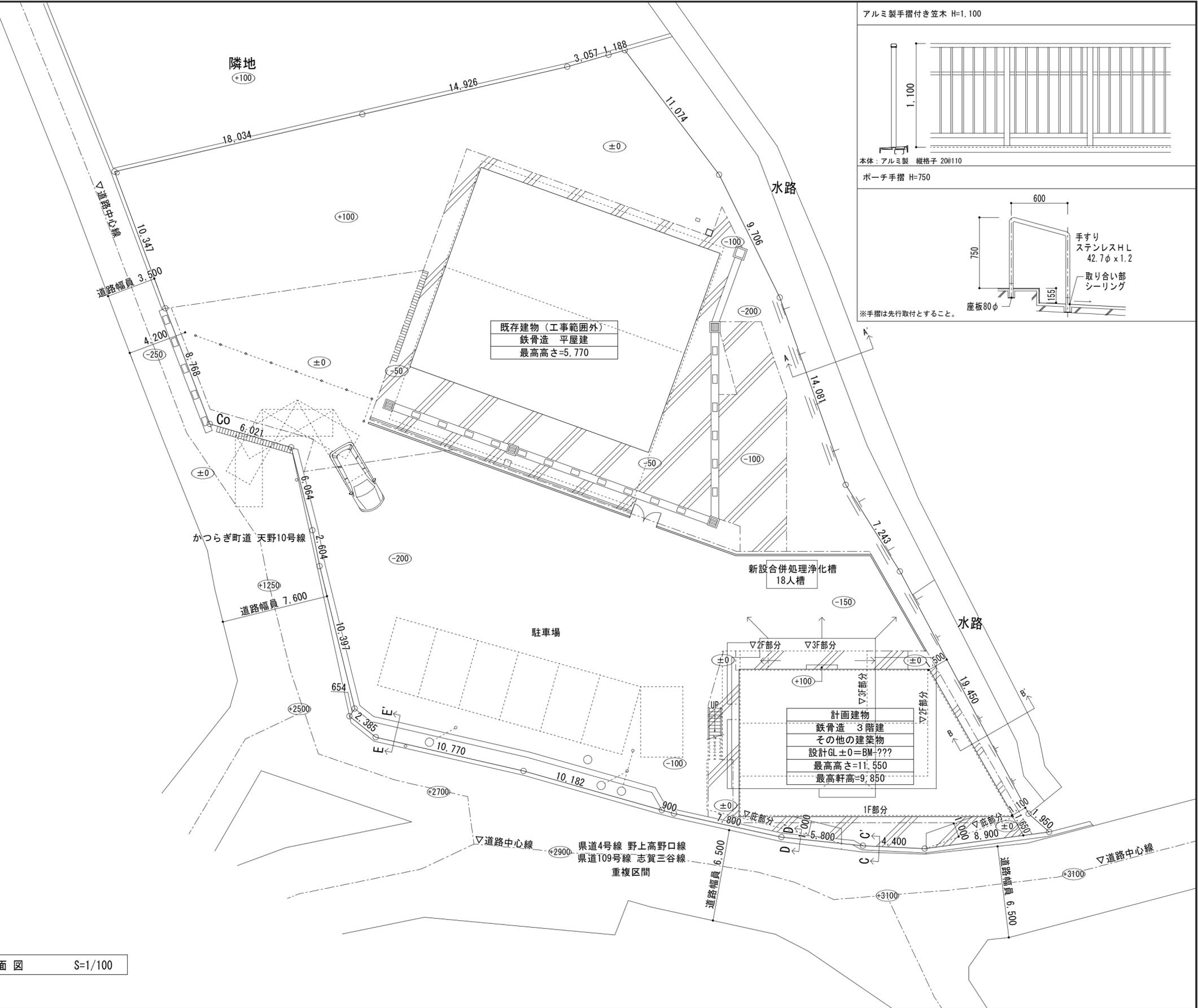
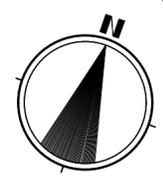


C-C' 断面図 S=1/100



D-D' 断面図 S=1/100

敷地断面図 S=1/100



既存建物 (工事範囲外)  
鉄骨造 平屋建  
最高高さ=5.770

新設合併処理浄化槽  
18人槽

計画建物  
鉄骨造 3階建  
その他の建築物  
設計GL±0=BM-???  
最高高さ=11.550  
最高軒高=9.850

県道4号線 野上高野口線  
県道109号線 志賀三谷線  
重複区間

REVISION	株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	FILE No.
		DRAWING	敷地配置図	S=1/200	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号				A-12	

内部仕上表

階	室名	天井高	床	巾木	壁	造作材	天井	廻り縁	備考
1階	倉庫(1)	3.320 (一部勾配)	土間コンクリート打ち金ゴテ直押え(厚み及び配筋不明)防塵塗料塗り 砕石地業(厚み不明)	腰コンクリート打放補修 (FL天+270)	外壁角波カラー鉄板縦張り(塗装品)現し 横胴縁:C-100×50×20×2.3 @900 (SOP塗り) 柱型(間柱共): SOP塗り・モルタル塗り金ゴテ押えSOP塗り(一部)	-	デッキプレート及び梁型現し(SOP塗り)	-	
	倉庫(2)	3.320 (一部勾配)	土間コンクリート打ち金ゴテ直押え(厚み及び配筋不明)防塵塗料塗り 下地は倉庫(1)と同じ	C B (t=100) 1段積み現し (FL天+200)	倉庫(1)側: 小波カラー鉄板張り(SOP塗り) 室内側: P B (t=12.5)素地張り	-	デッキプレート及び梁型現し(SOP塗り)	-	木製欄(2段)
	倉庫(3)	3.220 (一部勾配)	土間コンクリート打ち金ゴテ直押え(厚み及び配筋不明)防塵塗料塗り 下地は倉庫(1)と同じ	C B (t=100) 1段積み現し (FL天+200)	倉庫(1)側: 小波カラー鉄板張り(SOP塗り) 室内側: P B (t=12.5)素地張り	-	デッキプレート及び梁型現し(SOP塗り)	-	木製欄(2段)
	↓改修								
	整理室 兼 体験学習室	2.500	土間コンクリート打ち金ゴテ直押えの上長尺塩ビシート貼り(t=2.5) (既設土間に増打ち 以下同上下地)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地(NM-8619)ビニルクロス貼り(NM-0915) シツ前:耐水PB(t=12.5)下地(QM-0898)クマシ化粧板(t=9.5)張り(NM-2183)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り(NM-9441)	塩ビ製	シンク(W=1500) ブラインド モノコム25
	前室	2.500	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	
	收藏室	2.400	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	
	特別收藏室	2.400	パーティクルボード(t=20)下地杉板(t=12)張り (既設土間コンクリートにプラ木レン床組) (パーティクルボード下部発砲ウレタン吹付全面)	木製巾木(H=60) 生地仕上	P B (t=12.5)下地杉板(t=9)会決り継ぎ面取り	-	LGS天井P B (t=9.5)下地杉板(t=9)底目張り	木製(H=45)	造付欄
	事務室	2.500	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地(NM-8619)ビニルクロス貼り(NM-0915)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り(NM-9441)	塩ビ製	
	書庫	2.500	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	
	更衣室	2.400	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	ミニキッチン(W=1200)
トイレ	2.400	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)(抗菌)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地メラミン化粧板張り(t=9.5)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製		
2階	玄関 ホール	2.700	モルタル塗り金ゴテ押え(t=30)下地塩ビタイル貼り デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	木製(OSC塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	
	事務室 (通路)	2.620	コンパネ(t=12)下地塩ビタイル貼り(木製床組) 下地はホールと同じ	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地)	木製(OSC塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	木製カウンター(造り付) ブラインド アルミ製パーティション(規格品 W=3600)・天井点検口
	金庫室	2.500	コンパネ(t=12)下地塩ビタイル貼り(木製床組) 下地はホールと同じ	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5)下地寒冷紗パテEP塗り (木製間柱下地)	木製(OSC塗り)	P B (t=9.5)下地寒冷紗パテEP塗り (木軸天井下地)	-	
	書庫	2.500	コンパネ(t=12)下地塩ビタイル貼り(木製床組) 下地はホールと同じ	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5)下地寒冷紗パテEP塗り (木製間柱下地)	木製(OSC塗り)	P B (t=9.5)下地寒冷紗パテEP塗り (木軸天井下地)	-	
	↓改修								
	受付	2.500	長尺塩ビシート貼り(t=2.5) (既設スラフコンクリートの上モルタル金ゴテ押え下地)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地(NM-8619)ビニルクロス貼り(NM-0915)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り(NM-9441)	塩ビ製	受付カウンター(W=1650×D=800×t=30、W3500×D=265×t=30) ブラインド モノコム25
	展示室	2.500	長尺塩ビシート貼り(t=2.5) (既設スラフコンクリートの上モルタル金ゴテ押え下地)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地(NM-8619)ビニルクロス貼り(NM-0915)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り(NM-9441)	塩ビ製	ビクチャーレール VP30 フック33個 固定収納棚
	湯沸室	2.440 (一部勾配天井)	コンパネ(t=12)下地塩ビタイル貼り(木製床組) 下地はホールと同じ	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り(木製間柱下地) 流し台前: P B (t=12.5)下地半磁器質タイル貼り(H=1290) コンロ台前: P B (t=12.5)下地半磁器質タイル貼り(勾配天井まで)	木製(OSC塗り)	P B (t=9.5)下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	コンロ台・流し台・吊戸棚
↓改修									
踏込	2.400	長尺塩ビシート貼り(t=2.5) (既設スラフコンクリートの上モルタル金ゴテ押え下地)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5)下地ビニルクロス貼り	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	ビクチャーレール VP30 フック33個	

REVISION	 株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.	
		DRAWING	仕上表(1)	NO-SCALE	DESIGNER	CHECK	DRAWN
				一級建築士事務所登録第(ト)326-6号			A-13

内部仕上表

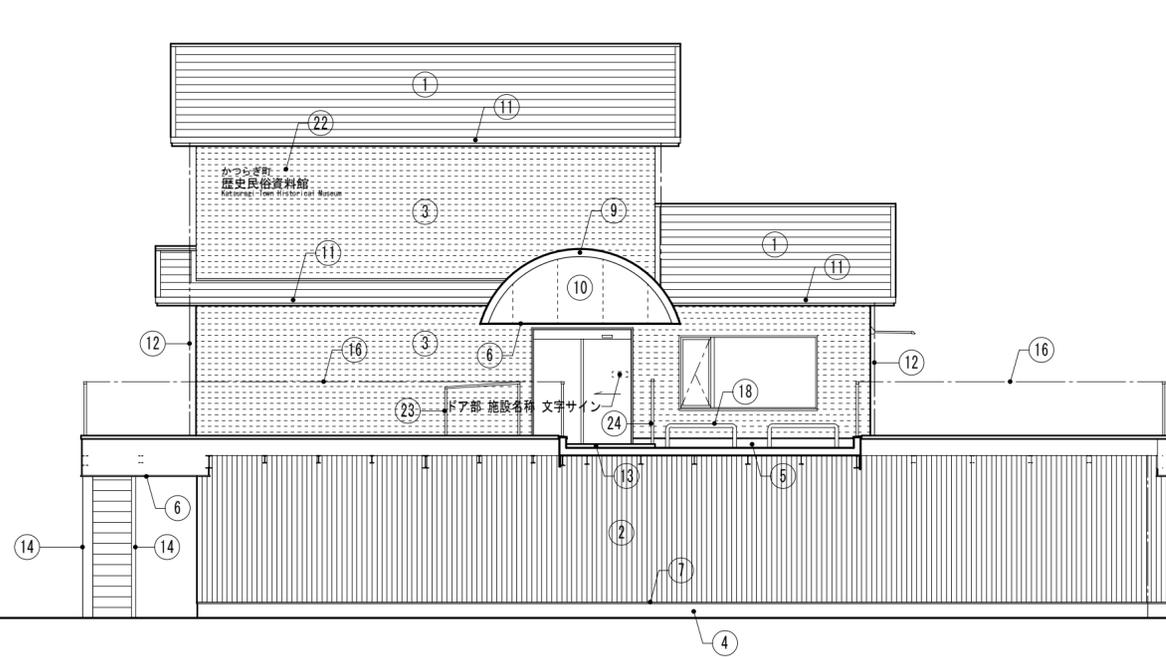
階	室名	天井高	床	巾木	壁	造作材	天井	廻り縁	備考
2階	便所(1)	改修前 2.440	モザイクタイル貼り(タイルモルタル下地) デッキコンクリート打ち(一般梁天-100)	-	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) P B (t=12.5) 下地半磁器質タイル貼り (H=1290)	木製(SOP塗り)	P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	小便器・手洗器・鏡・タオル掛け
	便所(2)	改修前 2.440	モザイクタイル貼り(タイルモルタル下地) デッキコンクリート打ち(一般梁天-100)	-	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) P B (t=12.5) 下地半磁器質タイル貼り (H=1290)	木製(SOP塗り)	P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	和風便器
	↓改修								
	多目的便所	改修後 2.400	長尺塩ビシート貼り(t=2.5)(抗菌) (既設スラフコンクリートの上モルタル金ゴテ押え下地)	ソフト巾木(H=60)	耐水P B (t=12.5) 下地メラミン化粧板張り(t=9.5)	UC塗装	LGS天井化粧石膏ボード(t=9.5)張り	塩ビ製	
	階段下(物入)	改修前 勾配天井 (≒1,500)	モルタル塗り金ゴテ押え(デッキコン下地)	雑巾摺	P B (t=9.5) 素地張り (木製間柱下地)	-	鉄骨階段現し(サビ止め仕上)	-	
	↓改修								
	階段下(物入)	改修後 勾配天井	長尺塩ビシート貼り(t=2.5) (既設スラフコンクリートの上モルタル金ゴテ押え下地)	ソフト巾木(H=60)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り	-	LGS天井P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り	塩ビ製	
	階段室	改修前 2.500	モルタル塗り金ゴテ押えの上塩ビタイル貼り(下地はホールと同じ) 蹴込・踏面:塩ビタイル貼(アルミ製ノンスリップ)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地)	木製(OSC塗り)	P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	
	↓改修								
	階段室	改修後 現状のまま	現状のまま	木製巾木(H=90)生地仕上 開口部改修部分	現状のまま 開口部改修部分: P B (t=12.5) 素地張り(新設・封鎖部共)	現状のまま	現状のまま		
↓改修前									
↓改修後									
↓改修前									
↓改修後									

※ 今回工事範囲以外 (※ 撤去開口部あとは額縁のみとする 構造用合板現し)

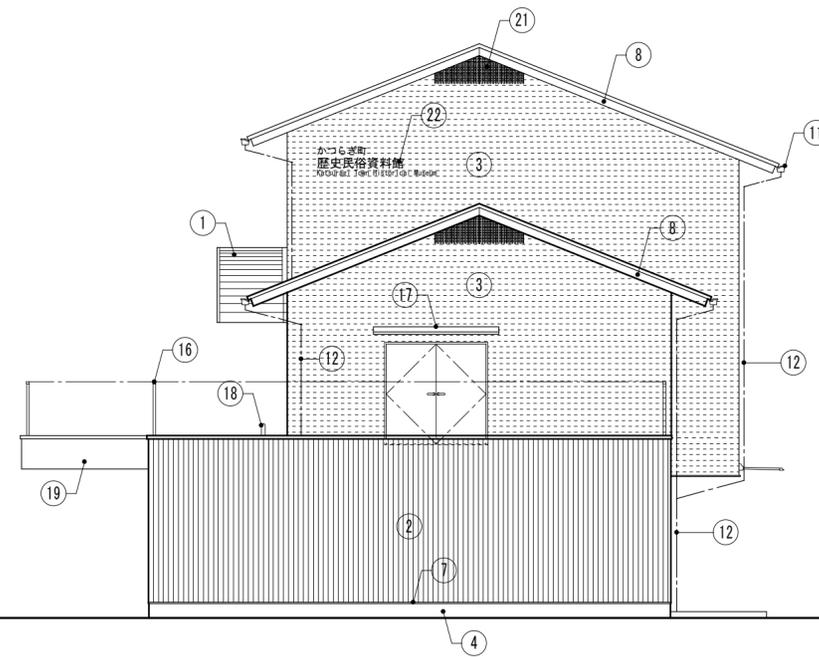
3階	階段室	既設 2.200	モルタル金ゴテ押えの上塩ビタイル貼り デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地)	木製(OSC塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	
	ホール	既設 2.440	モルタル金ゴテ押えの上塩ビタイル貼り デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) 手摺壁: P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り(H=1100)	木製(OSC塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	木製手摺
	物入	既設 2.440	モルタル金ゴテ押え デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 素地張り (木製間柱下地)	-	P B (t=9.5) 素地張り (木軸天井下地)	木製見切縁(25×25)	天井点検口
	研修室	既設 2.700	モルタル金ゴテ押えの上塩ビタイル貼り デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) タレ壁: P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り	木製(OSC塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	間仕切:アコーディオンカーテン
	湯沸室	既設 2.440	モルタル金ゴテ押えの上塩ビタイル貼り デッキコンクリート打ち(梁天+100)	樹脂シート貼り(規格品) (H=90)	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) P B (t=12.5) 下地半磁器質タイル貼(H=1290)	木製(SOP塗り)	化粧石膏ボード張り(t=9.5) (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	コンロ台・流し台
	便所(1)	既設 2.300	モザイクタイル貼り(タイルモルタル下地) デッキコンクリート打ち(一般梁天-100)	-	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) P B (t=12.5) 下地半磁器質タイル貼(H=1290)	木製(SOP塗り)	P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	小便器・手洗器・鏡・タオル掛け
	便所(2)	既設 2.300	モザイクタイル貼り(タイルモルタル下地) デッキコンクリート打ち(一般梁天-100)	-	P B (t=12.5) 下地ビニルクロス貼り (木製間柱下地) P B (t=12.5) 下地半磁器質タイル貼(H=1290)	木製(SOP塗り)	P B (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り (木軸天井下地)	塩ビ製(規格品)	和風便器

REVISION	 株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.	
		DRAWING	仕上表 ( 2 )	NO-SCALE	DESIGNER	CHECK	DRAWN
				一級建築士事務所登録第(ト)326-6号			A-14

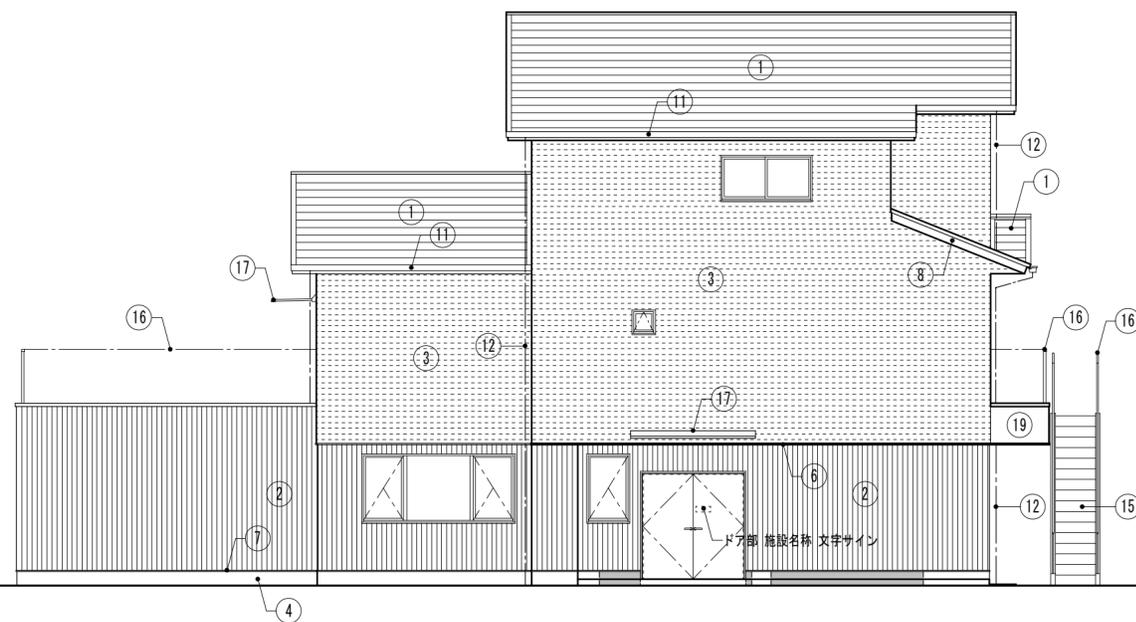




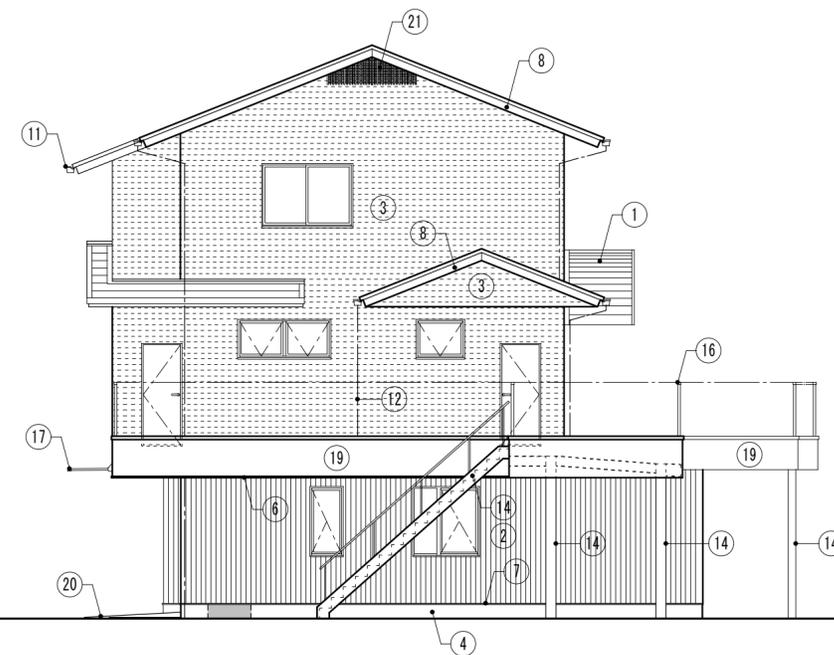
(改修)南面 立面図 S=1/100



(改修)東面 立面図 S=1/100



(改修)北面 立面図 S=1/100



(改修)西面 立面図 S=1/100

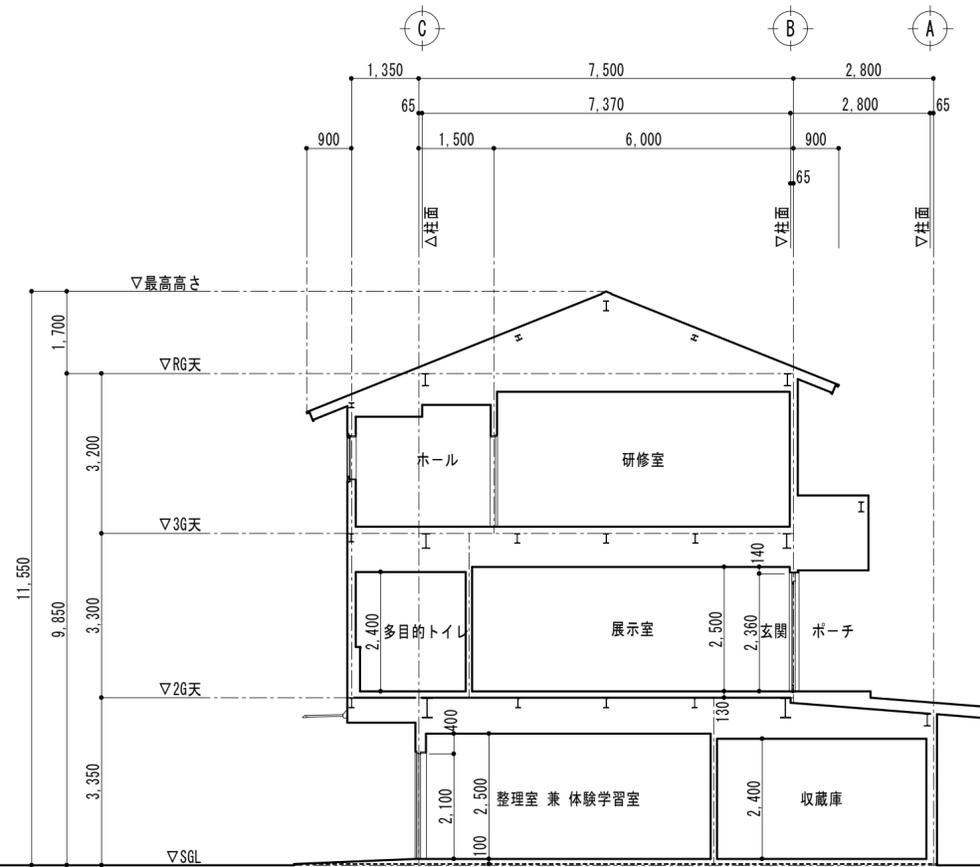
記号	改修外部仕上	7	1・2階腰水切：ガルバリウム鋼板(t=0.35)規格品	14	外部階段(手摺共)・柱型：ケレン・サビ止めの上SOP塗替え	21	新設ヤギリ+換気ガラリ(フクビ：新木ヤギリF型吉峰6型同等品+ガラリ共)
1	屋根・雨押共(ポーチ屋根・庇共)：耐候性塗料(DP)塗替え(高圧洗浄・ケレン・サビ止め)	8	破風板・鼻隠：窯業系不燃外装装飾材(フクビセミックス破風板DH同等品)(H=180)塗装品	15	外部階段(踏面部)：美装(高圧洗浄)の上新設塗床仕上(防滑仕様)	22	新設施設名称サイン
2	外壁：角波カラー鉄板(t=0.4)張替え(塗装品)	9	ポーチ破風板：アルミ製R曲げ加工(焼付塗装)←SOP塗替え	16	アルミ製手摺付笠木(W=300・W=175×H=1100)規格品	23	新設アルミ製スロープ手摺(H=750)
3	外壁：木目調防火サイディング(t=16)縦張り(金具通気工法)塗装品	10	ポーチ屋根妻壁：ケイカル板(t=10)下地木目調ダイノックシート貼り	17	アルミ製庇(アルフィン AD1)同等品(L=2500)	24	新設ステンレス製スロープ手摺(H=750)
4	1階腰壁：コンクリート打放し補修(美装：高圧洗浄)一部新設コンクリート打ち	11	軒樋：塩ビ製角樋(規格品)前高タイプ 120型	18	スチール製車止め：ケレン・サビ止めの上SOP塗替え		
5	2階腰壁：新設モルタル塗り金ゴテ押え	12	縦樋：塩ビ製 φ100・φ75・φ65(規格品)支持金物共	19	デラクリート(t=12)下地左官仕上(ジョリパッド)		
6	軒天見切金物：塩ビ鋼板(t=0.35)規格品(塗装品)	13	ポーチ床：300角磁器質タイル貼り				
							新設腰壁：コンクリート打ち放し補修(W=100)既設高さに合す

REVISION

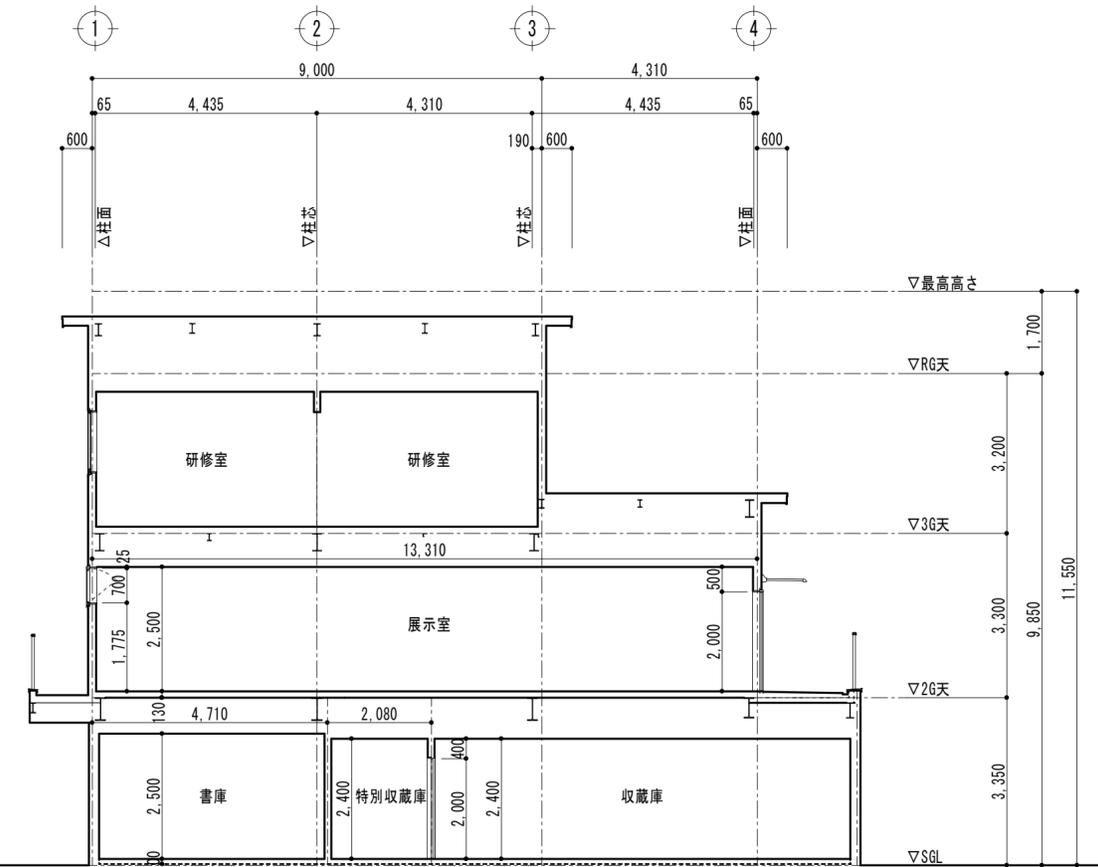
株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE  
文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
DRAWING  
立面図 S=1/100

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
一級建築士事務所登録第(〒)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN	SHEET No.
		A-16

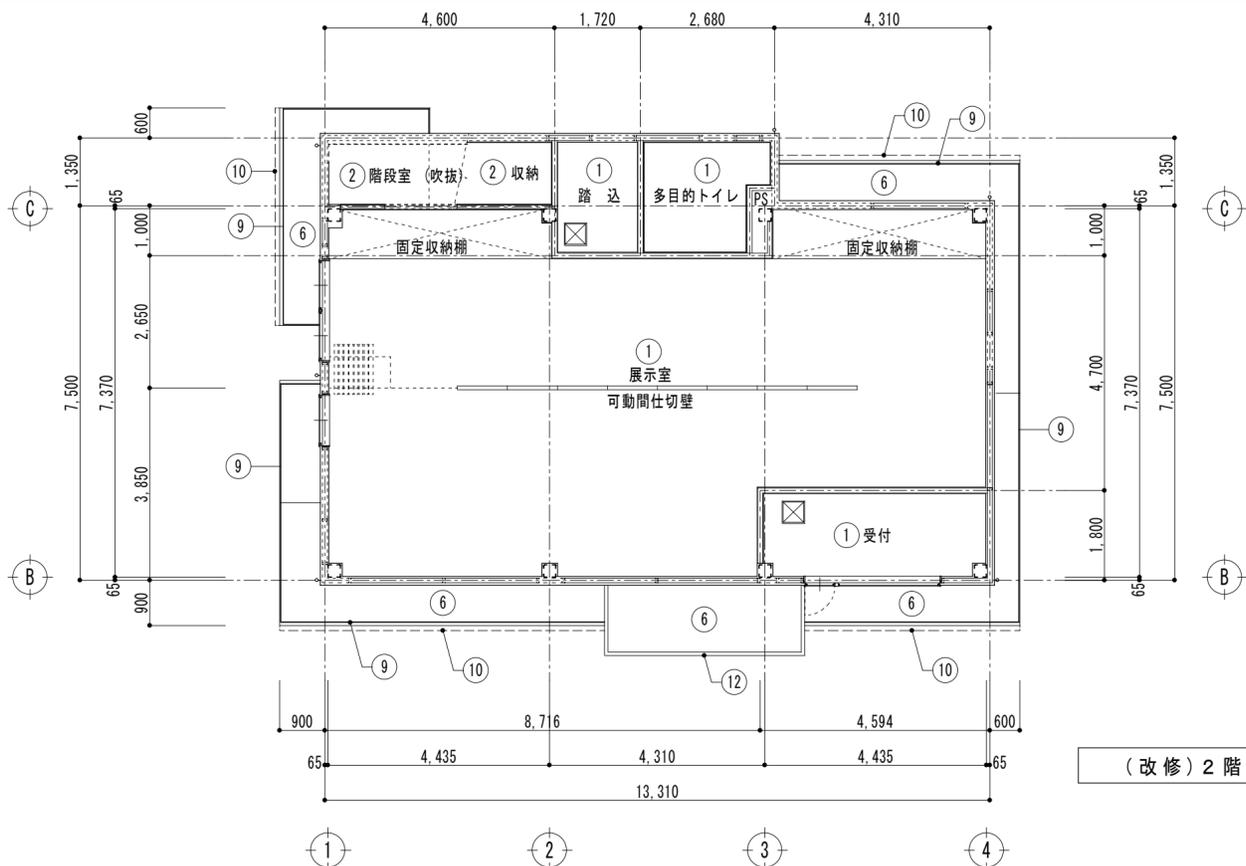


(改修) 梁間断面図 S=1/100

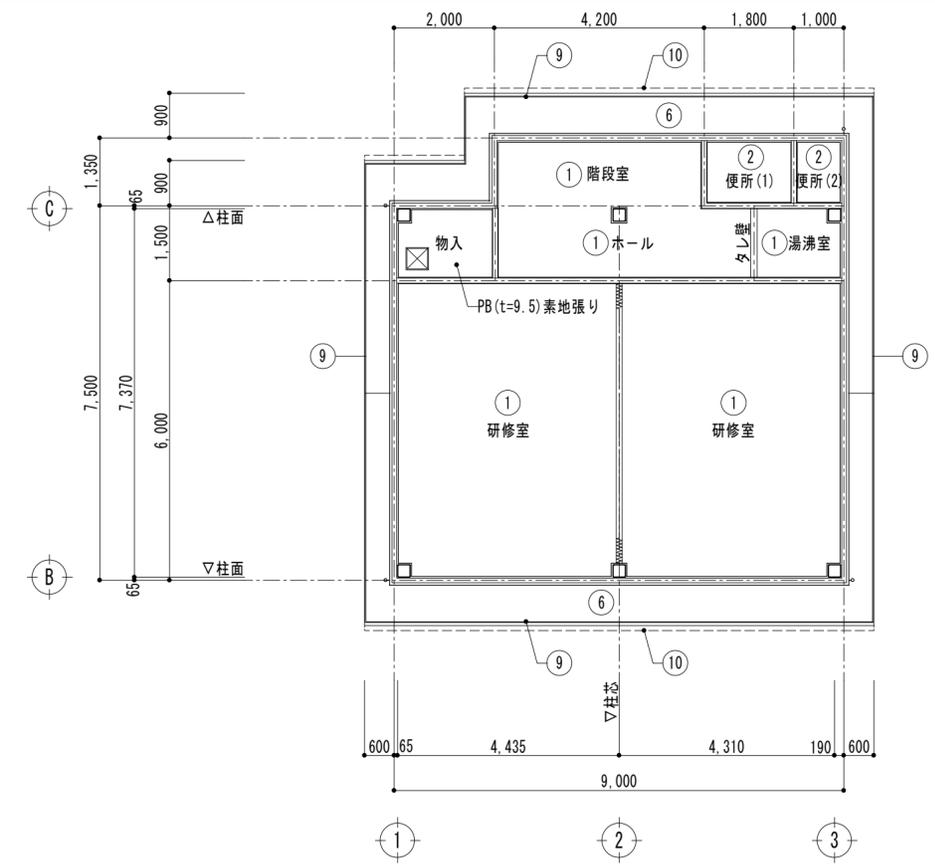


(改修) 桁行断面図 S=1/100

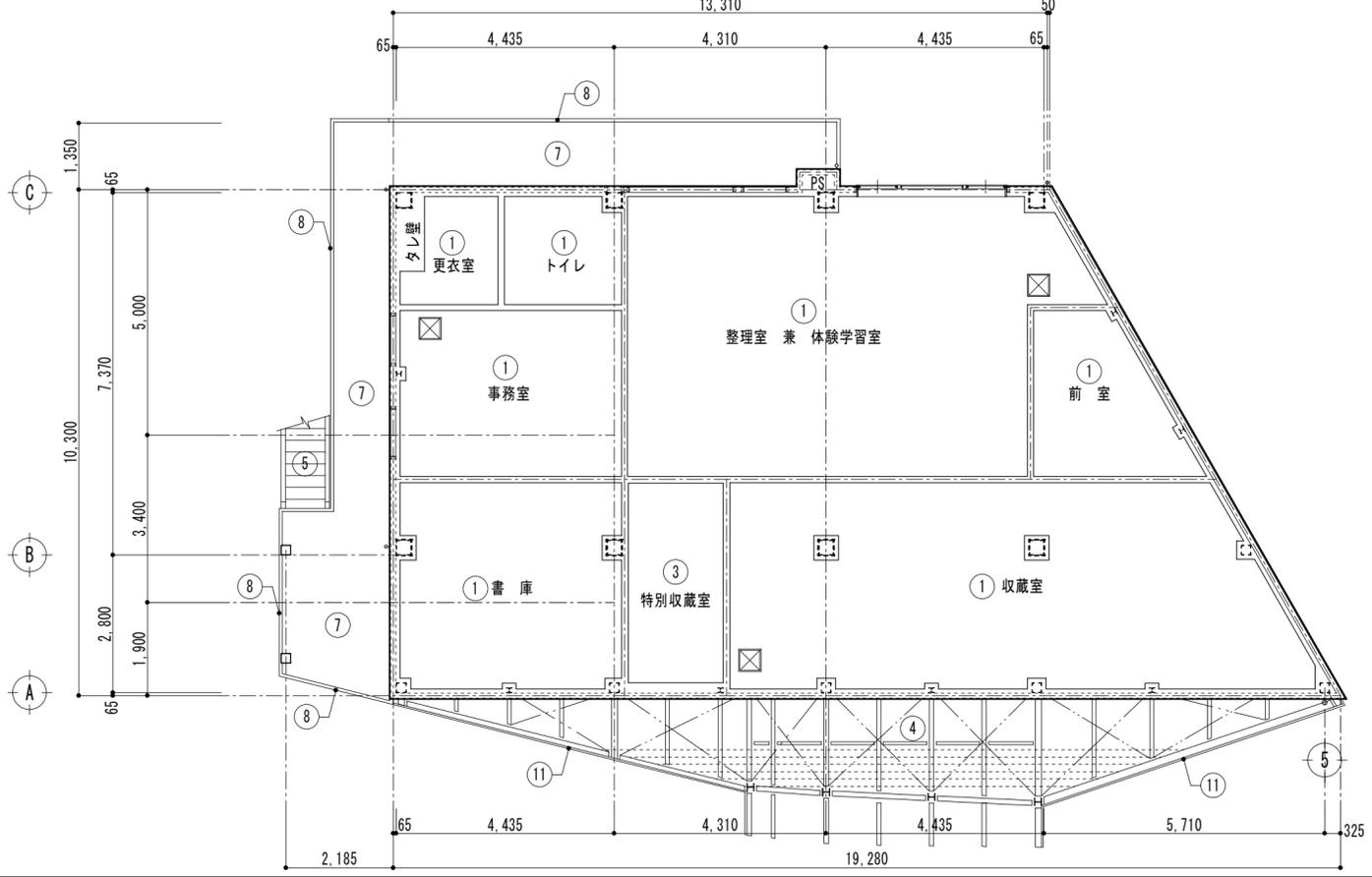
REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
		DRAWING	断面図	S=1/100	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.



(改修) 2階天井伏図 S=1/100



(改修) 3階天井伏図 S=1/100



(改修) 1階天井伏図 S=1/100

(改修)天井仕上表	
記号	改修内容
①	LGS天井下地 化粧石膏ボード張り(t=9.5) ※ 3階部分は今回工事範囲外
②	LGS天井下地 PB(t=9.5)下地ビニルクロス貼り ※ 3階部分は今回工事範囲外
③	LGS天井下地 PB(t=9.5)下地杉板(t=9)底目張り
④	既設デッキプレート・鉄骨梁・ブレース現し→高圧洗浄・ケレン・サビ止めの上SOP塗り
⑤	既設鉄骨階段現し→同上
⑥	軒天：木目調化粧ケイカル板(t=6)目透張り
⑦	軒天：ケイカル板(t=6)目透し張り
⑧	見切金物：塩ビ鋼板(t=0.35)規格品(塗装品)AEP塗
⑨	破風板・鼻隠：新設業系不燃外装装飾材(フクビセミックス破風板DH同等品)(H=180)塗装品(既設撤去)
⑩	軒樋：塩ビ製角樋(規格品)前高タイプ 120型
⑪	エントランス立上り壁：デラクリート(t=12)下地左官仕上(ジョリパッド)
⑫	塗替え SOP塗
☒	アルミ製点検口(口=450) ※ 数量・位置については打合せに依る

REVISION	
----------	--

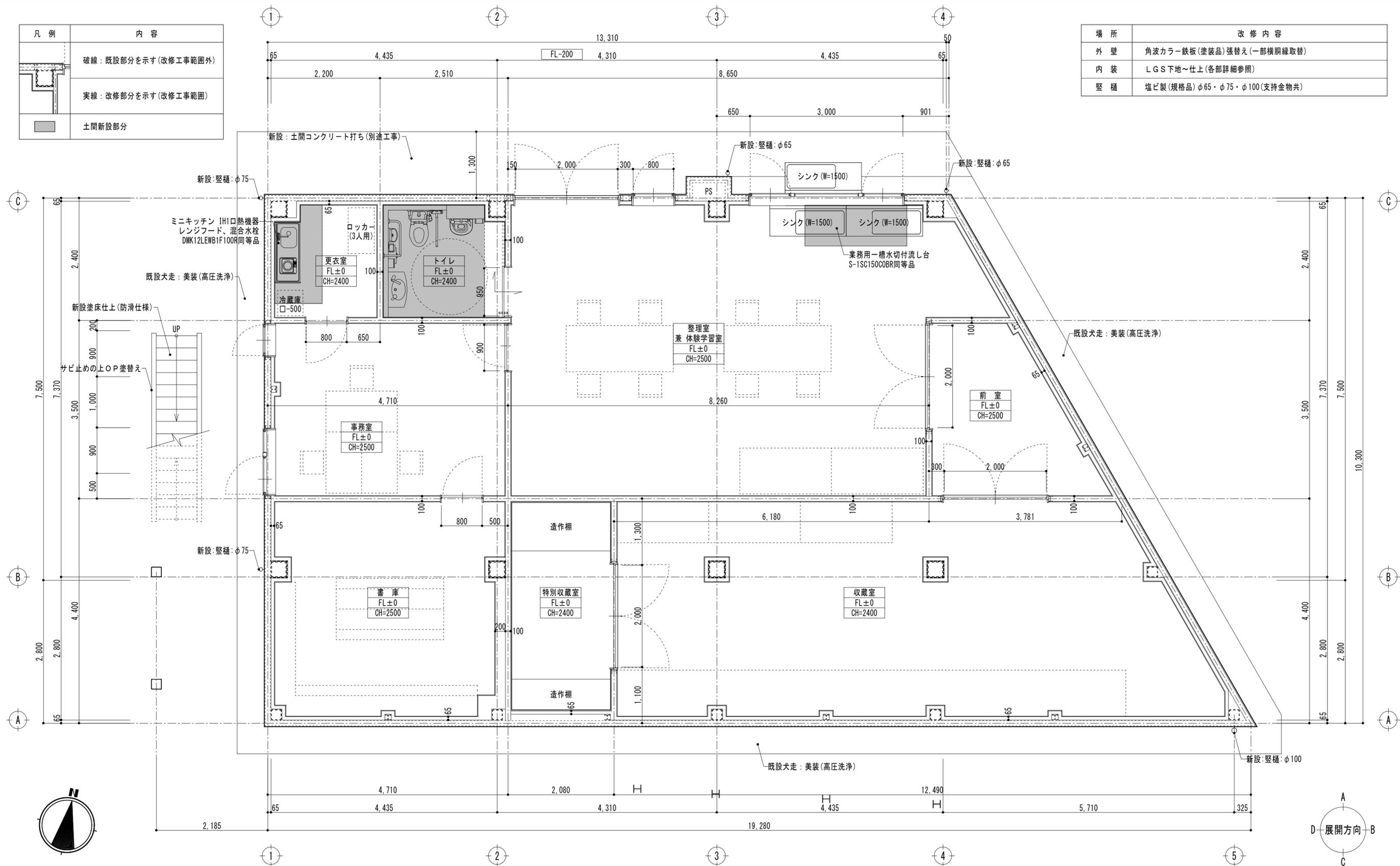

**株式会社 川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図
DRAWING	天井伏図 S=1/100

FILE No.	
DATE	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一
DESIGNER	
CHECK	
DRAWN	
SHEET No.	一級建築士事務所県登録第(ト)326-6号
	A-18

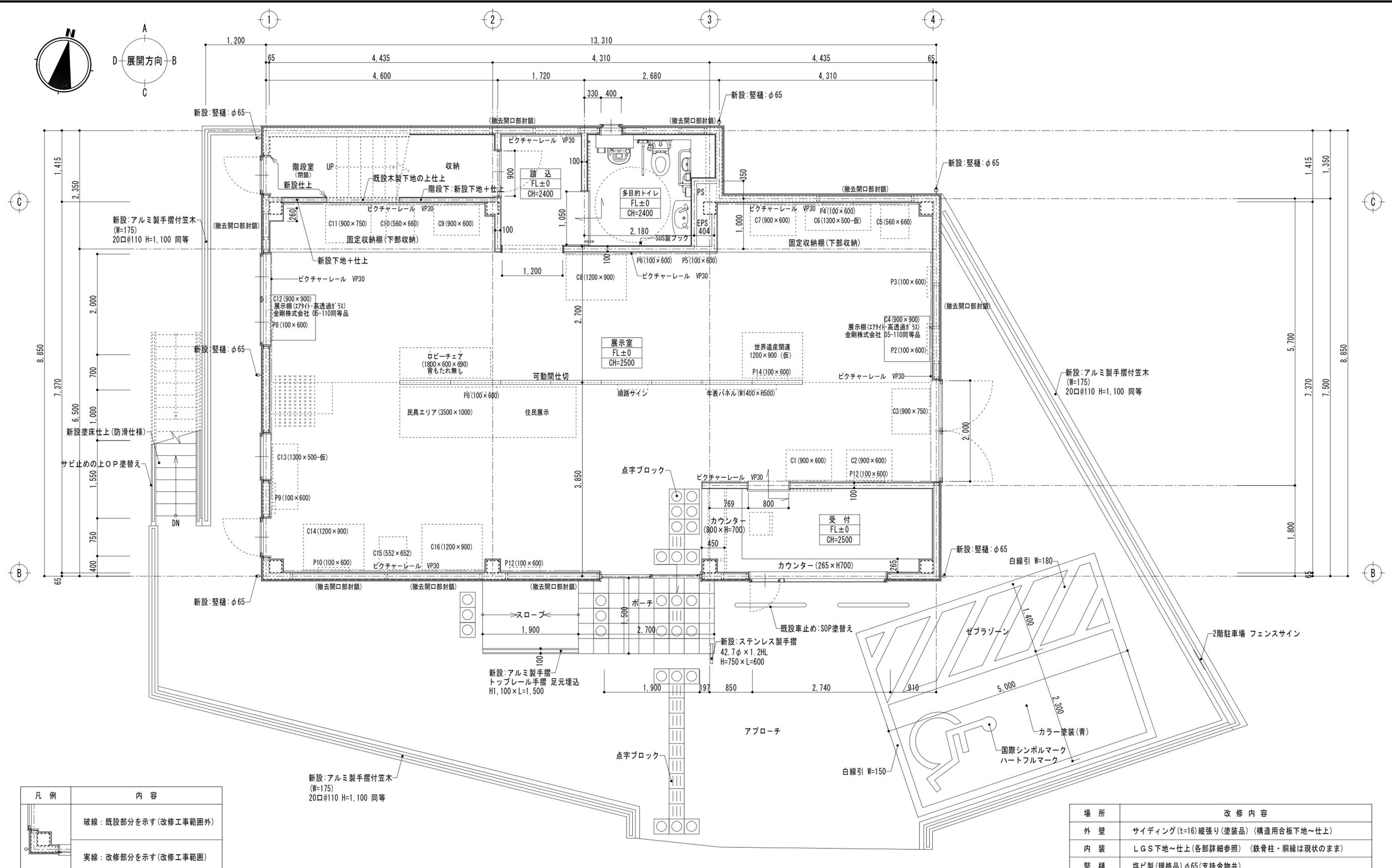
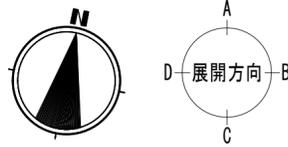
凡例	内容
	破線：既設部分を示す(改修工事範囲外)
	実線：改修部分を示す(改修工事範囲)
	土間新設部分

場所	改修内容
外壁	角波カラー鉄板(塗装品)張替え(一部横胴縁取替)
内装	LGS下地~仕上(各部詳細参照)
竖樋	塩ビ製(規格品)φ65・φ75・φ100(支持金物共)



(改修) 1階平面詳細図 S=1/50

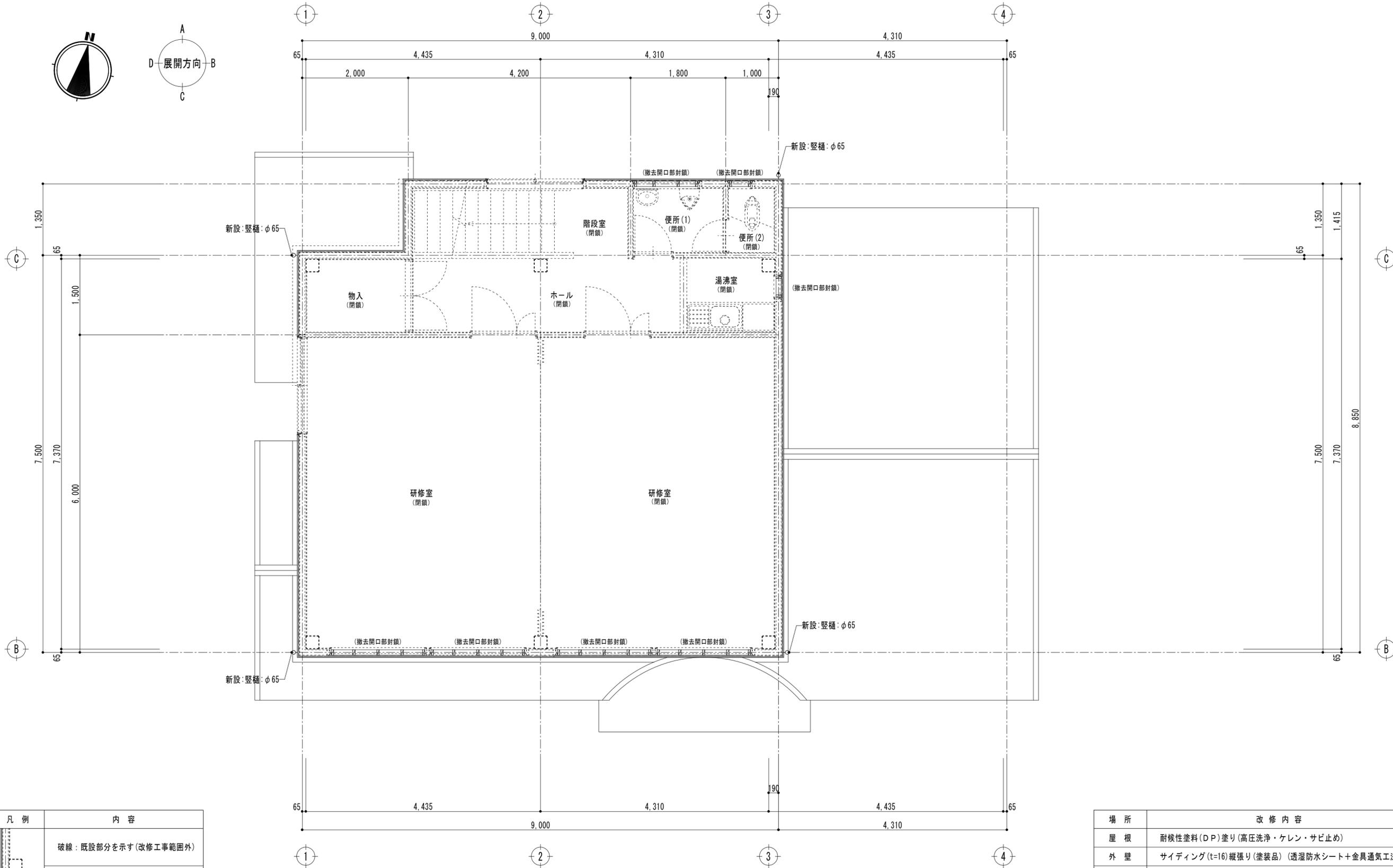
REVISION	株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図 DRAWING 1階平面詳細図	DATE 一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一 DESIGNER CHECK DRAWN S=1/50	FILE No. SHEET No. A-19



凡例	内容
	破線：既設部分を示す(改修工事範囲外)
	実線：改修部分を示す(改修工事範囲)

場所	改修内容
外壁	サイディング(t=16)縦張り(塗装品)(構造用合板下地~仕上)
内装	LGS下地~仕上(各部詳細参照)(鉄骨柱・鋼線は現状のまま)
堅柱	塩ビ製(規格品)φ65(支持金物共)

(改修) 2階平面詳細図 S=1/50



凡例	内容
	破線: 既設部分を示す(改修工事範囲外)
	実線: 改修部分を示す(改修工事範囲)

場所	改修内容
屋根	耐候性塗料(DP)塗り(高圧洗浄・ケレン・サビ止め)
外壁	サイディング(t=16)縦張り(塗装品)(透湿防水シート+金具通気工法)
撤去開口部	同上サイディング張り(構造用合板下地~仕上)
縦筋	塩ビ製(規格品)φ65(支持金物共)

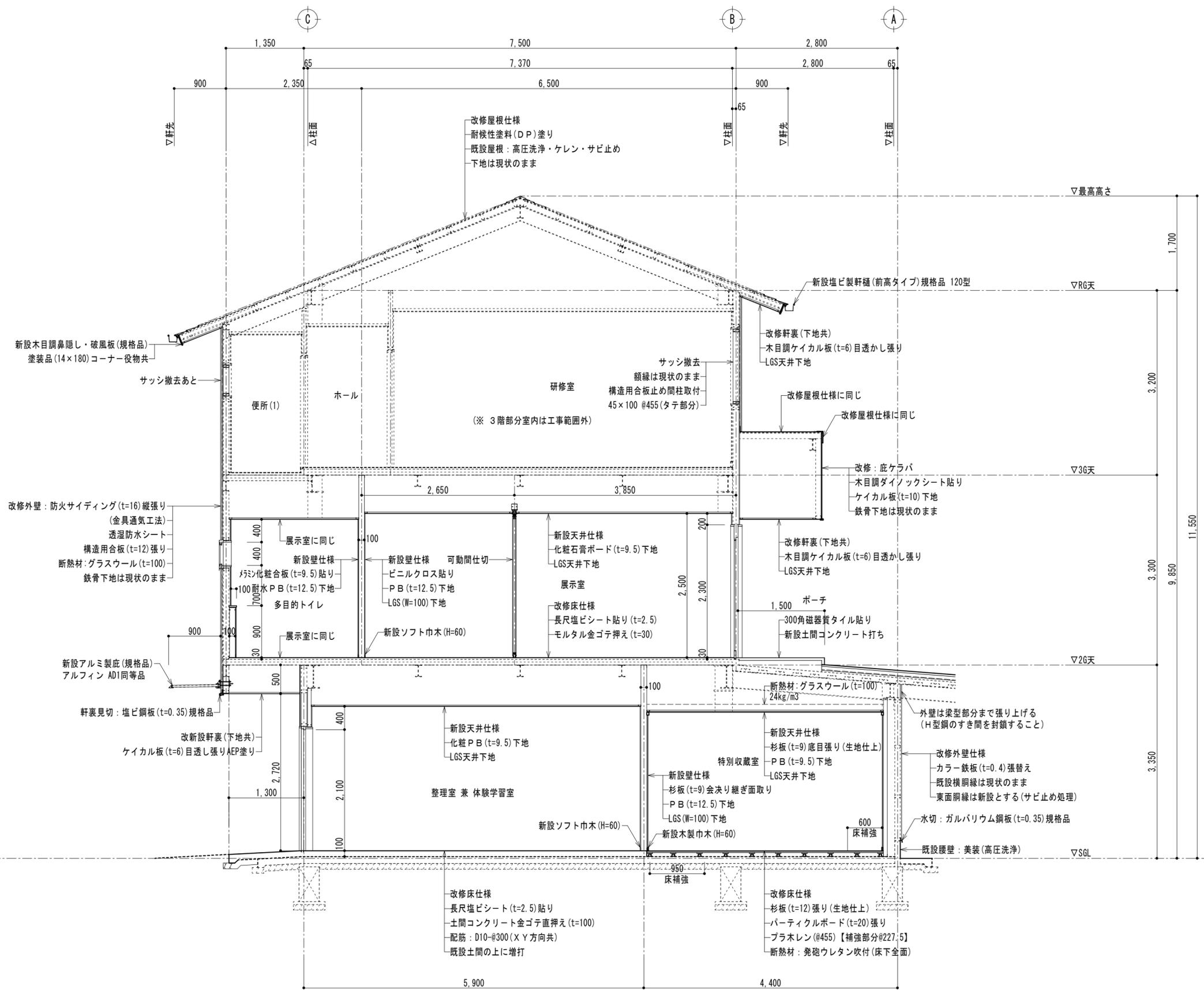
(改修)3階平面詳細図 S=1/50

REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 3階平面詳細図 S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE			FILE No.
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号 <td>DESIGNER</td> <td>CHECK</td> <td>DRAWN</td> <td>SHEET No.</td>	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.
				A-21

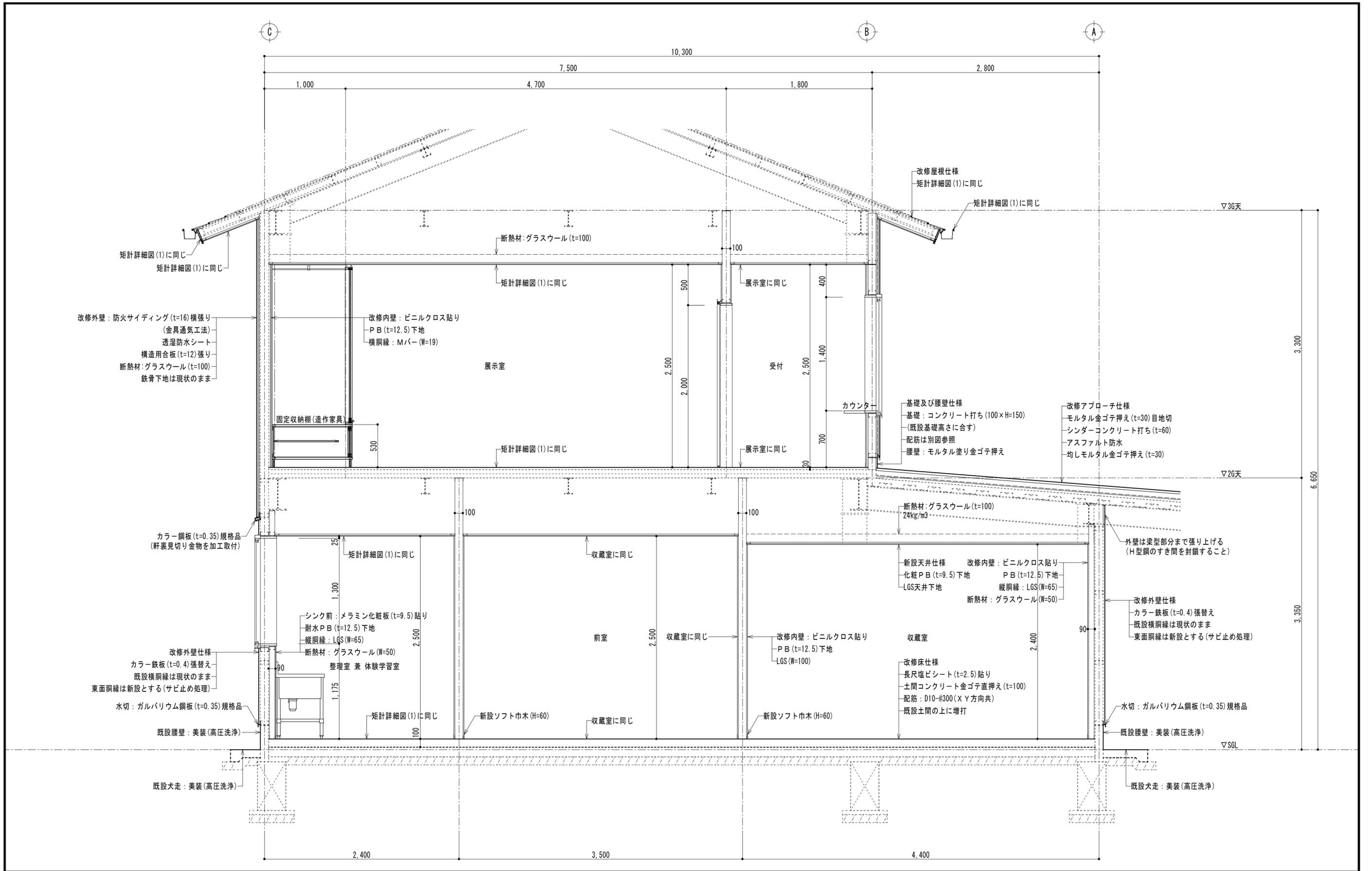


REVISION


**株式会社 川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図
DRAWING	矩計詳細図(1)
SCALE	S=1/50

DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.
			A-22

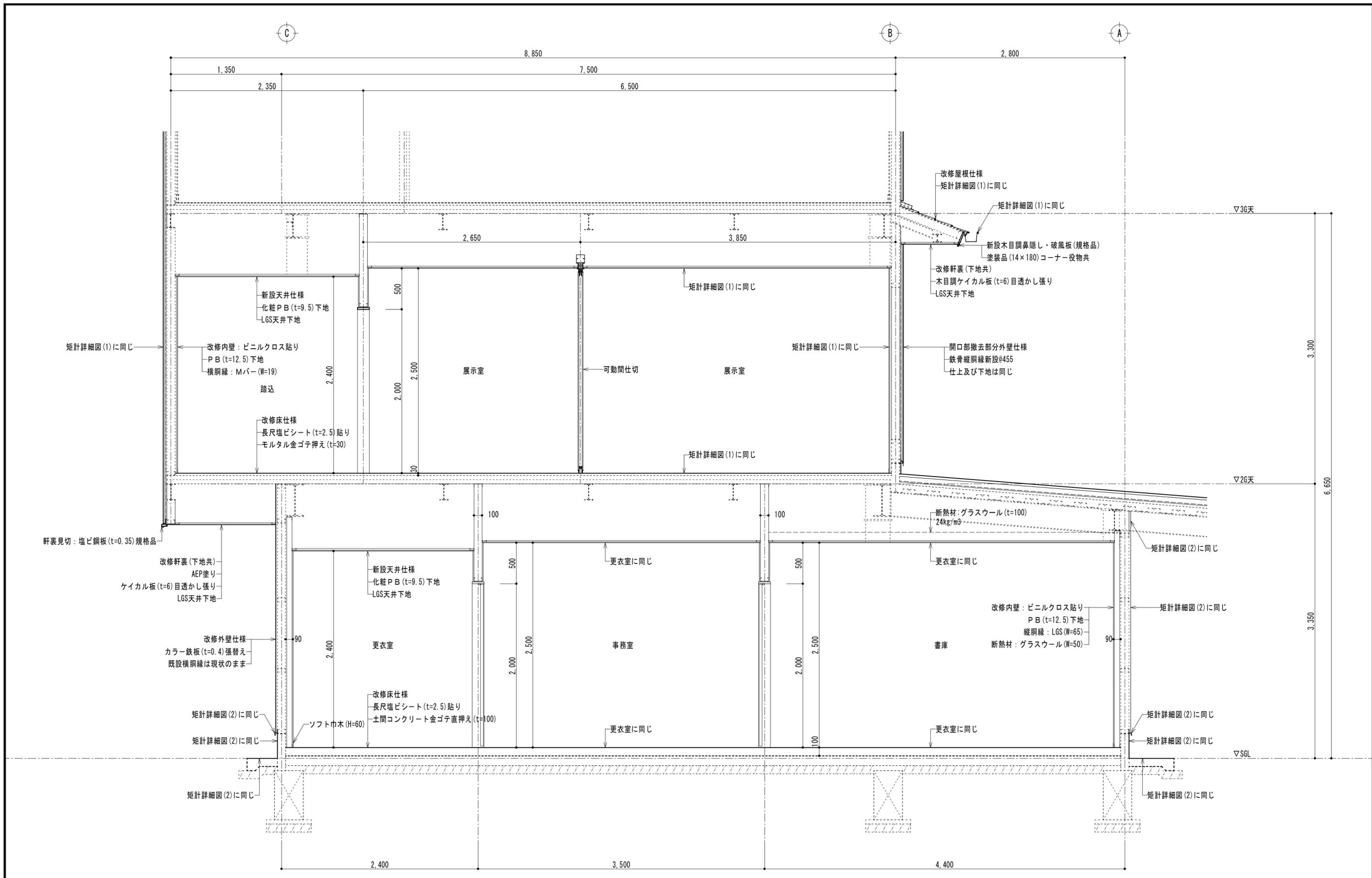


REVISION

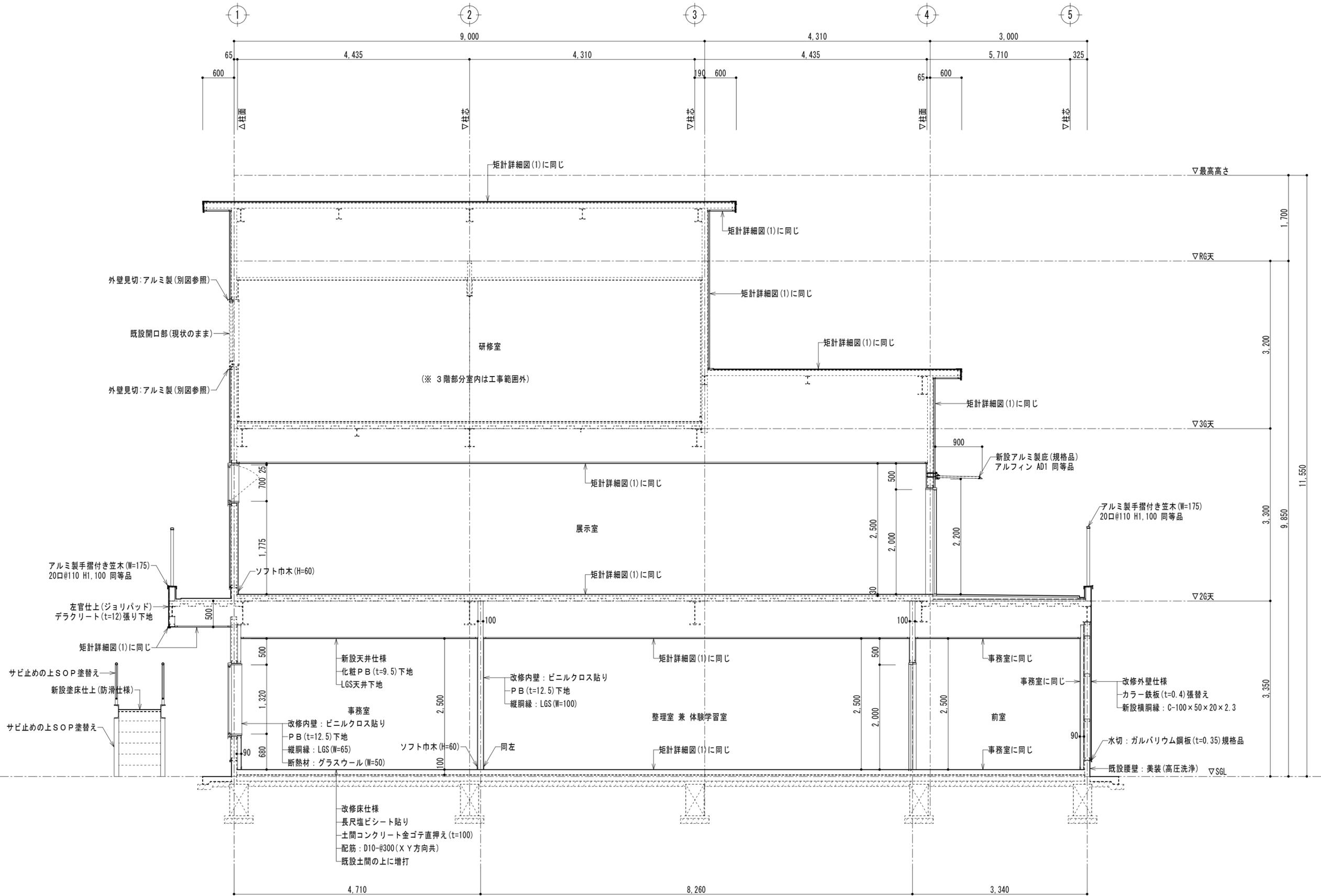

**株式会社 川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE	DESIGN
文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	設計図
DRAWING	矩計詳細図(2)
	S=1/30

DATE	FILE No.
一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一 DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No. 一級建築士事務所登録第(ト)326-6号 A-23	



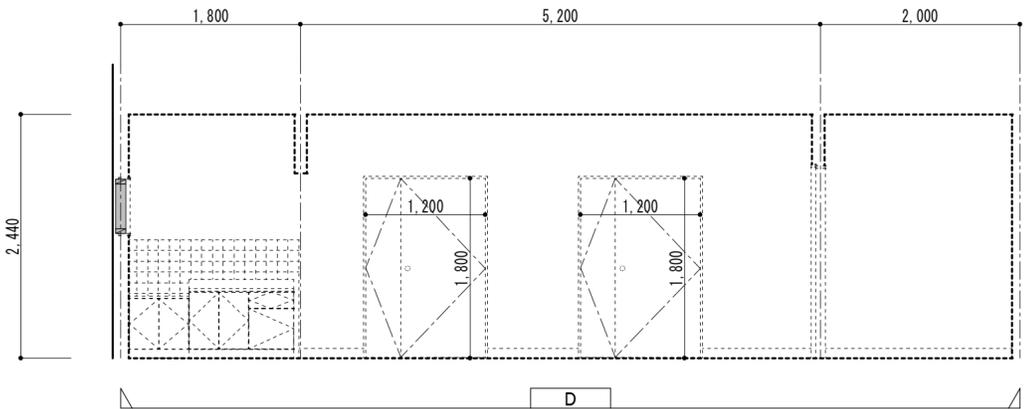
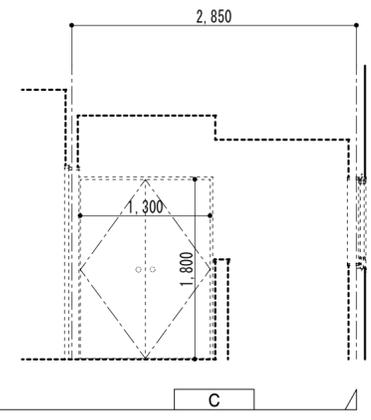
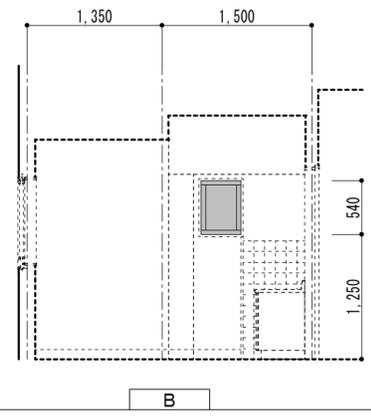
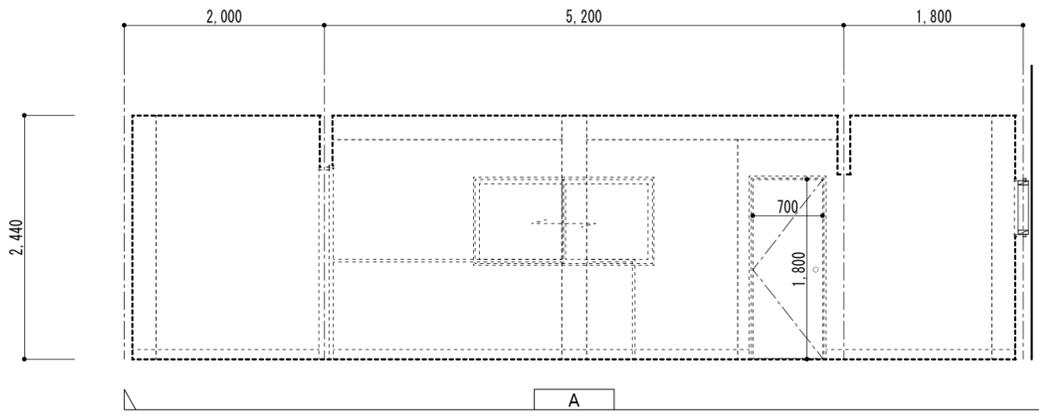
REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.		
		DRAWING	矩計詳細図(3)	S=1/30	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN



REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
		DRAWING	矩計詳細図(4)	S=1/50	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

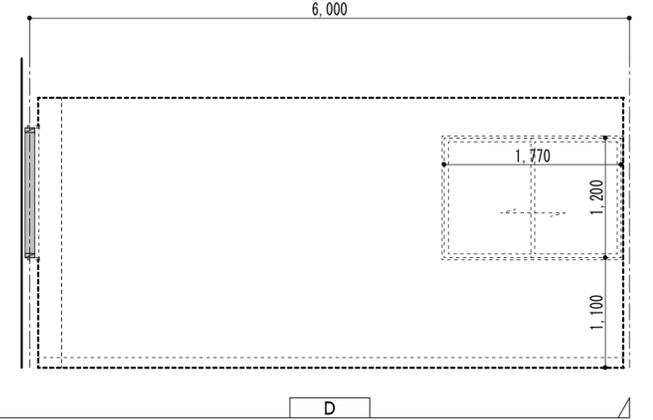
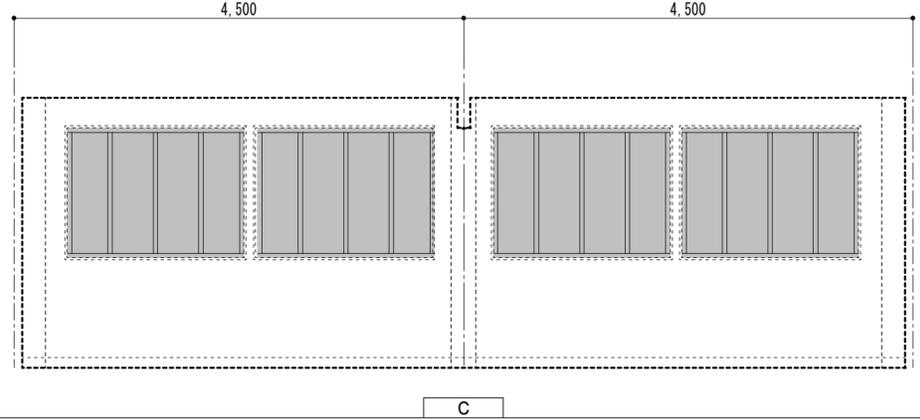
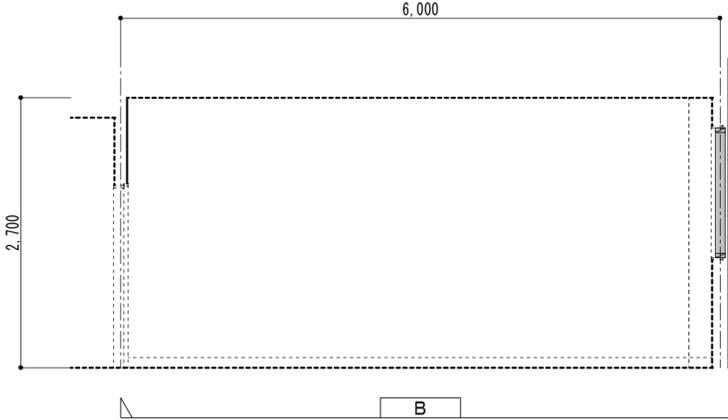
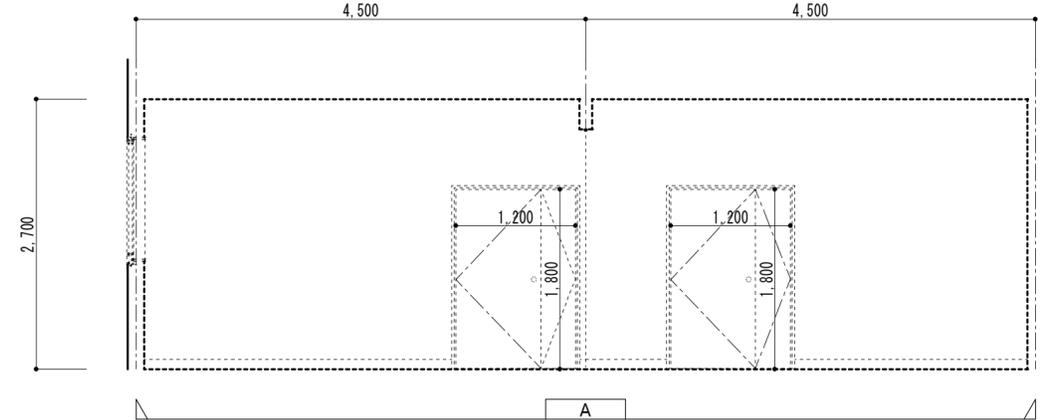
■ =開口部封鎖範囲を示す(間柱・まぐさ取付)

室名	階段室・ホール
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り



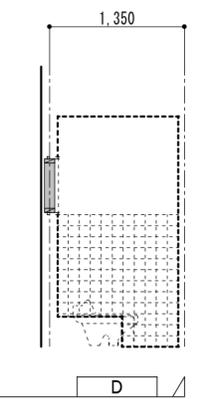
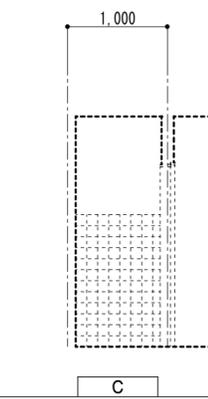
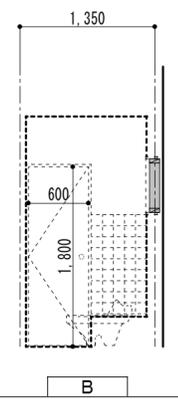
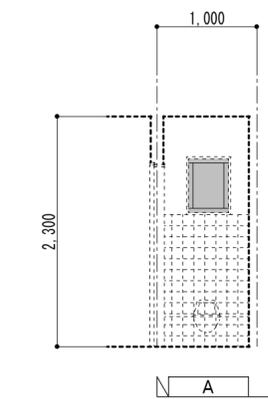
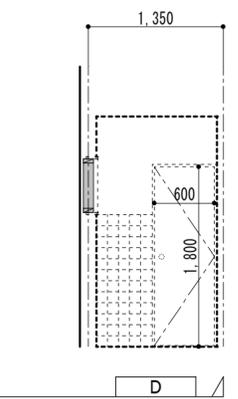
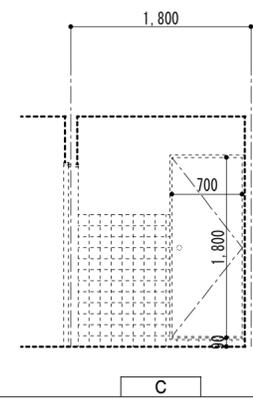
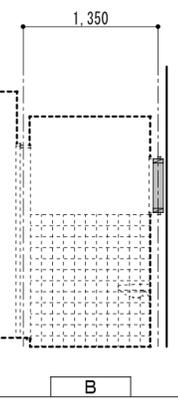
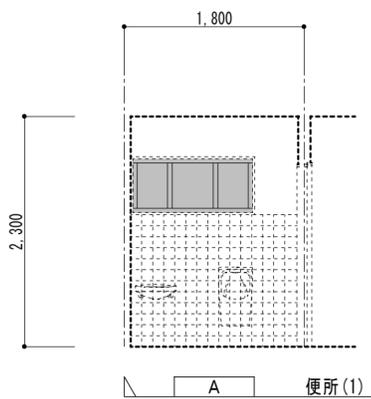
■ =開口部封鎖範囲を示す(間柱・まぐさ取付)

室名	研修室
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り



■ =開口部封鎖範囲を示す(間柱・まぐさ取付)

室名	便所(1・2)
天井	ビニルクロス貼り
壁	ビニルクロス貼り
腰壁	半磁器質タイル貼り
巾木	-
床	モザイクタイル貼り



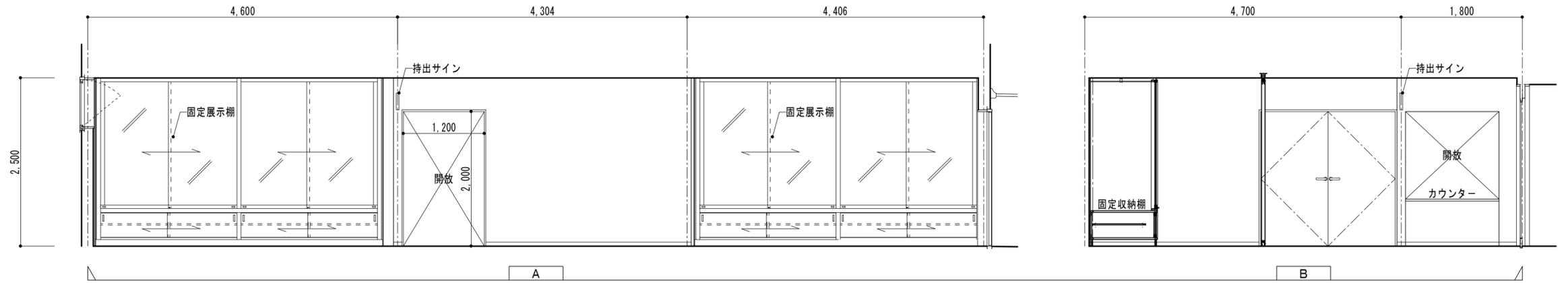
REVISION
----------

株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

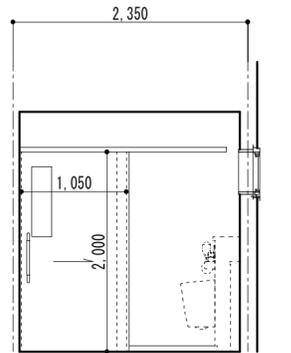
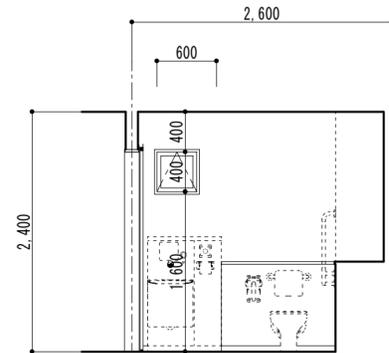
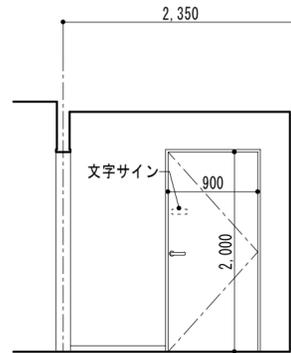
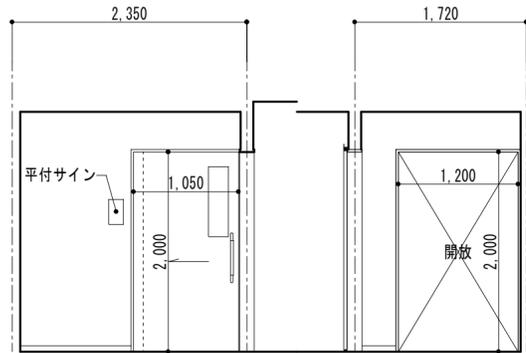
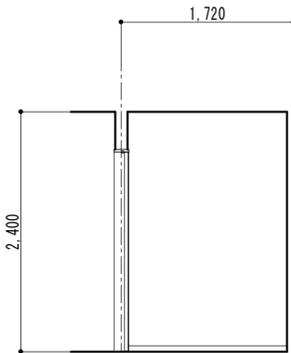
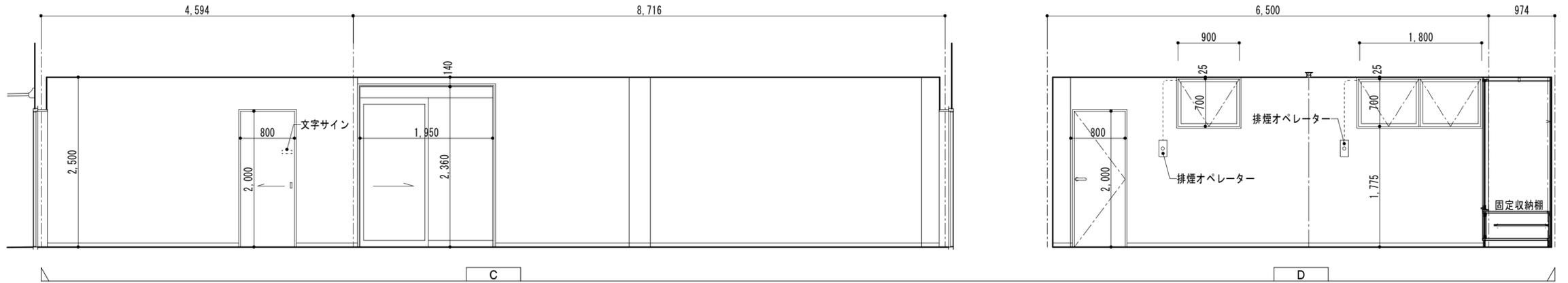
TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 3階展開図 S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN	SHEET No.
		A-26

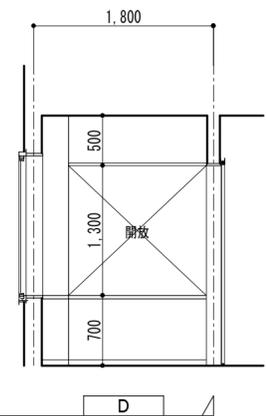
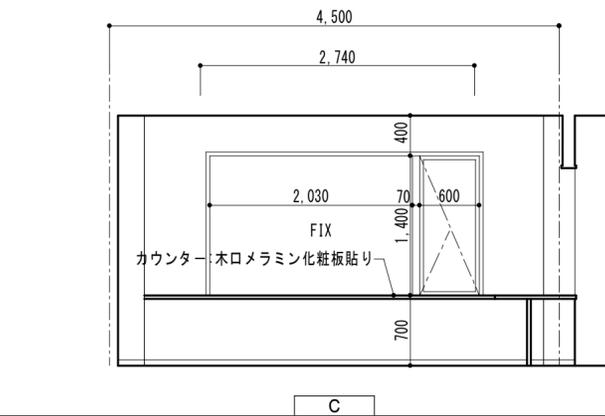
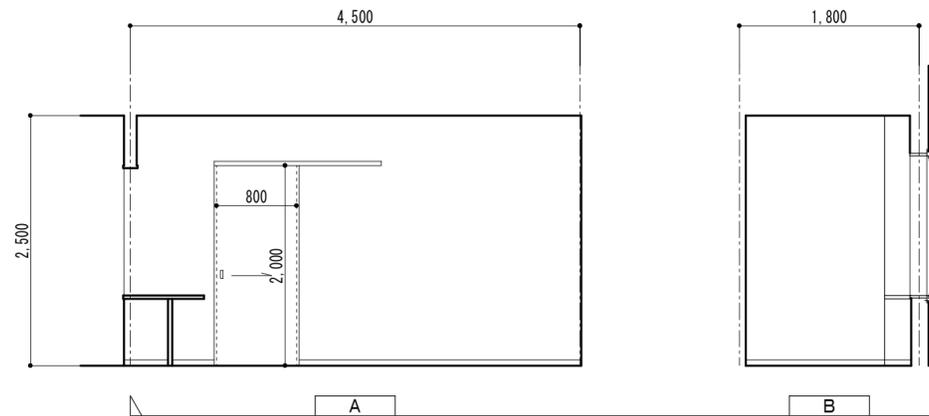
室名	展示室
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	踏込
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	受付
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	多目的トイレ
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	メラミン化粧板貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)抗菌貼り

REVISION

株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

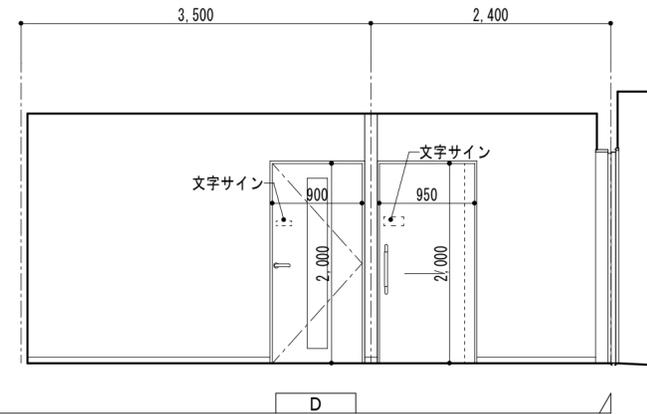
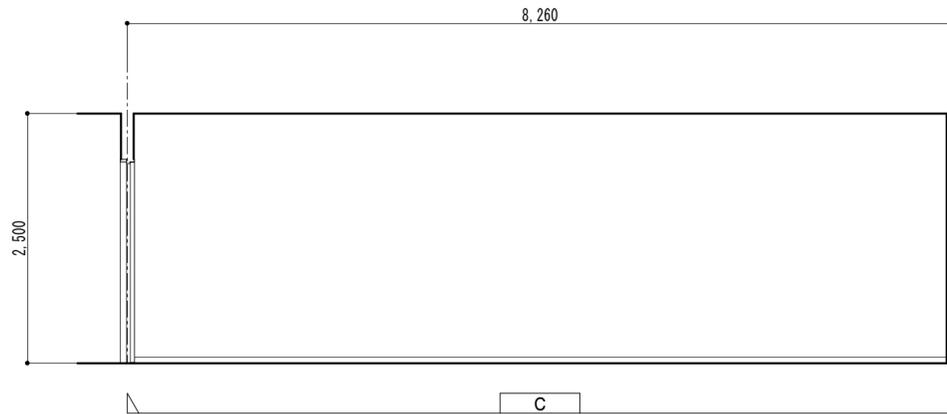
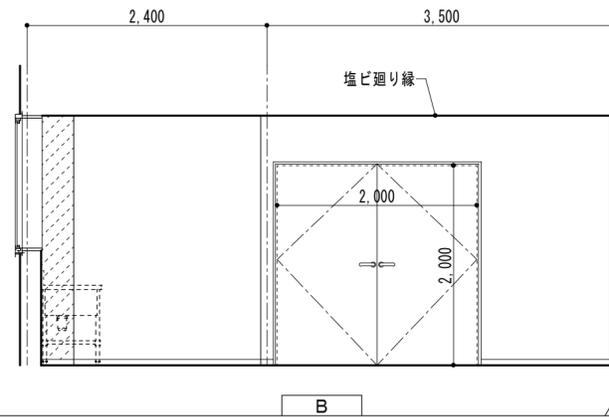
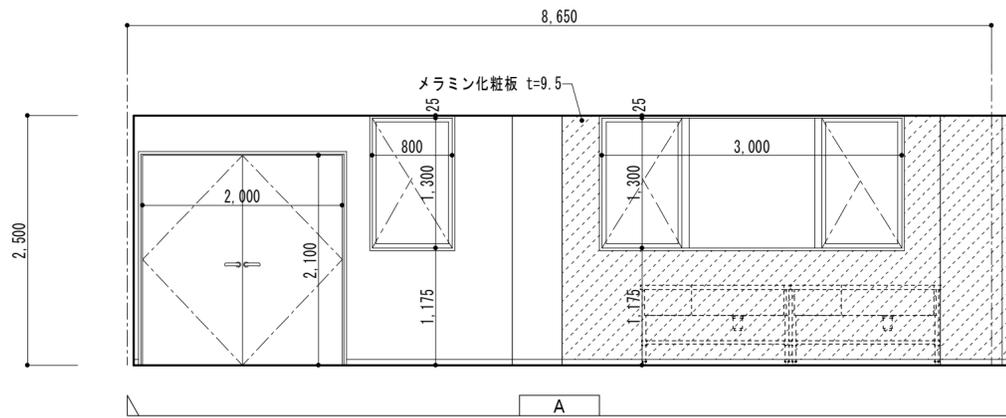
TITLE  
文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事  
DRAWING  
2階展開図

設計図  
S=1/50

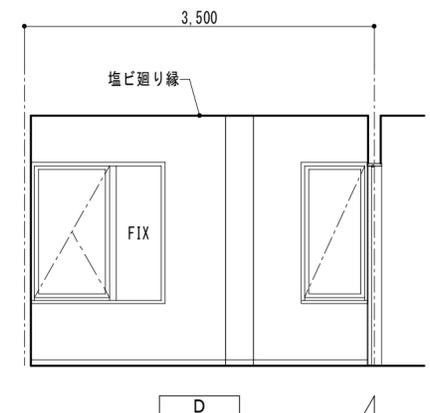
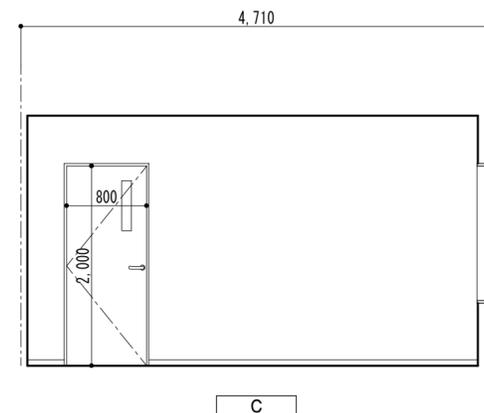
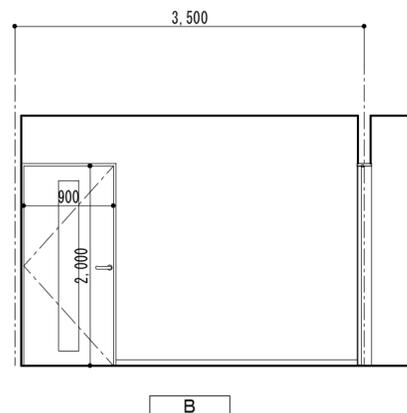
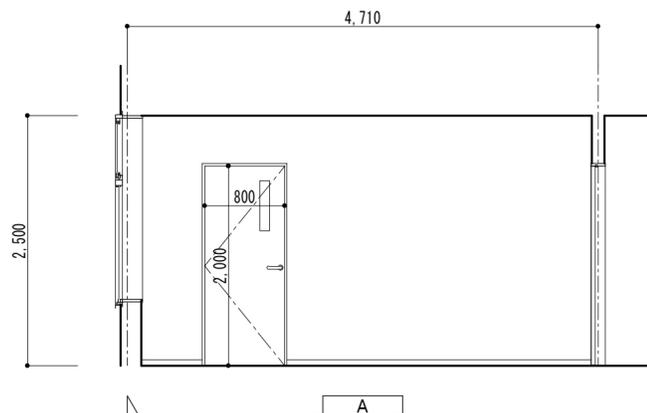
一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

DATE	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.
				A-27

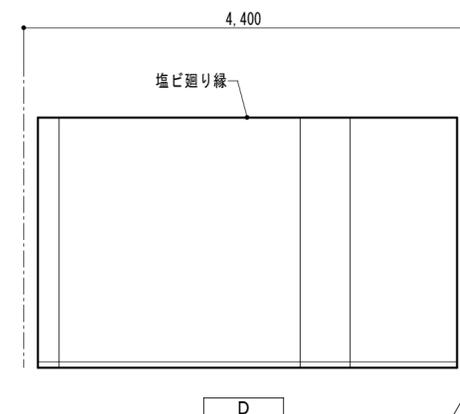
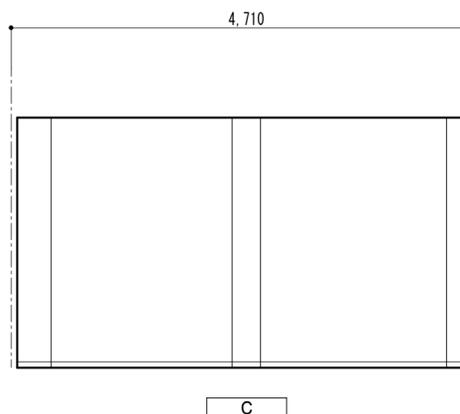
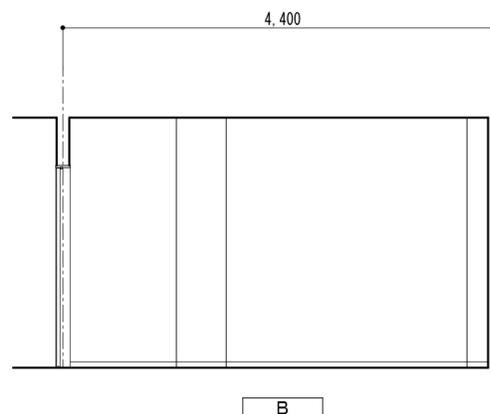
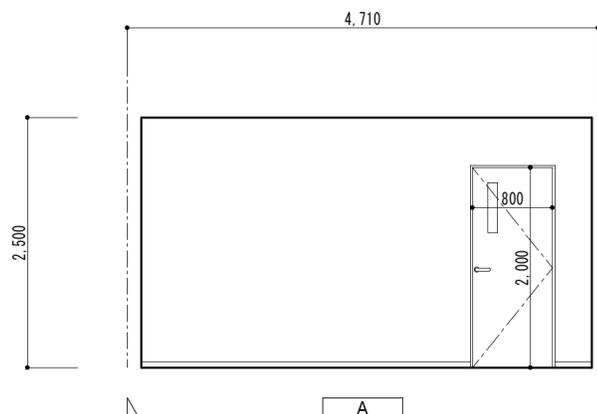
室名	整理室 兼 体験学習室
天井	化粧石膏ボード (t=9.5) 張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木 (H=60)
床	長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り



室名	事務室
天井	化粧石膏ボード (t=9.5) 張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木 (H=60)
床	長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り



室名	書庫
天井	化粧石膏ボード (t=9.5) 張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木 (H=60)
床	長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り



REVISION

株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

DRAWING

1階展開図(1)

設計図

S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

DATE

DESIGNER

CHECK

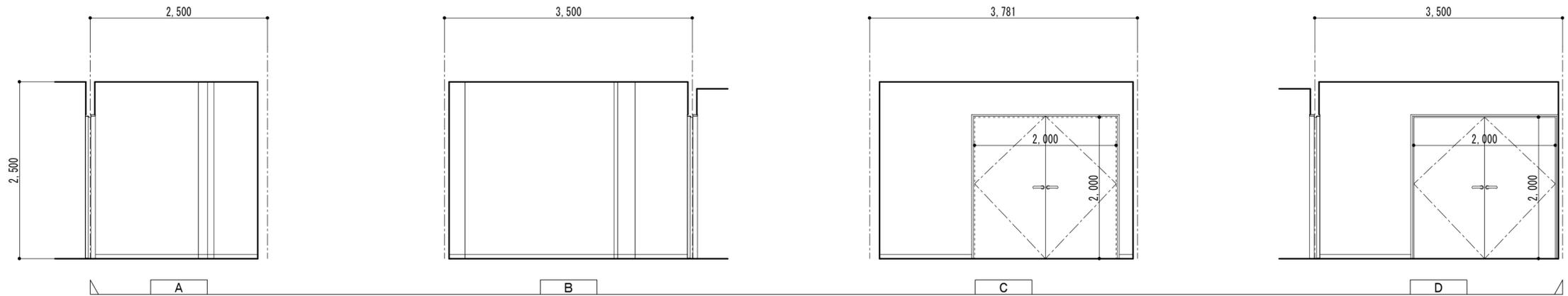
DRAWN

FILE No.

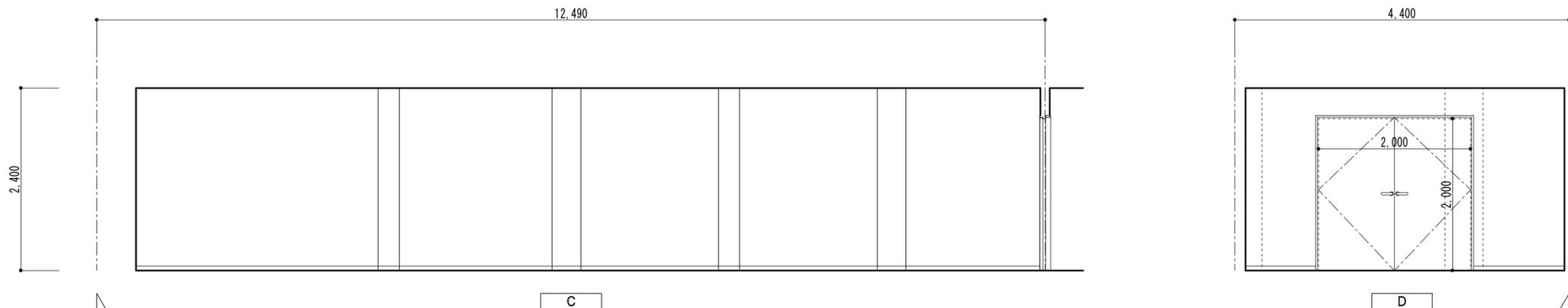
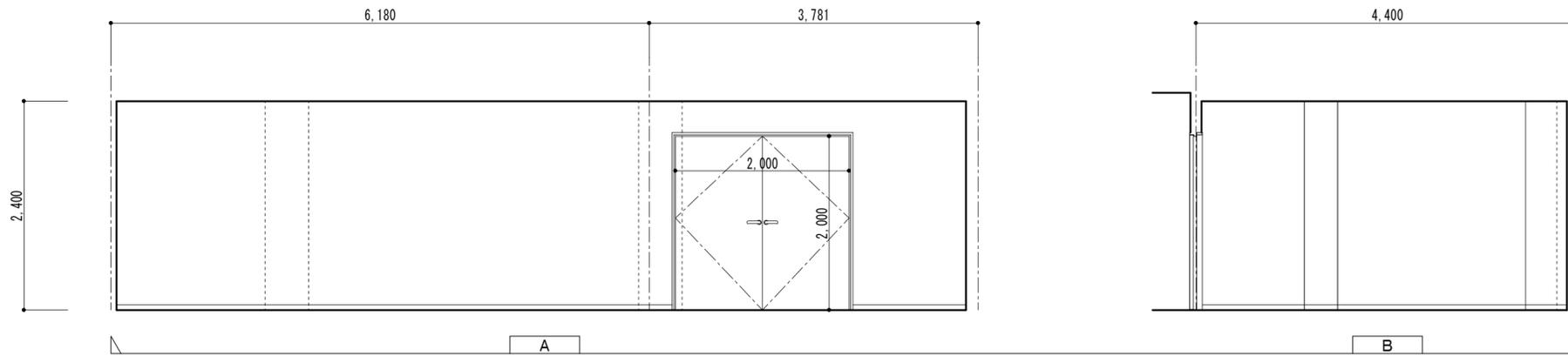
SHEET No.

A-28

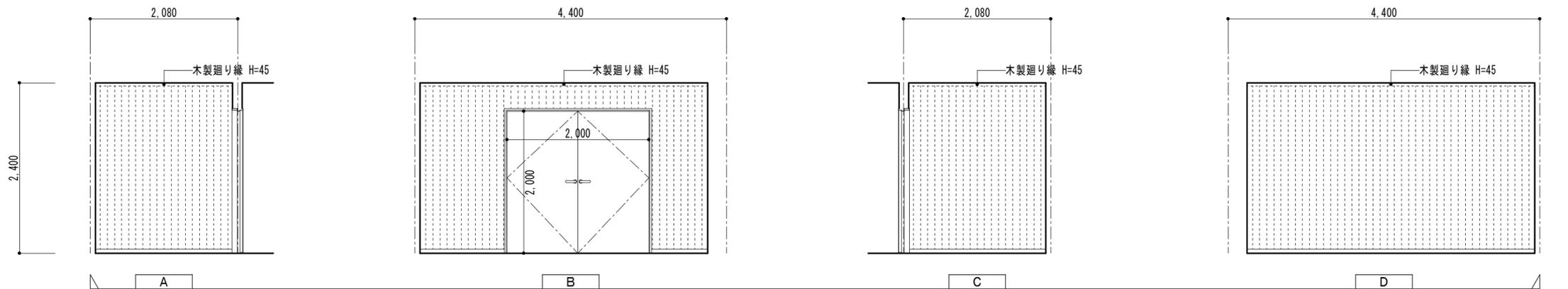
室名	前室
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	収蔵庫
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	特別収蔵庫
天井	杉板(t=9)底目張り
壁	杉板(t=9)会決り継ぎ面取り
巾木	木製巾木(H=60)生地仕上
床	杉板(t=12)張り



REVISION

株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

DRAWING

1階展開図(2)

設計図

S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(特)326-6号

DATE

DESIGNER

CHECK

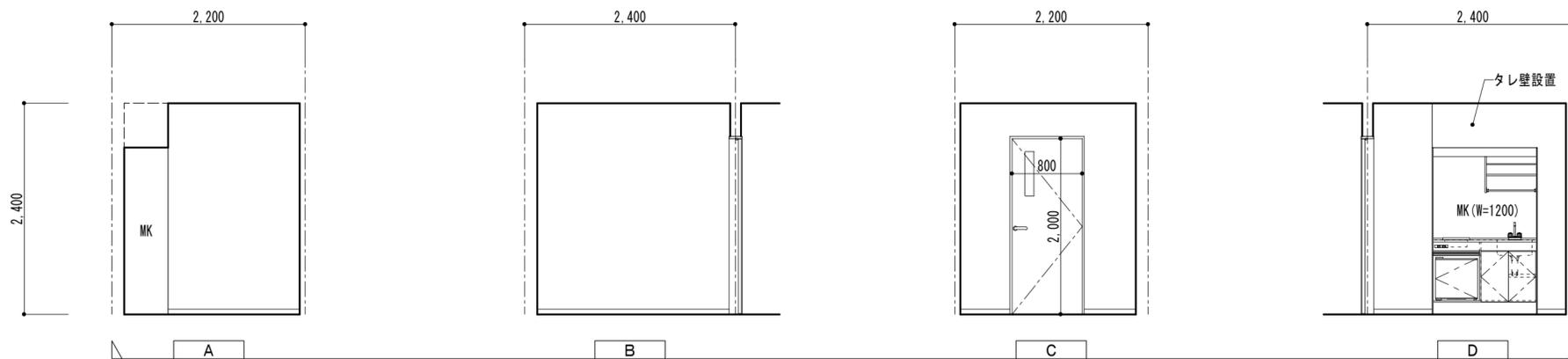
DRAWN

FILE No.

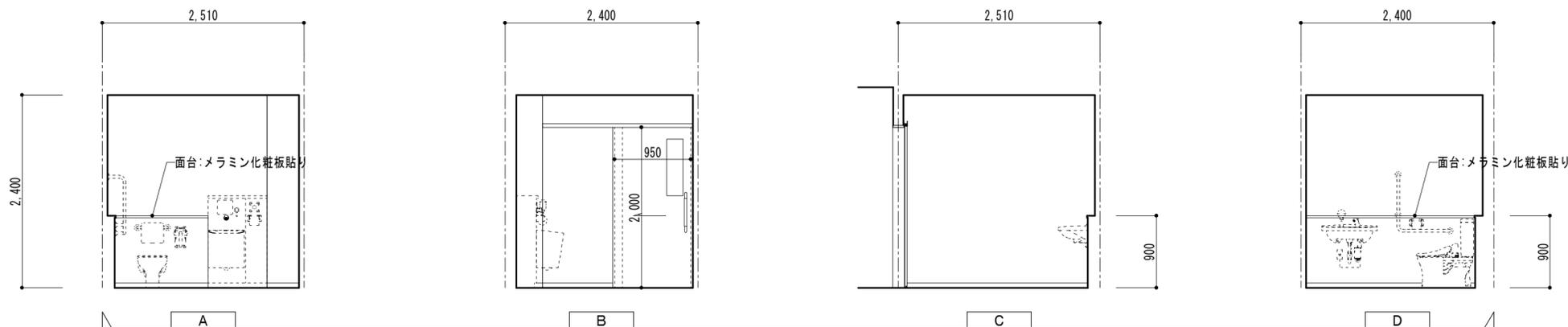
SHEET No.

A-29

室名	更衣室
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り



室名	トイレ
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	メラミン化粧板(t=9.5)貼り
巾木	ソフト巾木(H=60)
床	長尺塩ビシート(t=2.5)抗菌貼り



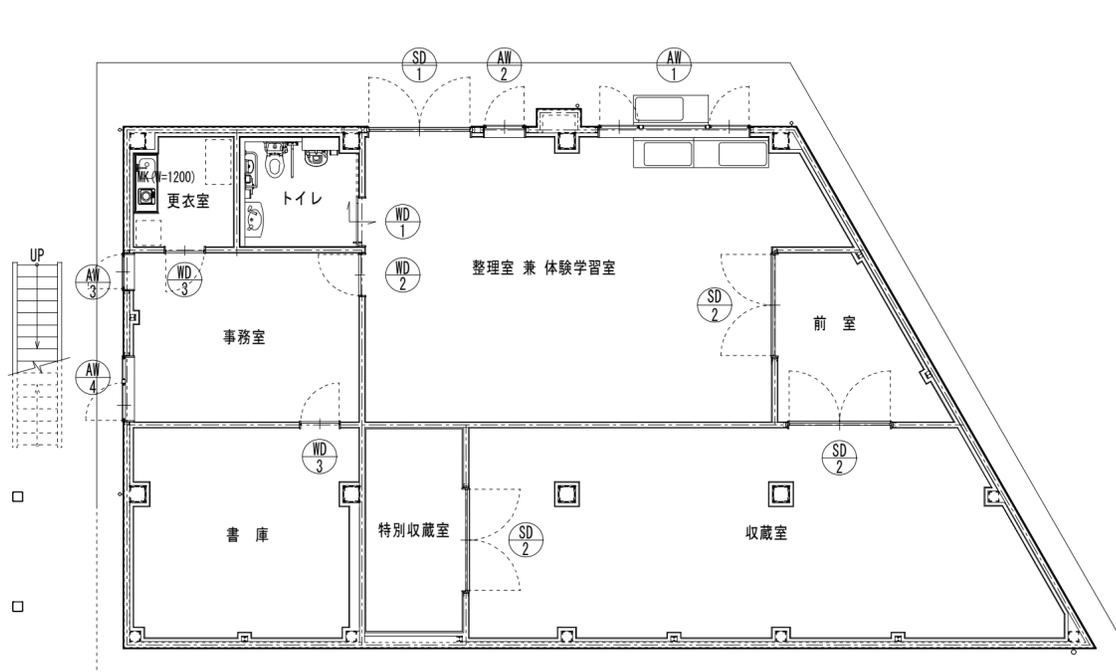
REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

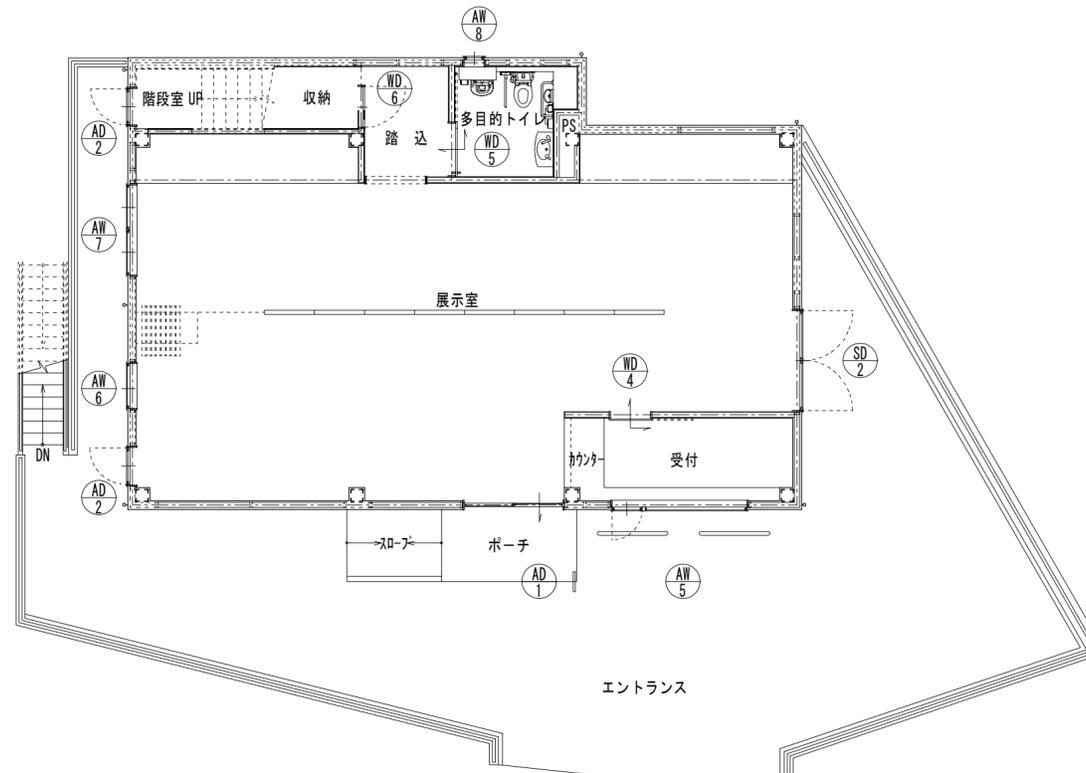
TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 1階展開図(3) S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
 一級建築士事務所登録第(〒)326-6号

DATE				FILE No.
DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.	
			A-30	



(改修) 1階建具配置平面図 S=1/100



(改修) 2階建具配置平面図 S=1/100

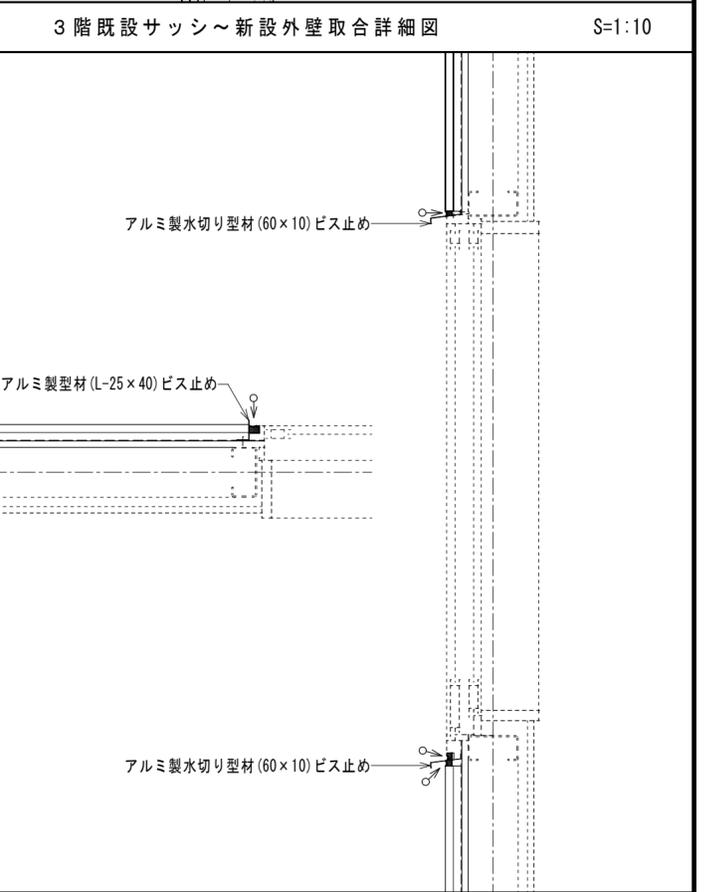
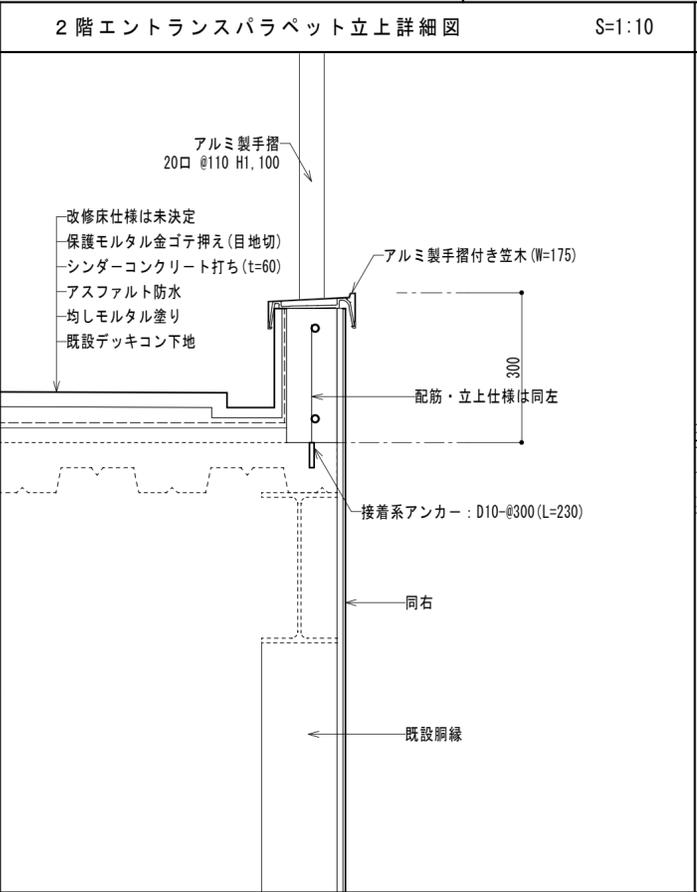
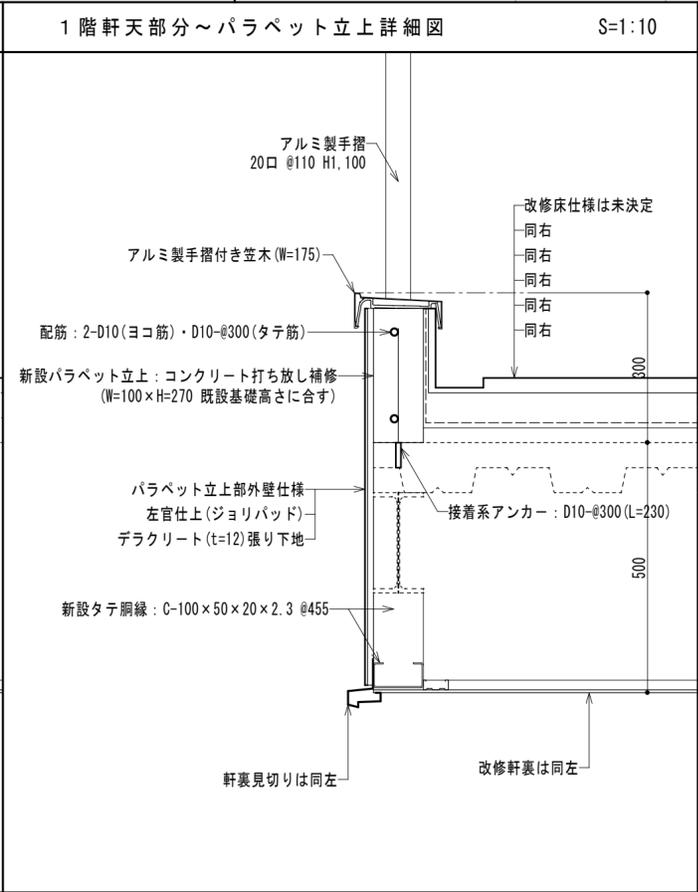
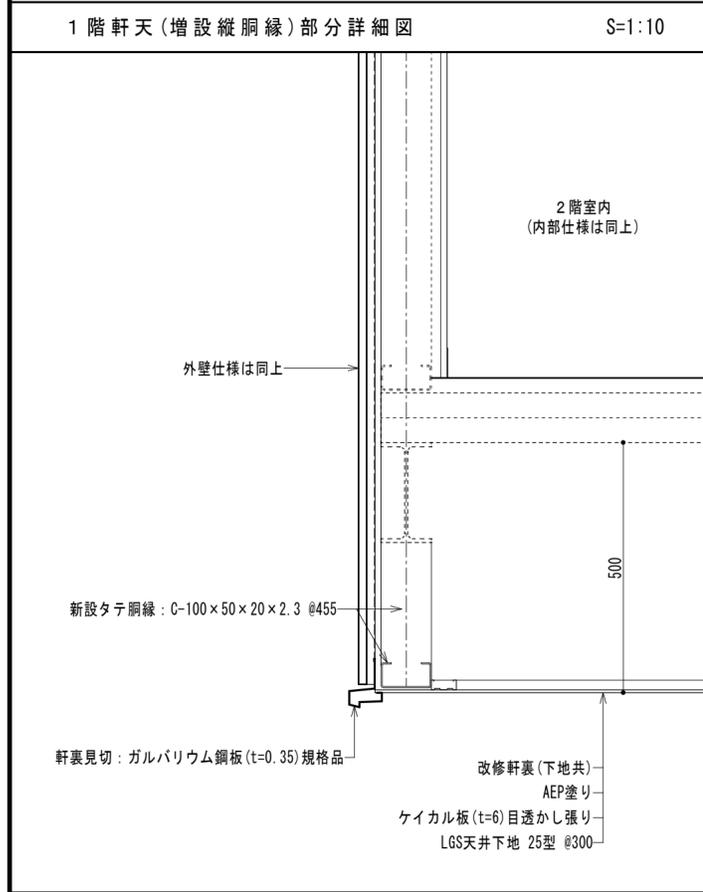
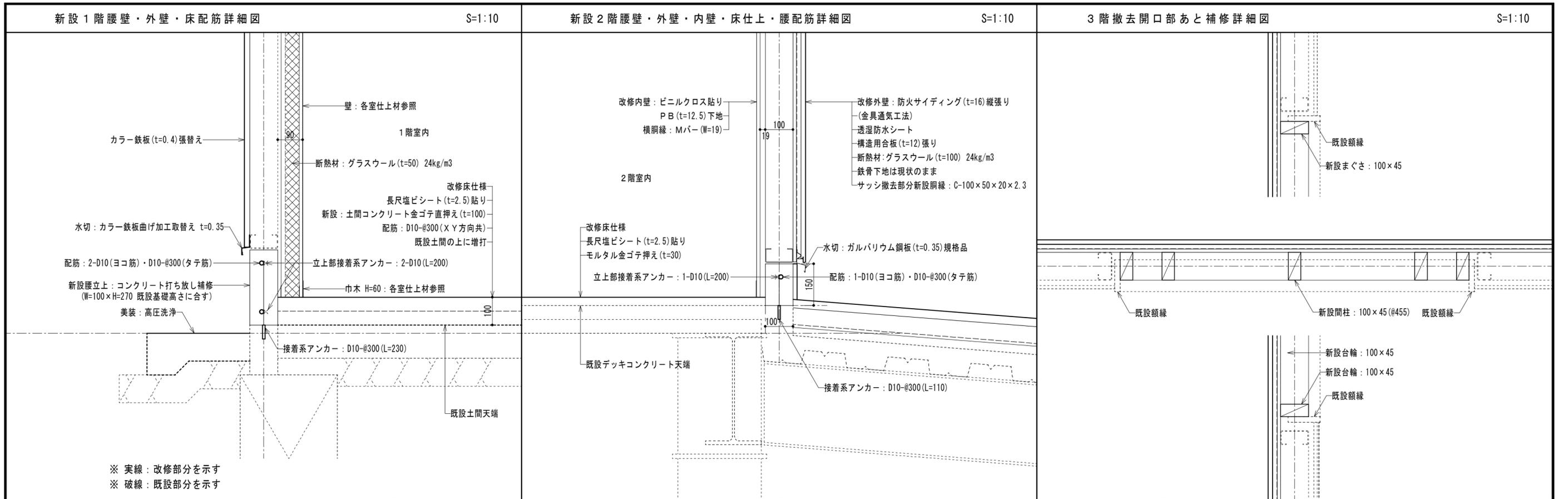
消防無窓	
1階	
AW1	3.71㎡=0.8×1.30×2+1.26×1.30
AW2	1.04㎡=0.8×1.30
AW4	0.99㎡=0.75×1.32
合計	5.74㎡
必要面積	168.36㎡÷30=5.612㎡ < 5.74㎡ ∴OK
2階	
	無し
必要面積	111.98㎡÷30=3.73㎡ < 0㎡ ∴無窓階

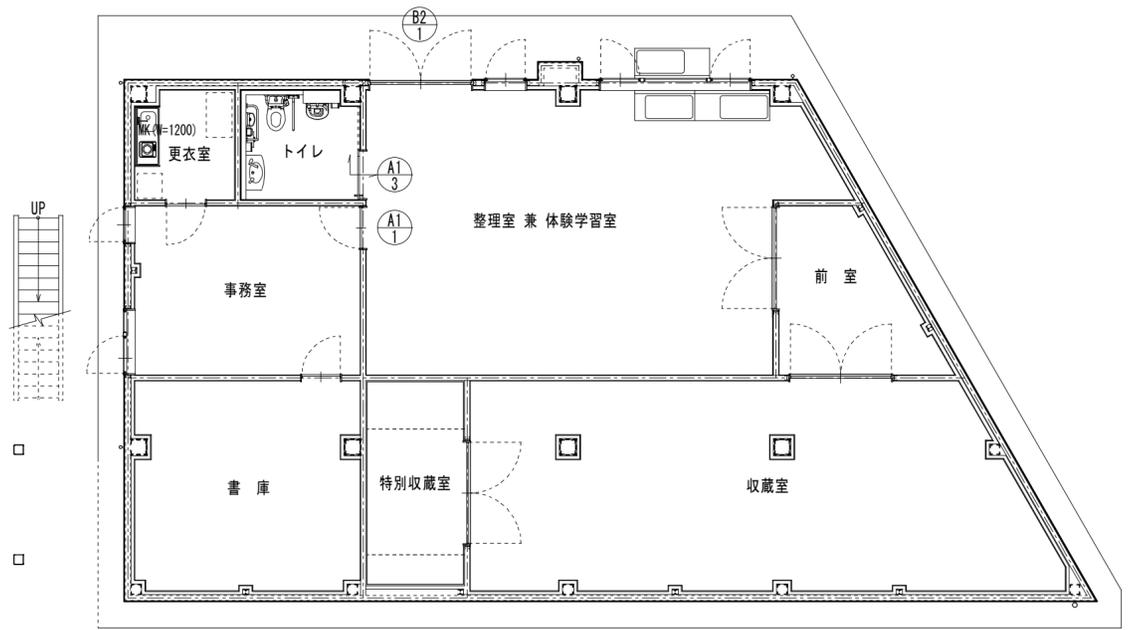
【特記事項】  
※縦入り窓は回転角90度

符 号	SD 1	1	SD 2	4	AD 1	1	AD 2	2
室 名	整理室(出入口)		1階前室・収蔵室・特別収蔵室・2階展示室		2階展示室(出入口)		2階展示室(出入口)・階段室(出入口)	
形 状								
材種・仕上/見込	スチール製焼付塗装 80		スチール製焼付塗装 80		アルミ製(規格式) 100		アルミ製(規格式) 70	
開閉勝手	両開きフラッシュドア		両開きフラッシュドア		片引込自動ドア		片開きフラッシュドア	
硝 子					アルミパネル t=2 カットニングシート貼(小口共)			
金 物	AP・SUS製丁番・沓摺・DC(×2)・戸当・レバーハンドル		AP・SUS製丁番・沓摺・DC(×2)・戸当・レバーハンドル		AP・エンジンユニット・セーフティリターン仕様		AP・丁番・戸当・DC・レバーハンドル	
備 考	フランス落し・シリンダー錠(サムターン付)・附属金物一式		フランス落し・シリンダー錠(サムターン付×1)・附属金物一式		下框本締り錠(サムターン付)・外部アルミ製額縁・附属金物一式		シリンダー錠(サムターン付)・附属金物一式	

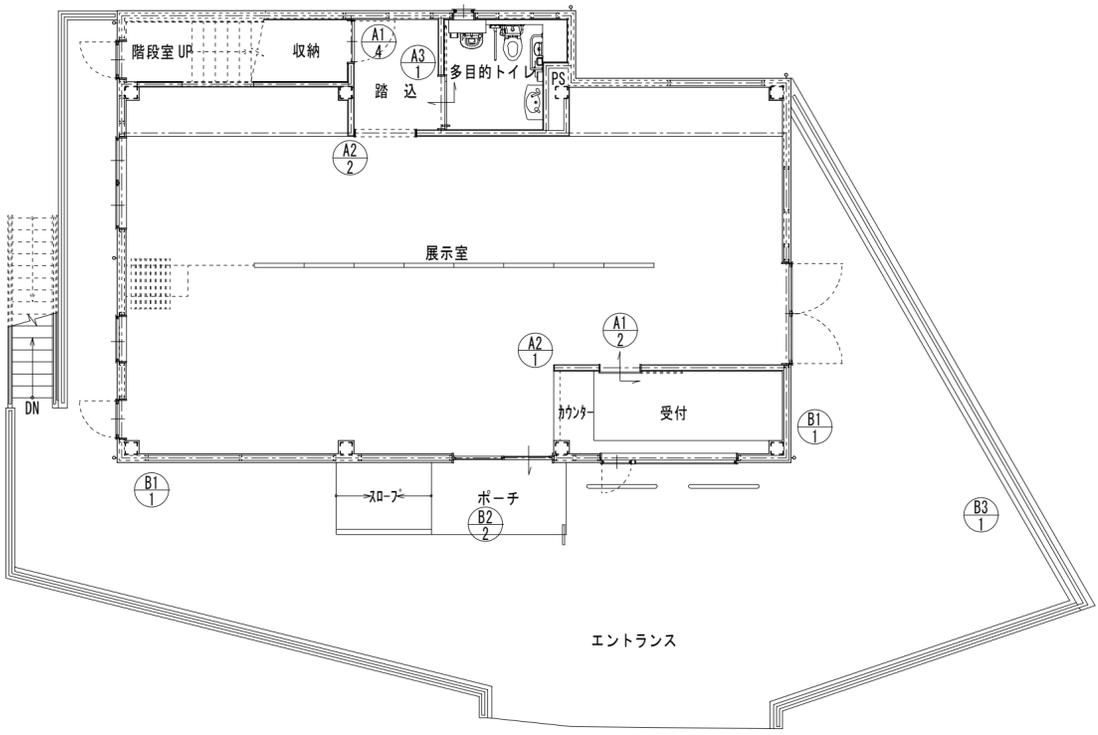
符号	AW 1	1	AW 2	1	AW 3	1	AW 4	1	AW 5	1	AW 6	1
室名	1階整理室		1階整理室		1階事務室		1階事務室		2階受付		2階展示室	
形状												
材種・仕上/見込	アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70	
開閉勝手	F I X付縦り出し窓(外付タイプ)		縦り出し窓(外付タイプ)		縦り出し窓(外付タイプ)		F I X付縦り出し窓(外付タイプ)		F I X付縦り出し窓(外付タイプ)		内倒し排煙窓(外付タイプ) オペレーター仕様	
硝子	縦り出し窓:ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板)・FIX:ペアガラス t=5(フロート)+A12+t=4(型板)		ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板)		ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板)		ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板)		縦り出し窓:ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板) FIX:ペアガラス t=8(フロート)+A12+t=6(型板)		アルミパネル(t=3)張り	
金物	A P・グレモンハンドル・縦り出しアーム・附属金物一式		A P・グレモンハンドル・縦り出しアーム・附属金物一式		A P・グレモンハンドル・縦り出しアーム・附属金物一式		A P・グレモンハンドル・縦り出しアーム・附属金物一式		A P・グレモンハンドル・縦り出しアーム・附属金物一式		A P・ステイダンパー・排煙錠・排煙錠引手・附属金物一式	
備考	ブラインド モノコム25 同等品		ブラインド モノコム25 同等品						ブラインド モノコム25 同等品			
符号	AW 7	1	AW 8	1								
室名	2階展示室		2階多目的トイレ									
形状												
材種・仕上/見込	アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70									
開閉勝手	2連内倒し排煙窓(外付タイプ) オペレーター仕様		り出し窓(外付タイプ)									
硝子	アルミパネル(t=3)張り		ペアガラス t=4(フロート)+A12+t=4(型板)									
金物	A P・ステイダンパー・排煙錠・排煙錠引手・附属金物一式		A P・カムラッチハンドル・り出しアーム・附属金物一式									
備考												
符号	WD 1	1	WD 2	1	WD 3	2	WD 4	1	WD 5	1	WD 6	1
室名	1階トイレ		1階事務室		1階更衣室・書庫		2階受付		2階多目的トイレ		2階階段下収納	
形状												
材種・仕上/見込	MDF下地樹脂化粧シート貼 30		MDF下地樹脂化粧シート貼 36		MDF下地樹脂化粧シート貼 36		MDF下地樹脂化粧シート貼 30		MDF下地樹脂化粧シート貼 30		MDF下地樹脂化粧シート貼 36	
開閉勝手	吊戸・片引き		片開き戸(規格品)		片開き戸(規格品)		吊戸・片引き		吊戸・片引き		片開き戸(規格品)	
硝子	樹脂製明かり窓(形状については打合せによる)		アクリル(マット仕上) t=3		アクリル(マット仕上) t=3				アクリル(マット仕上) t=3			
金物	引手・吊戸用レールセット・戸当・附属金物一式		丁番・レバーハンドル・DC・戸当・附属金物一式		丁番・レバーハンドル(空錠)・DC・戸当・附属金物一式		引手・吊戸用レールセット・戸当・附属金物一式		引手・吊戸用レールセット・戸当・附属金物一式		丁番・レバーハンドル・シリンダー錠・戸当・附属金物一式	
備考	表示錠(非常時解錠装置付)		シリンダー錠(サムターン付)		シリンダー錠(サムターン付)(1階更衣室扉のみ)		シリンダー錠(サムターン付)		表示錠(非常時解錠装置付)		シリンダー錠(サムターン付)	

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)		TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE		FILE No.	
			DRAWING	建具表(2)	S=1/50	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN





(改修) 1階サイン配置図 S=1/100



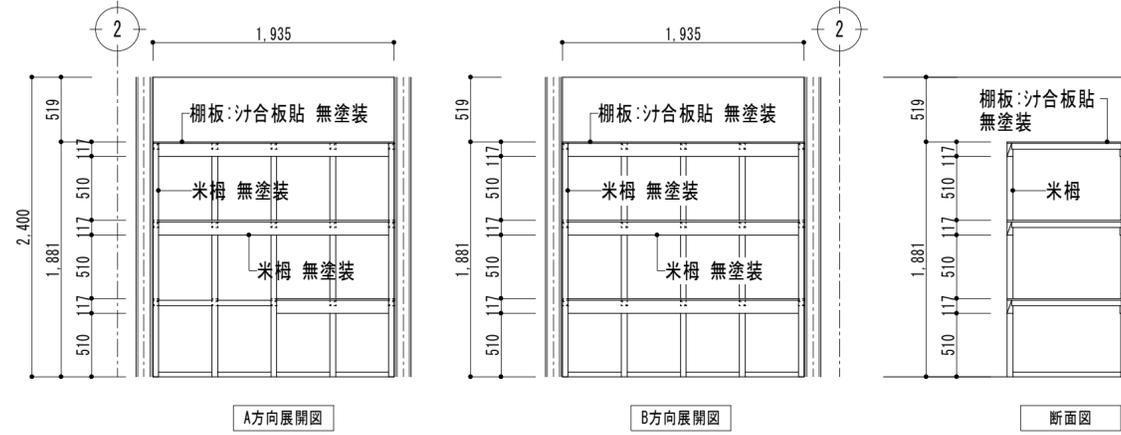
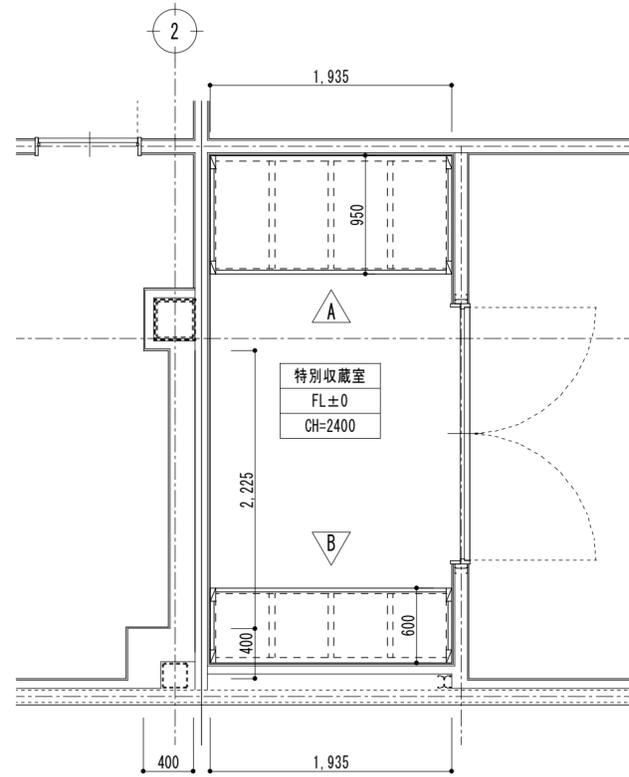
(改修) 2階サイン配置図 S=1/100

サイン特記仕様書

1. 使用材料
  - a. 木材 : VOC商品(ホルムアルデヒド基準 F☆☆☆☆対応)とする。
  - b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (7A5押出型材)
  - c. アクリル : JIS-K-6718
  - d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL以上
2. フォント
  - a. 書体について記載の無いものは「UD新ゴ」「Helvetica(ヘルベチカ)」を基準とする。  
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合には、この限りではない。
3. ピクトグラム
  - a. 図柄については、「JIS Z 8210 案内用図記号」もしくは公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団の「標準案内用図記号ガイドライン2020」に規定されたものを優先し、原稿を作成した上で係員の承認を受けること。
4. カラーユニバーサル
  - a. CUDカラー認証取得業者での製作とすること。
5. 取付位置・方法
  - a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定すること。
  - b. 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取付を行うこと。
  - c. 障害者用サインについては自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定すること。
6. その他
  - a. 施設名・各室名は係員と協議の上決定すること。
  - b. サイン計画については、他施設の他工事と十分に調整協議すること。

符 号	A1-1, A1-2, A1-3, A1-4	4	A2-1, A2-2	2	A3-1	2	B1-1	2	B2-1, B2-2	2	B3-1	1
室 名	部屋名文字サイン		持出サイン		2階トイレ 平付サイン		壁面 施設名称サイン		ドア部 施設名称 文字サイン		2階駐車場 フェンスサイン	
形 状												
本 体	文字：カットニングシート 切文字 貼り付け	1:5	本体：アクリル板塗装仕上 UV印刷(両面) ブラケット：アルミ押出型材 焼付塗装仕上 ABS樹脂レール	1:10	表示基板：アルミ板 t=1 焼付塗装仕上 UV印刷 フレーム：アルミ型材 焼付塗装仕上 ベース：アルミ型材 焼付塗装仕上 樹脂パネ	1:10	SUS 箱文字 焼付塗装仕上 t1.2	1:20	文字：カットニングシート 切文字 貼り付け	1:5	アルミ複合板 t=3 インクジェットシート貼り加工 樹脂コーナガード 平リブ：アルミ押出形成 固定金具：アルミFB 六角ボルト・ナット留	1:20
備 考												

1階特別収蔵室 造作棚 2箇所

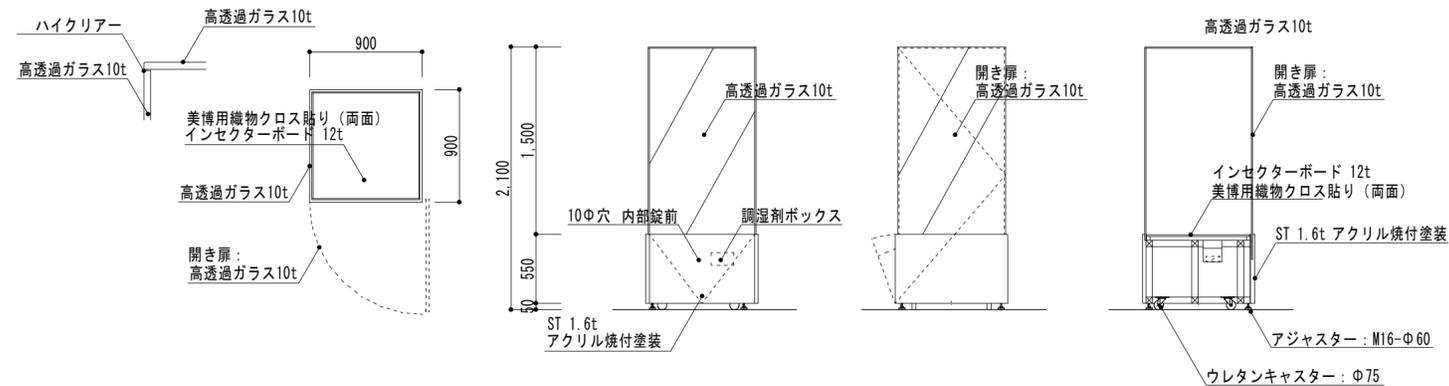


仕上表		
棚板	シナ合板貼	無塗装
柱	米柵	無塗装
金物		

※収蔵棚の形状及び寸法に関しては、施工時に係員と入念に協議した上で決定すること。

2階展示室 展示棚エアタイト・高透過ガラスケース 2箇所

仕様	
ガラス	固定ガラス(4面)、ガラス扉(1面): 高透過ガラス 10t
本体	軸組: 角管(50×50×1.6t) アクリル焼付塗装仕上
外装材	スチール製(1.6t) アクリル焼付塗装仕上
メンテナンス扉	スチール製(1.6t) アクリル焼付塗装仕上
	チェーンストッパー、ディスクシリンダー錠付き(ABL0Y)
キャスター	ウレタン自在キャスター(φ75) 4個付(耐荷重120kg/1個)
アジャスター	スチール製(M16 60φ 97L) 4個付(耐荷重120kg/1個)
開閉扉	90°右片開扉 スチール製(1.6t) アクリル焼付塗装仕上
展示床面	下地: インセクターボード 12t
	クロス: 美術館・博物館仕様 川島織物セルコン クリアクリン同等品
	接着剤: VOC低減タイプ(F☆☆☆☆)
塗装色	アクリル焼付塗装 3分艶有
別途	調湿材
製作	金剛株式会社 05-110 行灯型5面ガラスケース(低床フルメイス)(79台・高透過ガラス)同等品



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

設計図

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

DATE

DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

FILE No.

DRAWING

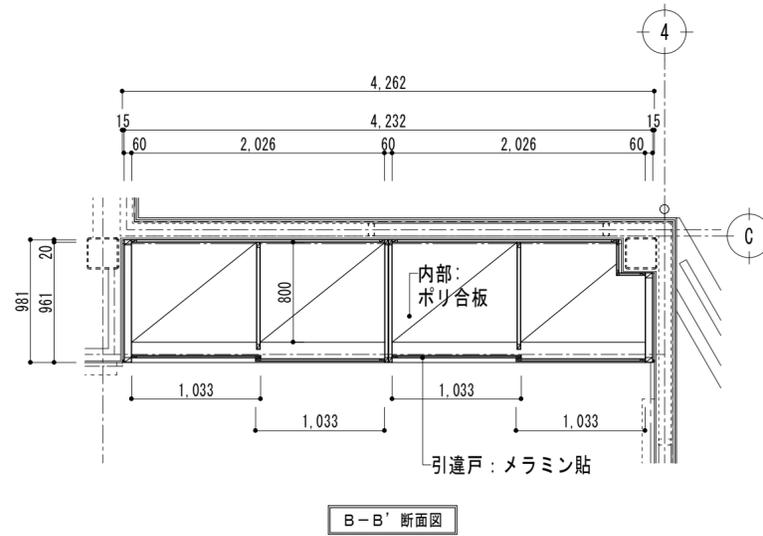
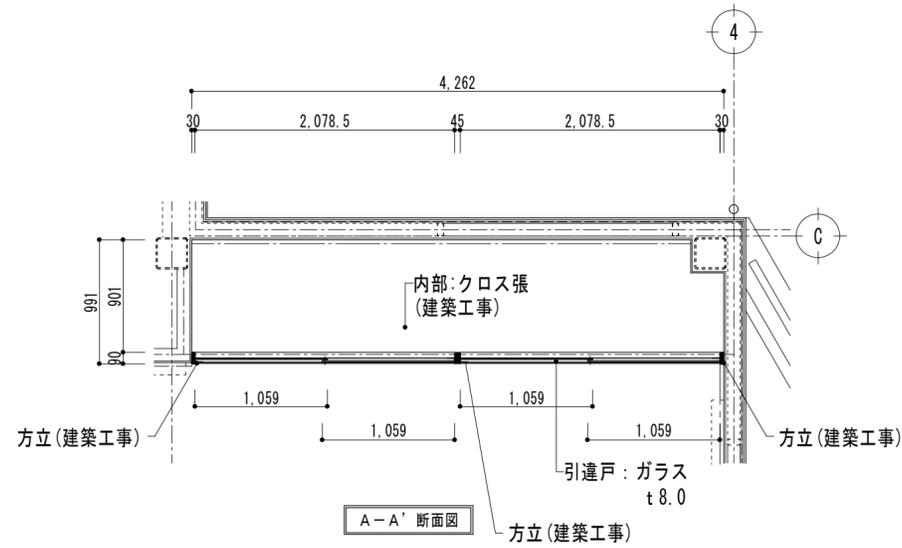
家具詳細図(1)

S=1/40

一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

A-35

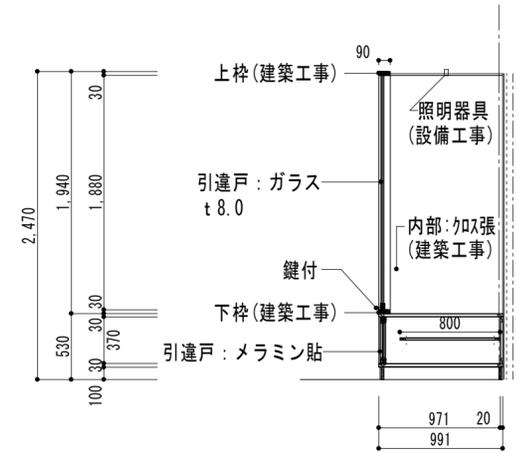
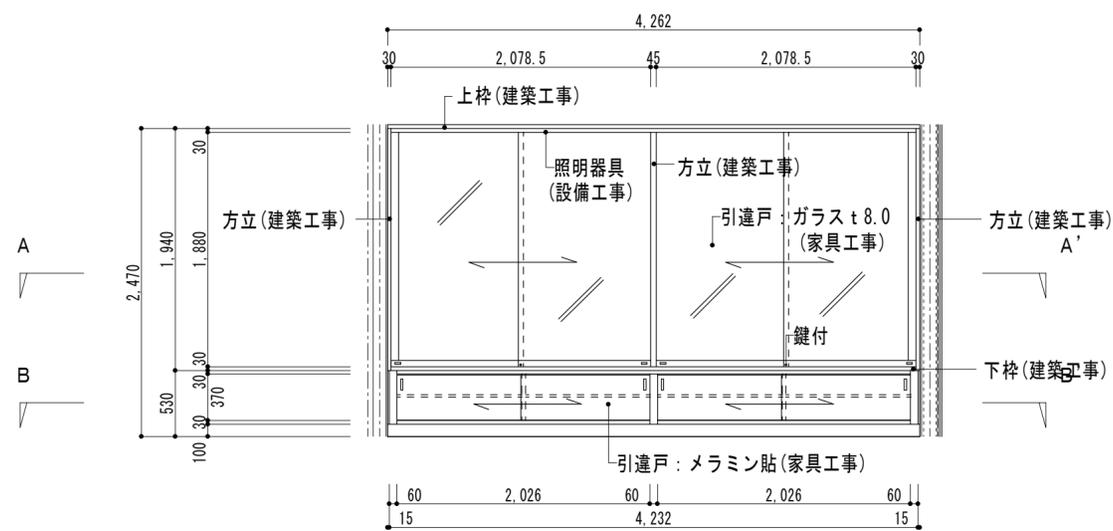
2階展示室 固定収納棚 2箇所



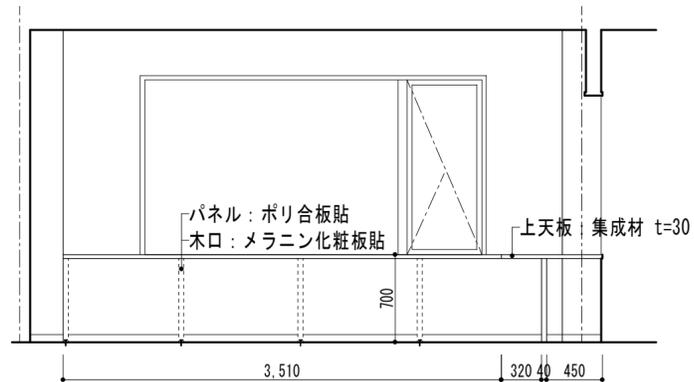
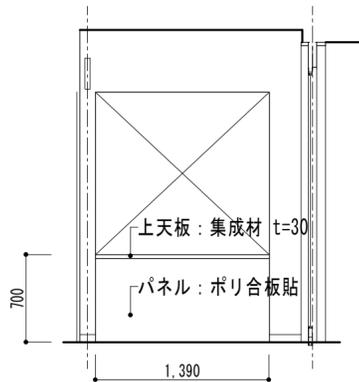
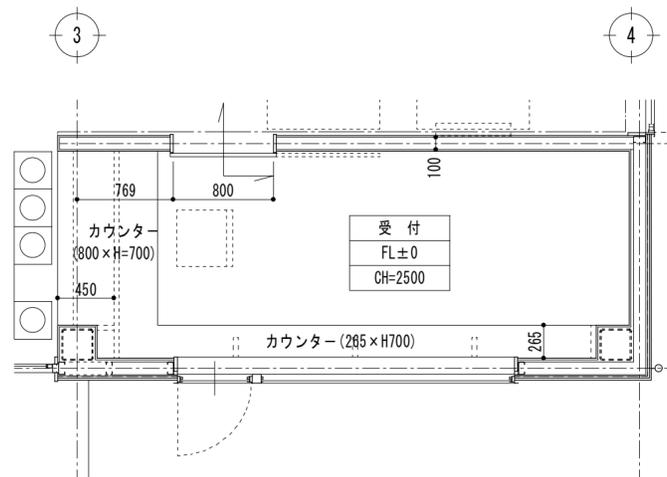
上箱仕上表		
方立・上枠・下枠		建築工事
ガラス引違戸	t 8.0	飛散防止フィルム張
金物	ガラス引違戸レール金物 照明器具	

下箱仕上表		
外部(見掛)	メラミン貼	
内部	ポリ合板	
木口	メラミン貼	
木製引違戸	メラミン貼	
フラー・台輪	ポリ合板貼	
金物	木製引違戸レール金物	

※固定収納棚の形状及び寸法に関しては、施工時に係員と入念に協議した上で決定すること。



2階受付 カウンター 1箇所



仕上表		
天板	集成材	
パネル	ポリ合板貼	
パネル木口	メラミン化粧板貼	
金物		

REVISION

株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図

DRAWING

家具詳細図(2)

S=1/40

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(〒)326-6号

DATE

DESIGNER

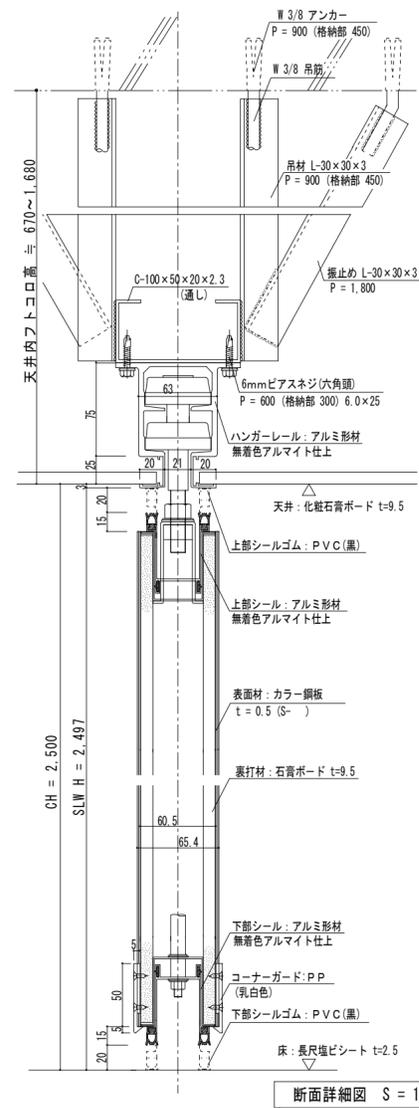
CHECK

DRAWN

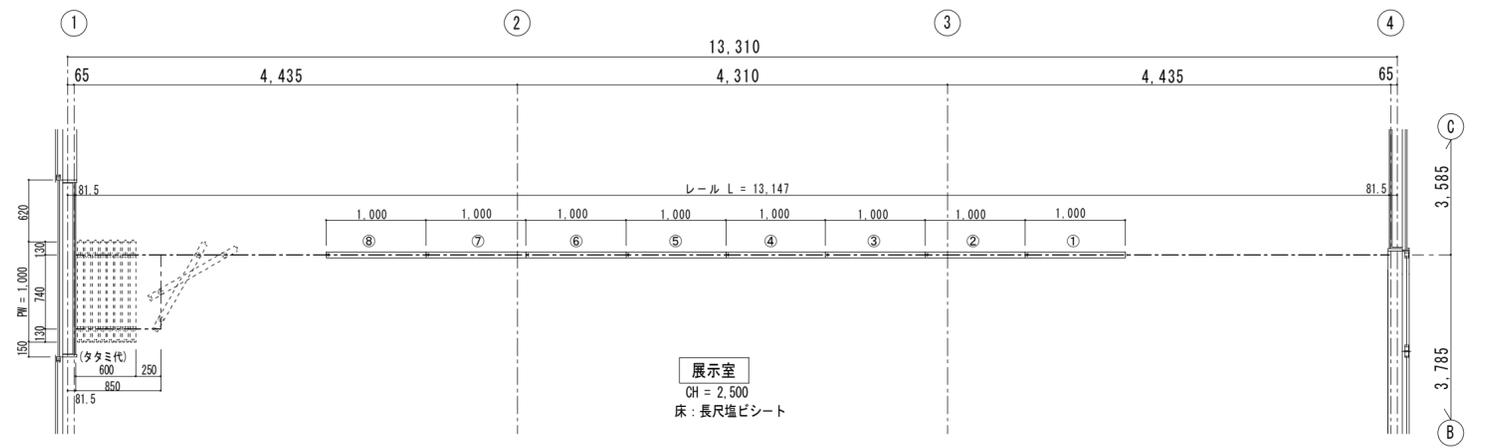
FILE No.

SHEET No.

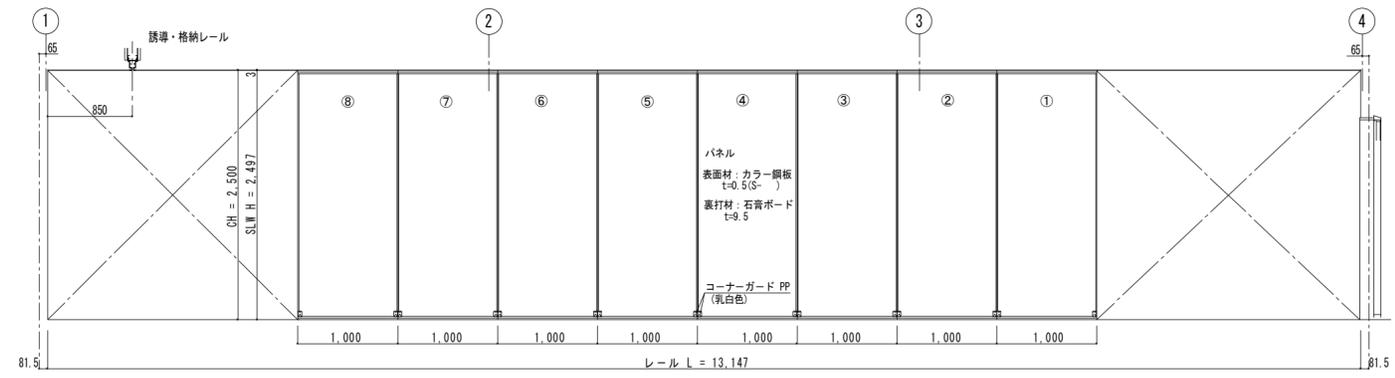
A-36



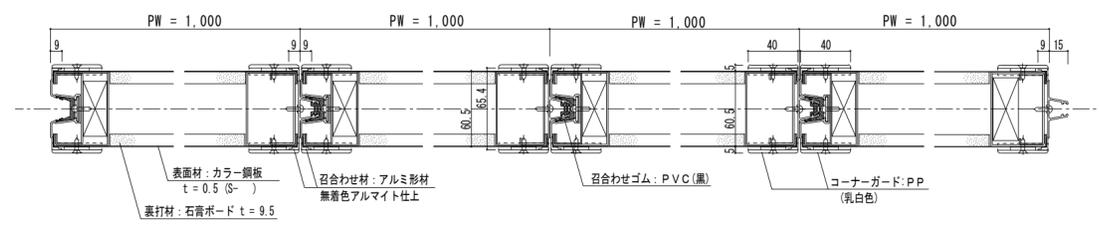
断面詳細図 S = 1/4



2階平面図 S = 1/50

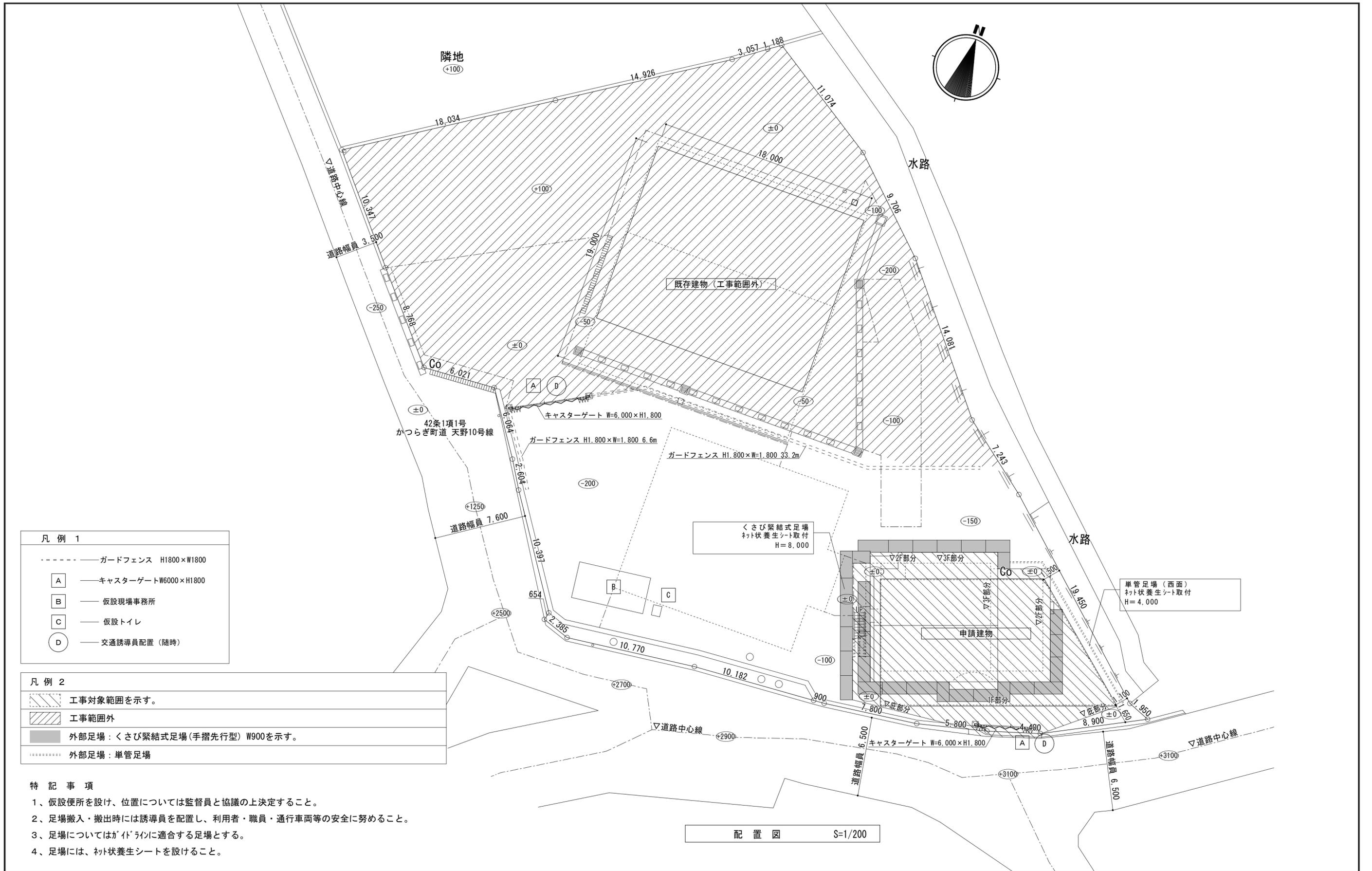


2階展開図 S = 1/50



材料仕様

商品名	三和シャッター工業 スライディングウォール60 同等品	
商品略号	NSW-60SB-L	
シール機構	レバー式	
レール・ランナー	クロスタイプ (200A) アルミ押出形材 (A6063S-T5) 無着色アルマイト仕上	
パネル	表面材	カラー鋼板 0.5mm厚 (S- )
	裏打ち材	石膏ボード 9.5mm厚
	パネル厚	60.5mm (形材を含む厚さ 65.4mm)
重量	標準パネル 32kg/m <sup>2</sup>	
サイドシール形材	アルミ押出形材 (A6063S-T5)	
召合わせ形材	無着色アルマイト仕上	
シール形材	(サイドシール形材は焼付塗装仕上)	
シールゴム	PVC (黒色)	



凡例 1

-----	ガードフェンス H1800×W1800
A	キャスターゲート W6000×H1800
B	仮設現場事務所
C	仮設トイレ
D	交通誘導員配置 (随時)

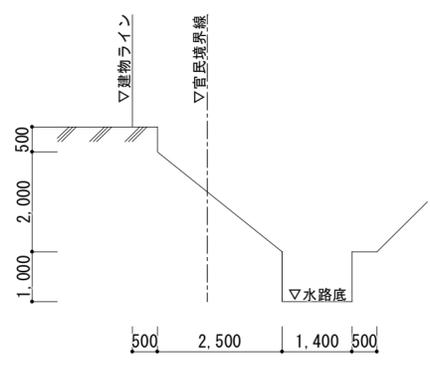
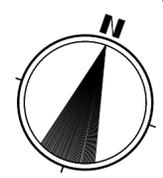
凡例 2

[Hatched Box]	工事対象範囲を示す。
[Diagonal Lines Box]	工事範囲外
[Solid Grey Box]	外部足場：くさび緊結式足場(手摺先行型) W900を示す。
[Dotted Box]	外部足場：単管足場

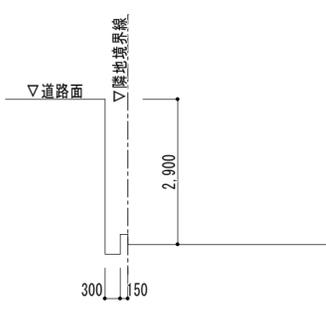
- 特記事項
- 1、仮設便所を設け、位置については監督員と協議の上決定すること。
  - 2、足場搬入・搬出時には誘導員を配置し、利用者・職員・通行車両等の安全に努めること。
  - 3、足場についてはガイドラインに適合する足場とする。
  - 4、足場には、柵状養生シートを設けること。

配置図 S=1/200

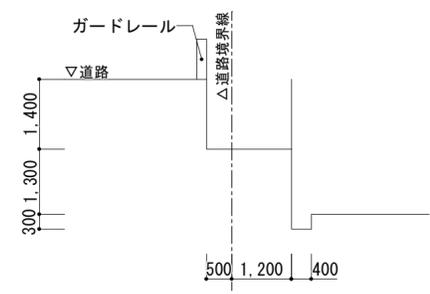
REVISION	株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
		DRAWING	仮設計画図	S=1/200	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.



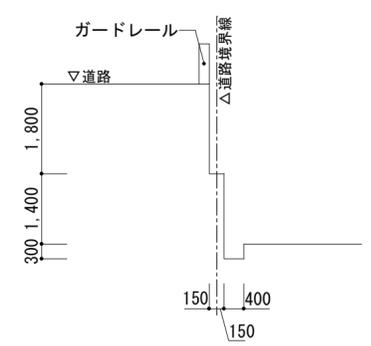
A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

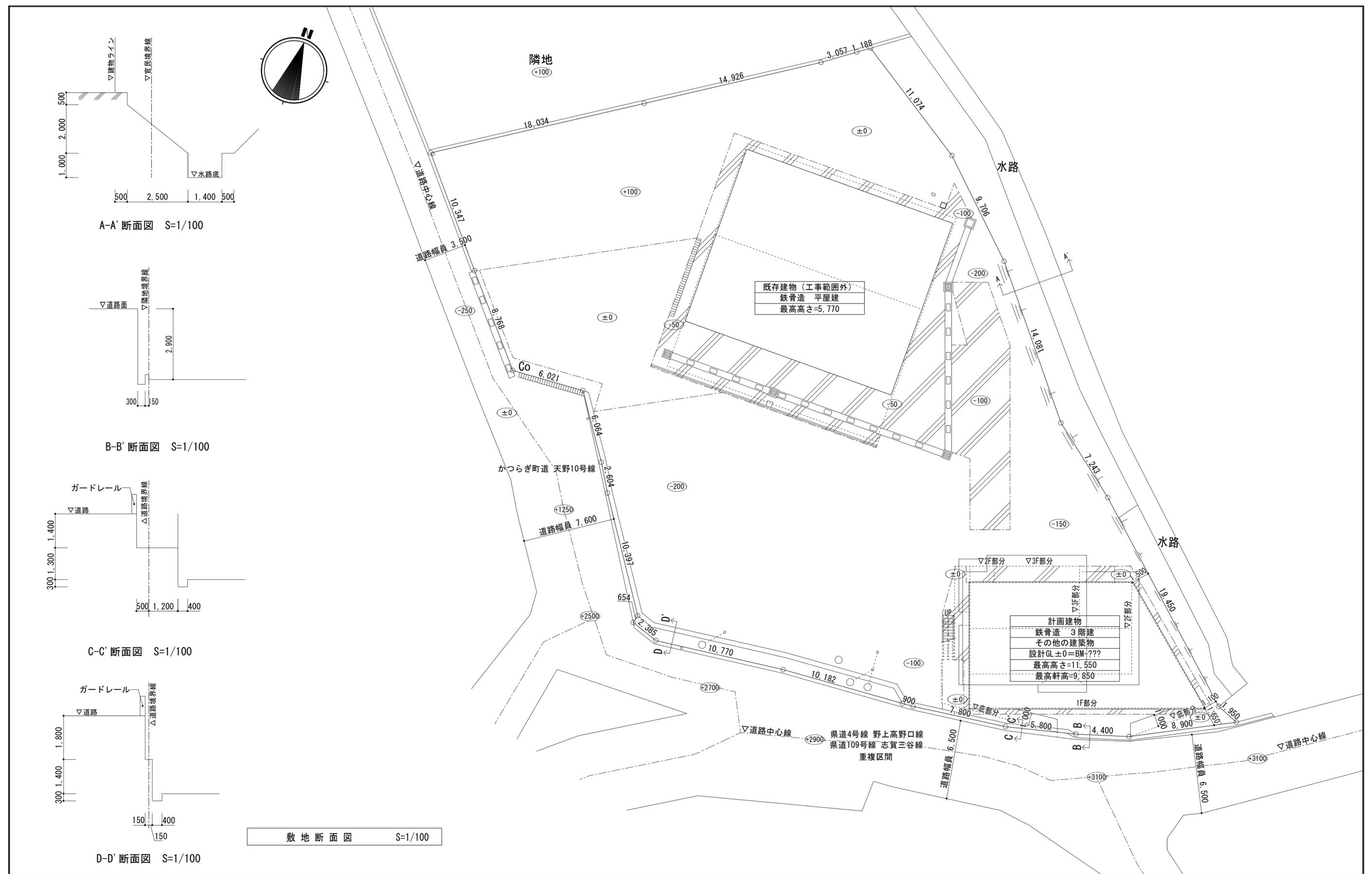


C-C' 断面図 S=1/100



D-D' 断面図 S=1/100

敷地断面図 S=1/100



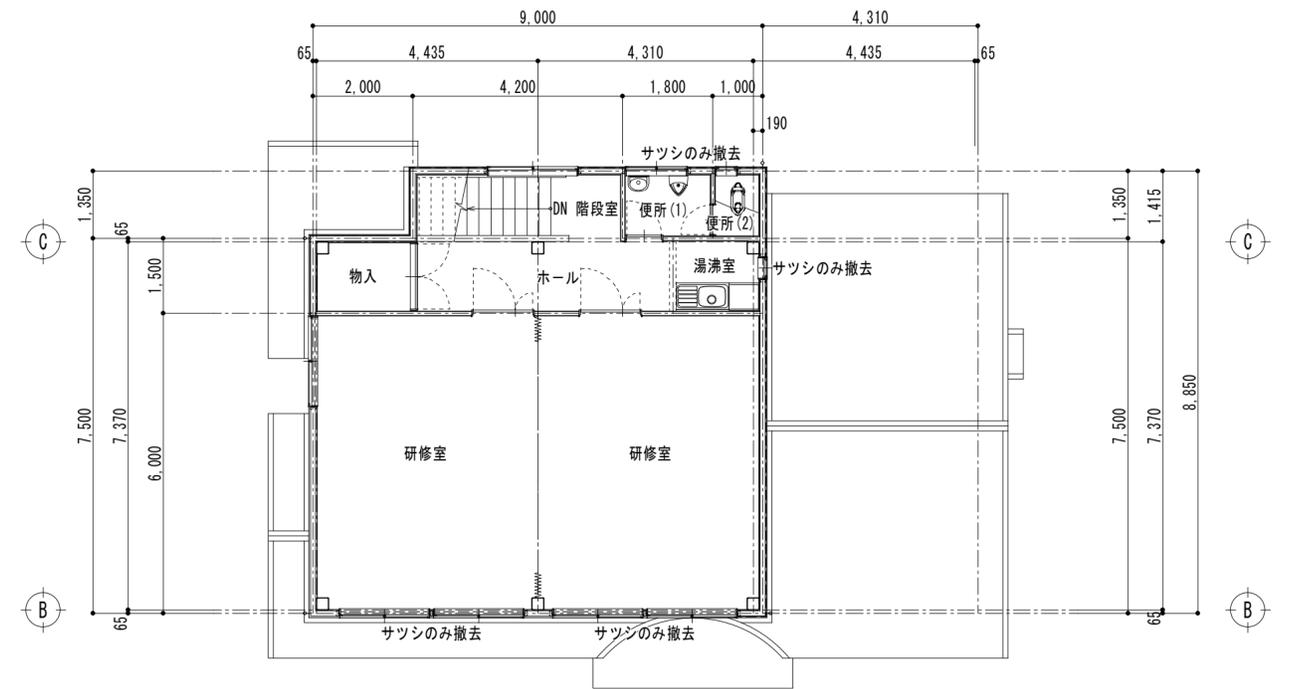
既存建物 (工事範囲外)  
鉄骨造 平屋建  
最高高さ=5.770

計画建物  
鉄骨造 3階建  
その他の建築物  
設計GL±0=BM-???  
最高高さ=11.550  
最高軒高=9.850

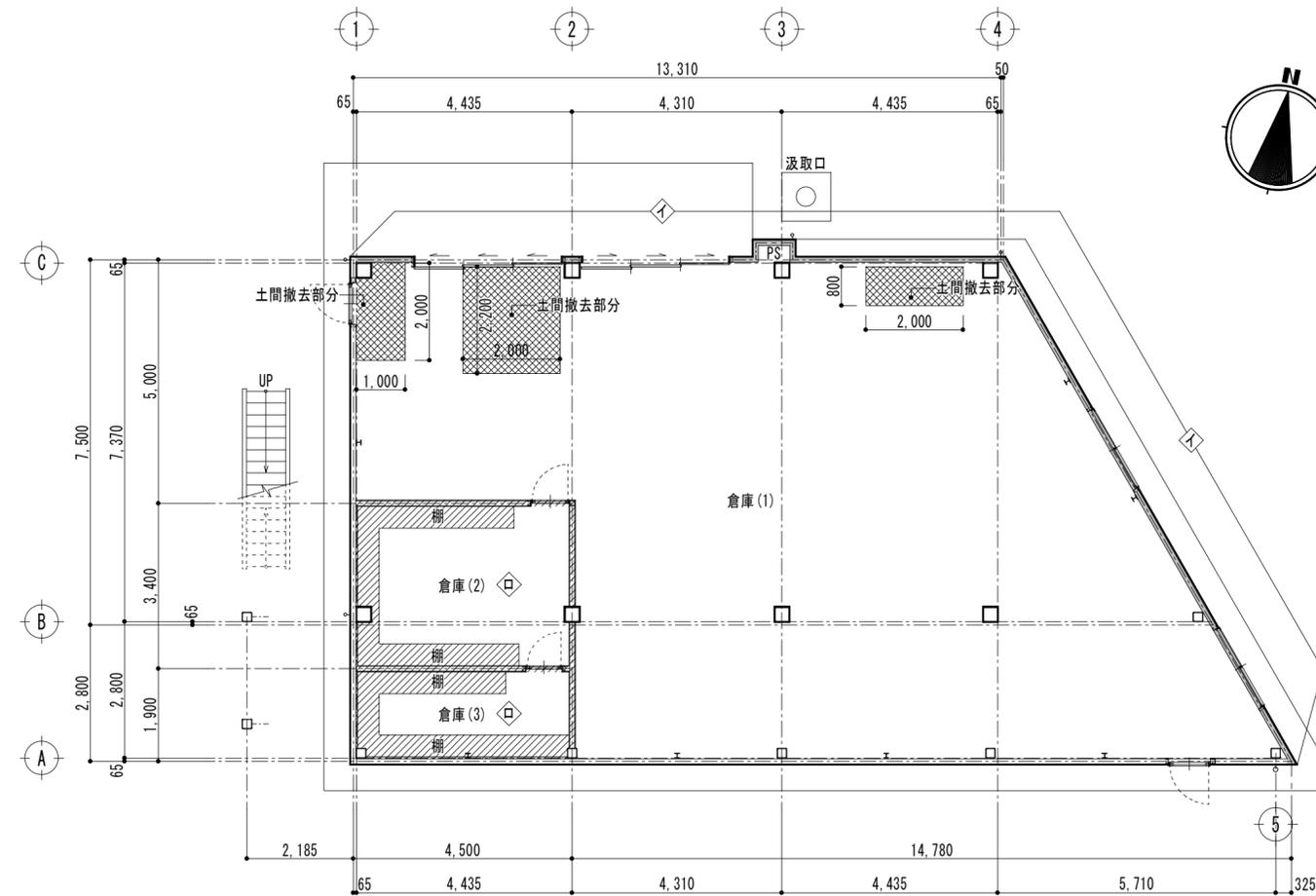
県道4号線 野上高野口線  
県道109号線 志賀三谷線  
重複区間

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE		FILE No.	
		DRAWING	(既設) 敷地配置図	S=1/200	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN

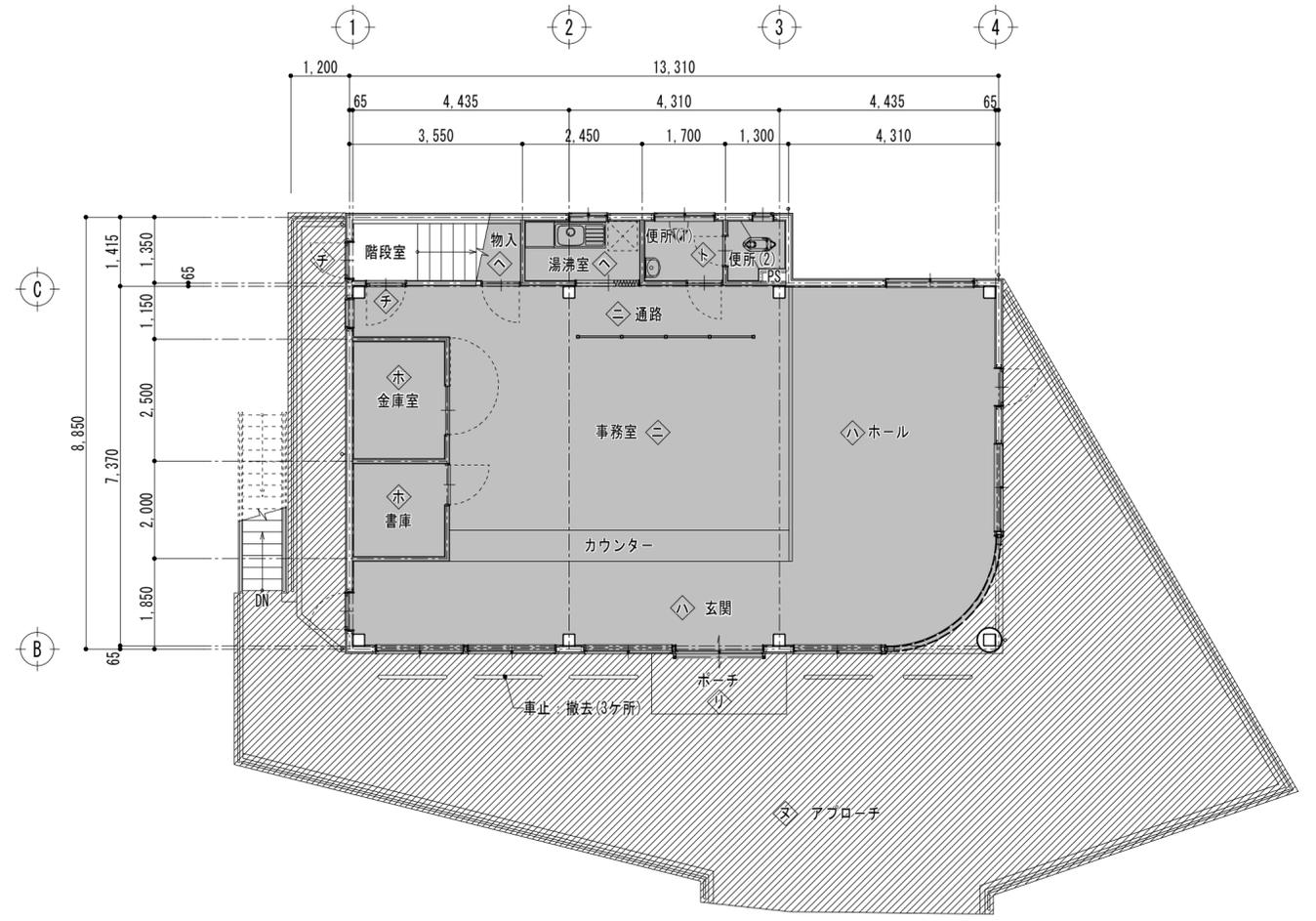
凡例・室名	記号	【 撤去部分・撤去内容を示す 】	凡例・室名	記号	【 撤去部分・撤去内容を示す 】
倉庫 (1)	◊	外壁撤去 (指示範囲部分) 一部腰壁立上撤去 (新設建具取付部)	湯沸室・物入	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去
		鉄骨横筋撤去 (指示範囲部分)			内装仕上材 (壁下地及び筋線・天井下地まで) 撤去
		ハンガーア撤去 (撤去建具表参照)・アルミ製建具封鎖 (撤去建具表参照)			アルミ製建具・木製等撤去 (撤去建具表参照)
		※ 床仕上は現状のまま			床仕上材 (木製下地共) 撤去 ※ 物入床は現状のまま (打合せに依る)
倉庫 (2・3)	◊	壁仕上材及び下地 (間柱・腰CB共) 撤去 (外壁側共)	便所 (1・2)	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去
		アルミ製建具撤去 (撤去建具表参照)			内装仕上材 (壁下地及び筋線・天井下地まで) 撤去
		棚撤去 (矩計詳細図 (2) 参照)			アルミ製建具・木製等撤去 (撤去建具表参照)
		※ 床仕上は現状のまま			床仕上材 (下地共) 撤去 ※ 便所 (2) 段差部分撤去
玄関・ホール	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去 (立面図参照)	階段室	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去
		内装仕上材 (壁下地及び筋線・天井下地まで) 撤去			内装仕上材 (壁下地及び筋線まで) 撤去 ※ 撤去建具部分のみ
		アルミ製建具撤去 (撤去建具表参照)			アルミ製建具撤去 (撤去建具表参照)
		床仕上材 (下地モルタル共) 撤去			床仕上材 (下地共) 現状のまま
事務室・通路	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去 (立面図参照)	ポーチ	◊	磁器質タイル貼り撤去 (2760×1245)
		内装仕上材 (壁下地及び筋線・天井下地まで) 撤去			化粧柱部分: 磁器質タイル貼り撤去
		アルミ製建具撤去 (撤去建具表参照)			
		床仕上材 (木軸下地まで) 撤去			
金庫室・書庫	◊	外壁 (下地構造用合板まで) 撤去 (立面図参照)	アプローチ	◊	仕上モルタル塗り金ゴテ押え撤去 (テッキコン部分まで撤去)
		内装仕上材 (壁下地及び筋線・天井下地まで) 撤去			腰立上 (内外共)・スチール製手摺共撤去 (矩計詳細図 (2) 参照)
		スチール製・木製建具撤去 (撤去建具表参照)			スチール製車止め撤去 (3ヶ所)
		床仕上材 (木軸下地まで) 撤去			



(既設) 3階平面図 S=1/100 ※ 内装は今回工事範囲外 (外壁仕上材・一部サッシのみ撤去) 立面図参照



(既設・撤去) 1階平面図 S=1/100



(既設・撤去) 2階平面図 S=1/100

REVISION

株式会社 川 建築事務所  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館 (歴史民俗資料館) 改修建築工事

設計図

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

DRAWING

(既設・撤去) 平面図

S=1/100

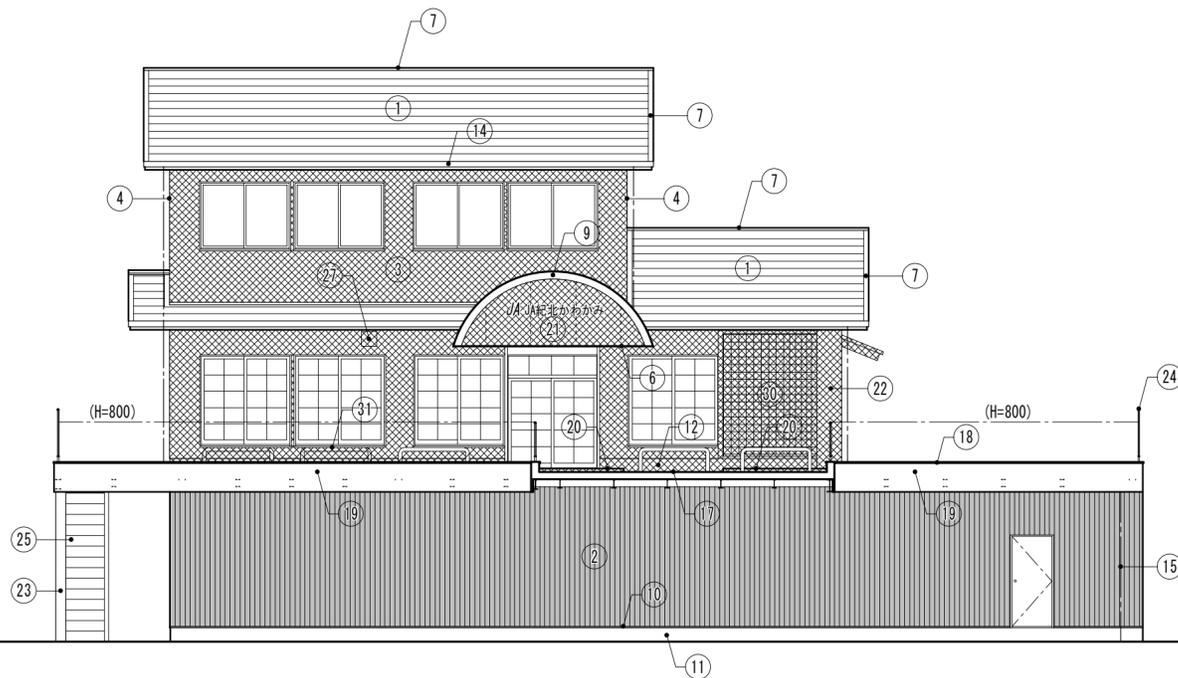
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

DATE

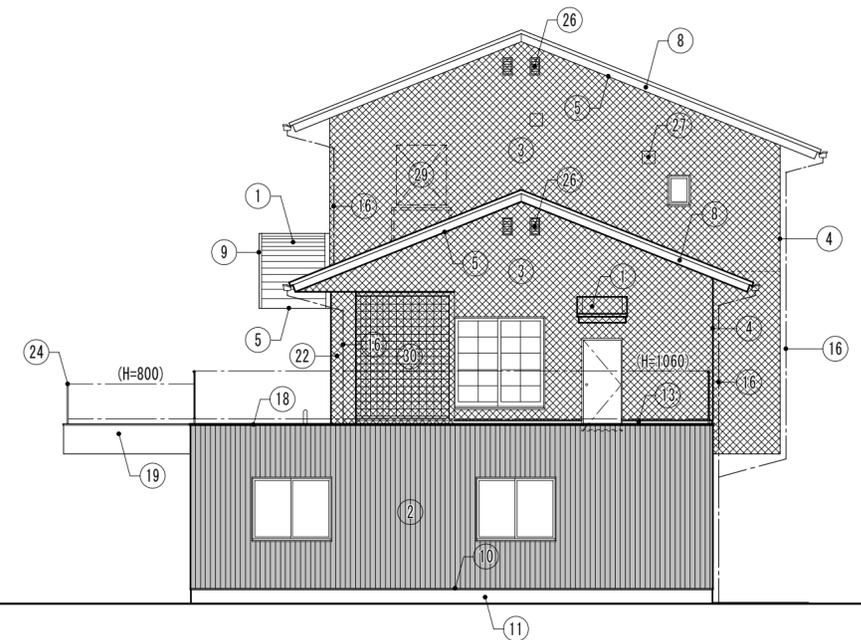
DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

FILE No.

A-41



※ 建具撤去部分は建具表参照  
 (既設)南面 立面図 S=1/100



※ 建具撤去部分は建具表参照  
 (既設)東面 立面図 S=1/100

外部仕上表

記号	既設仕上	撤去内容	記号	既設仕上	撤去内容
①	屋根(ポーチR屋根・庇共):塩ビ鋼板(t=0.4)横段葺き(4寸勾配)	現状のまま→美装	①7	アプローチ床:モルタル塗り金ゴテ押え(下地:デッキコン)	仕上材撤去(下地:デッキコンまで)
②	外壁:角波カラー鉄板(t=0.4)縦張り(塗装品)	■ = 範囲の仕上材撤去(東面下地:鉄骨脚縁撤去)	①8	アプローチ内部立上り・パラベット:モルタル塗り金ゴテ押え	全て撤去
③	外壁:焼杉(規格品 t=10)横張り(塗装品)	▨ = 仕上及び下地構造用合板まで撤去(グラスウールt=100 防水シ-ht=0.17)	①9	アプローチ外部パラベット:モルタル塗り金ゴテ押えの上薄付塗材	全て撤去
④	2・3階外壁出隅金物:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工	全て撤去	②0	ポーチ床:100角磁器質タイル貼り	全て撤去(化粧柱床タイル部分共)
⑤	軒天:木製板張り(t=9)SOP塗り	全て撤去(木軸下地共)	②1	ポーチ屋根妻壁:ケイカル板下地V.P塗り+箱文字貼り(10文字)	仕上材及び下地共撤去(鉄骨下地まで)
⑥	R屋根部分軒天見切金物:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工(塗装品)	全て撤去	②2	化粧柱:コンクリート化粧打放し(φ500)	全て撤去
⑦	棟・雨押:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工(塗装品)	現状のまま→美装	②3	スチール製柱(サビ止めの上SOP塗り)	現状のまま→美装
⑧	破風板・鼻隠:防火破風板(ダイケン規格品)OP塗り(H=180)	全て撤去	②4	手摺:スチール製 SOP塗り(別図参照) (H=1060・H=800)	全て撤去
⑨	ポーチ破風板:アルミ製R曲げ加工(焼付塗装)	現状のまま→SOP塗替	②5	外部階段:側桁(スチール製 SOP塗り)・蹴上・路面(モルタル塗り金ゴテ押え)	現状のまま→美装(SOP塗替え)
⑩	1階腰水切:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工	■ = 範囲は撤去(その他は現状のまま→美装)	②6	小屋裏換気口:アルミ製換気ガラリ(□-150×300)規格品	全て撤去
⑪	1階腰壁:コンクリート打放し補修	現状のまま→美装 ■ = 範囲は撤去(建具新設のため)	②7	フレンジフード:SUS製(□-300)規格品	全て撤去
⑫	2階腰壁:二丁掛けタイル貼り	全て撤去の上新設モルタル金ゴテ押え	②8	換気フード:SUS製(φ100)規格品	全て撤去
⑬	2階腰壁:モルタル塗り金ゴテ押え	全て撤去の上新設モルタル金ゴテ押え	②9	AC室外機(スチール製架台共)	全て撤去
⑭	軒樋:塩ビ製角樋(規格品)前高タイプ	全て撤去	③0	ガラスブロック(□-145×24列×16段)積み	全て撤去(腰壁共)
⑮	1階腰樋:塩ビ製 φ100・φ75(規格品)支持金物共	全て撤去	③1	車止:スチール製(φ75×L=1420×H=400)SOP塗り	3ヶ所撤去 2ヶ所は現状のまま(SOP塗替え)
⑯	2・3階腰樋:塩ビ製 φ60・φ75(規格品)支持金物共	全て撤去	③2		

REVISION

株式会社 川 建築事務所  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

設計図

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

DATE

DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

FILE No.

SHEET No.

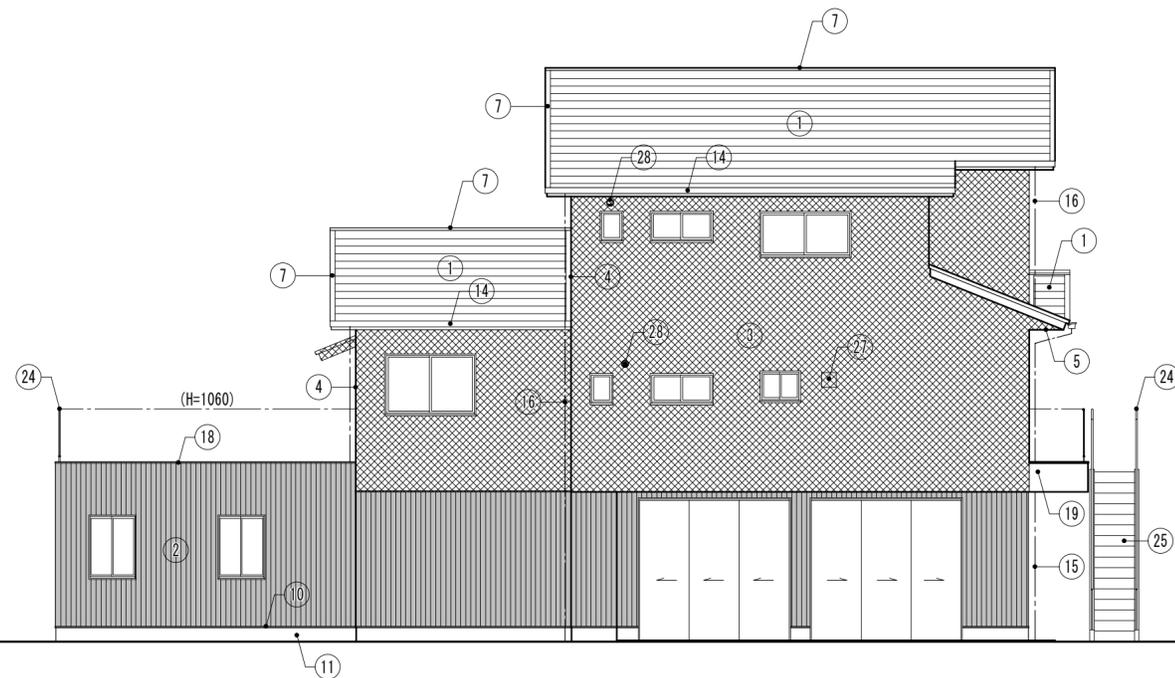
DRAWING

(既設・撤去)立面図(1)

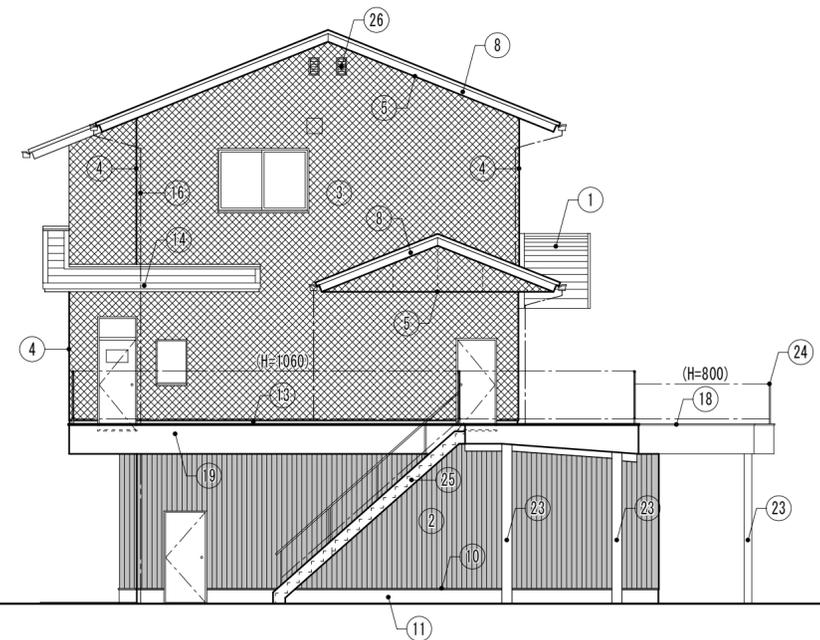
S=1/100

一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

A-42



※ 建具撤去部分は建具表参照  
 (既設)北面 立面図 S=1/100



※ 建具撤去部分は建具表参照  
 (既設)西面 立面図 S=1/100

外部仕上表

記号	既設仕上	撤去内容	記号	既設仕上	撤去内容
①	屋根(ポーチR屋根・庇共):塩ビ鋼板(t=0.4)横段葺き(4寸勾配)	現状のまま→美装	①7	アプローチ床:モルタル塗り金ゴテ押え(下地:デッキコン)	仕上材撤去(下地:デッキコンまで)
②	外壁:角波カラー鉄板(t=0.4)縦張り(塗装品)	■ =範囲の仕上材及び鉄骨鋼線撤去(その他は現状のまま→美装)	①8	アプローチ内部立上り・パラベット:モルタル塗り金ゴテ押え	全て撤去
③	外壁:焼杉(規格品 t=10)横張り(塗装品)	▨ 2階部分:下地構造用合板まで撤去 ▨ 3階部分:下地防水シートまで撤去	①9	アプローチ外部パラベット:モルタル塗り金ゴテ押えの上薄付塗材	全て撤去
④	2・3階外壁出隅金物:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工	全て撤去	②0	ポーチ床:100角磁器質タイル貼り	全て撤去(化粧柱床タイル部分共)
⑤	軒天:木製板張り(t=9)SOP塗り	全て撤去(木軸下地共)	②1	ポーチ屋根妻壁:ケイカル板下地V.P塗り+箱文字貼り(10文字)	仕上材及び下地共撤去(鉄骨下地まで)
⑥	R屋根部分軒天見切金物:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工(塗装品)	全て撤去	②2	化粧柱:コンクリート化粧打放し(φ500)	現状のまま→美装
⑦	棟・雨押:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工(塗装品)	現状のまま→美装	②3	スチール製柱(サビ止めの上SOP塗り)	現状のまま→美装
⑧	破風板・鼻隠:防火破風板(ダイケン規格品)OP塗り(H=180)	全て撤去	②4	手摺:スチール製 SOP塗り(別図参照) (H=1060・H=800)	全て撤去
⑨	ポーチ破風板:アルミ製R曲げ加工(焼付塗装)	現状のまま→SOP塗替	②5	外部階段:側桁(スチール製 SOP塗り)・蹴上・路面(モルタル塗り金ゴテ押え)	現状のまま→美装(SOP塗替え)
⑩	1階腰水切:塩ビ鋼板(t=0.4)曲げ加工	■ =範囲は撤去(その他は現状のまま→美装)	②6	小屋裏換気口:アルミ製換気ガラリ(□-150×300)規格品	全て撤去
⑪	1階腰壁:コンクリート打放し補修	現状のまま→美装 ■ =範囲は撤去(建具新設のため)	②7	フレンジフード:SUS製(□-300)規格品	全て撤去
⑫	2階腰壁:二丁掛けタイル貼り	現状のまま→美装	②8	換気フード:SUS製(φ100)規格品	全て撤去
⑬	2階腰壁:モルタル塗り金ゴテ押え	全て撤去の上新設モルタル金ゴテ押え	②9	AC室外機(スチール製架台共)	現状のまま
⑭	軒樋:塩ビ製角樋(規格品)前高タイプ	全て撤去	③0	ガラスブロック(□-145×24列×16段)積み	現状のまま→美装
⑮	1階腰樋:塩ビ製 φ100・φ75(規格品)支持金物共	全て撤去	③1	車止:スチール製(φ75×L=1420×H=400)SOP塗り	2ヶ所撤去 3ヶ所は現状のまま(SOP塗替え)
⑯	2・3階腰樋:塩ビ製 φ60・φ75(規格品)支持金物共	全て撤去	③2		

REVISION

株式会社 川 建築事務所  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

DRAWING

(既設・撤去)立面図(2)

設計図

S=1/100

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

DATE

DESIGNER

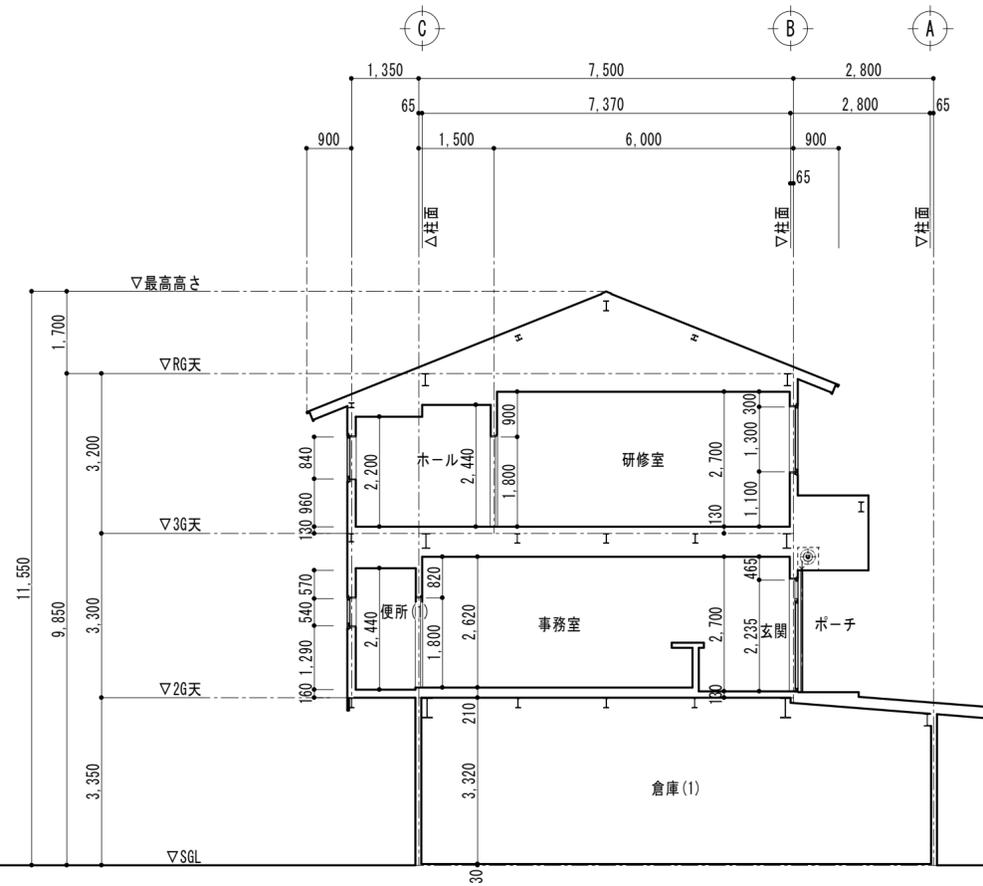
CHECK

DRAWN

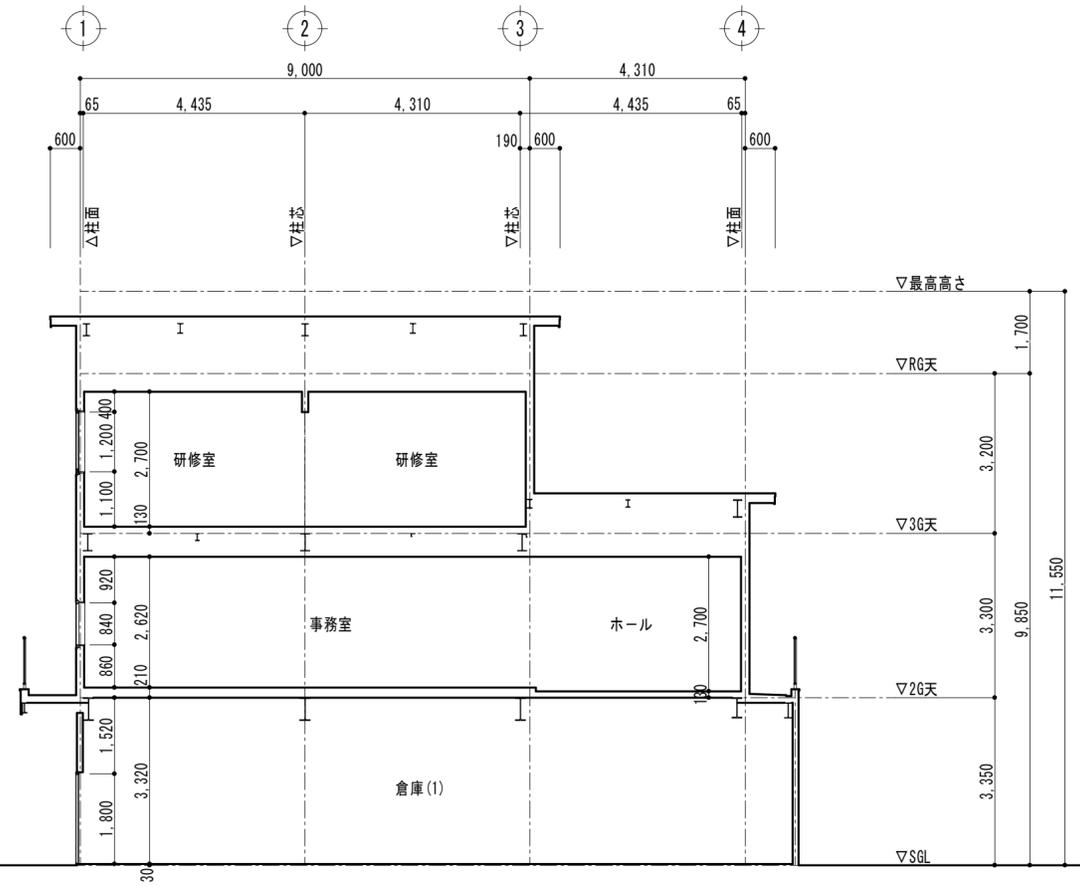
FILE No.

SHEET No.

A-43



(既設) 梁間断面図 S=1/100



(既設) 桁行断面図 S=1/100

REVISION

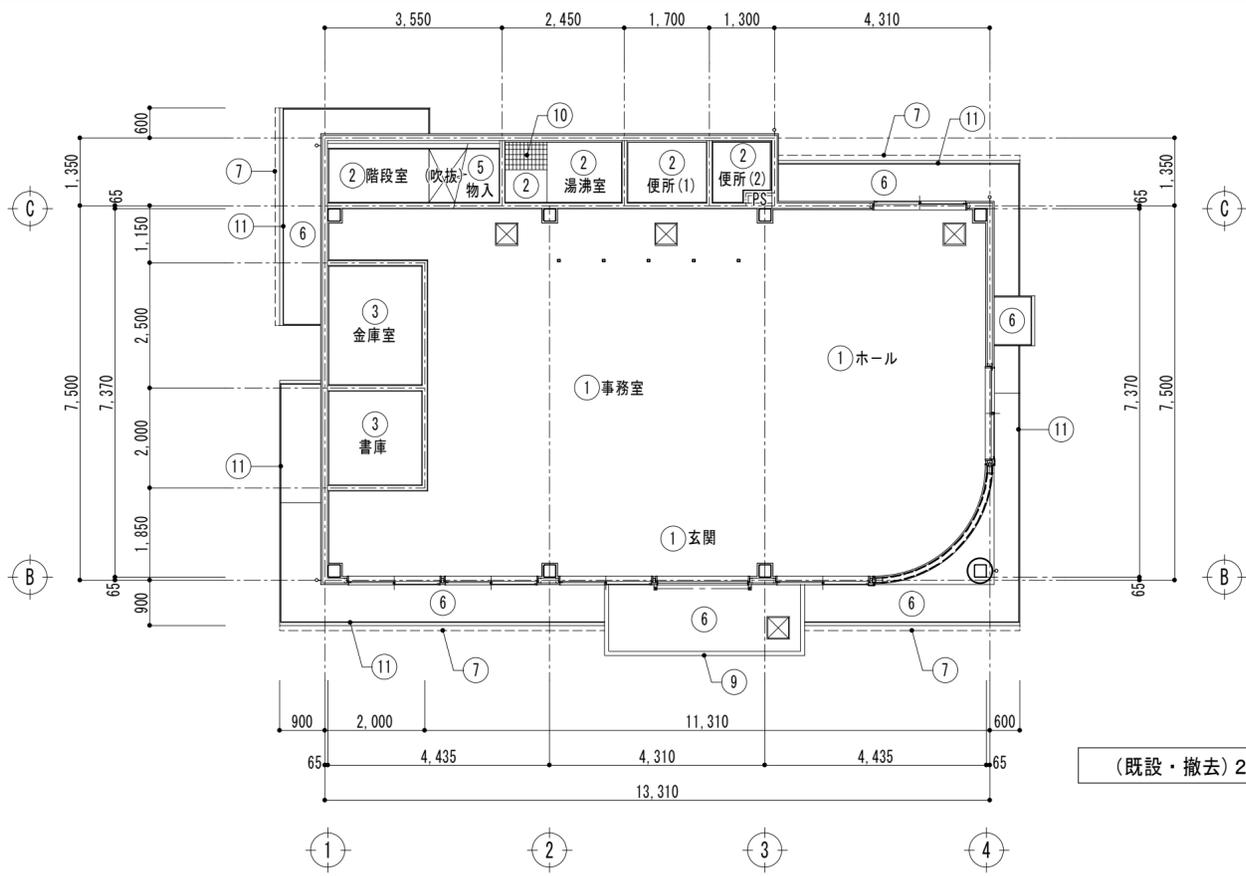
株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 (既設) 断面図 S=1/100

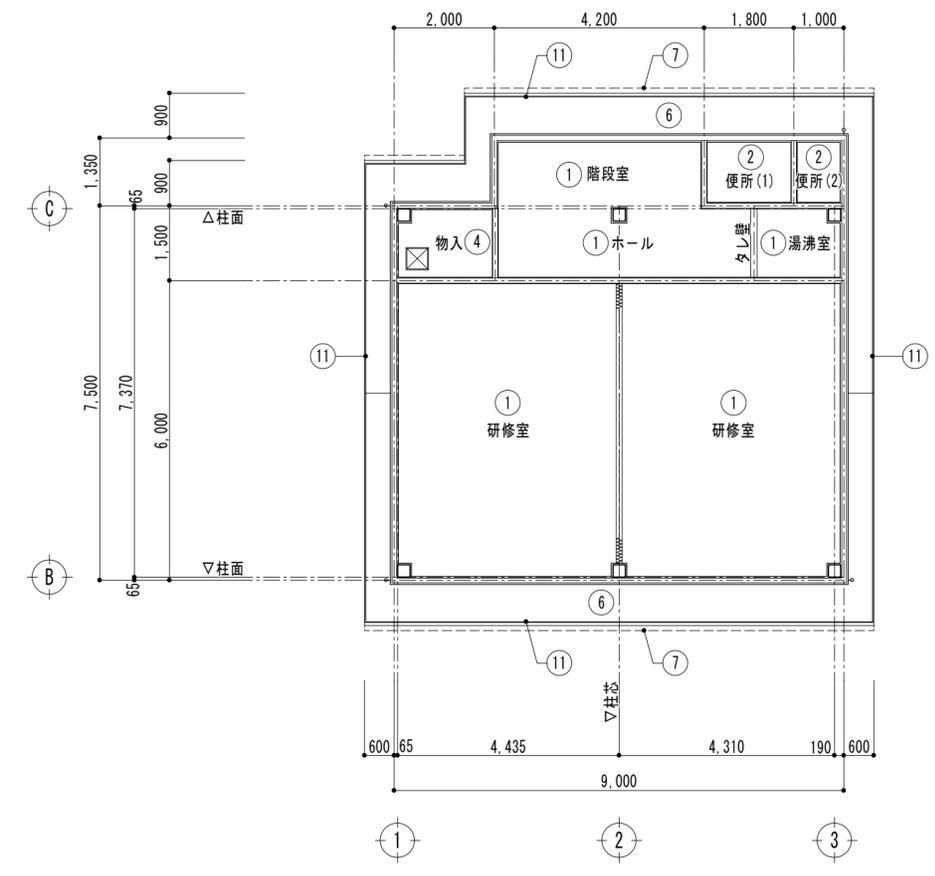
一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
 一級建築士事務所県登録第(ト)326-6号

DATE  
 DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

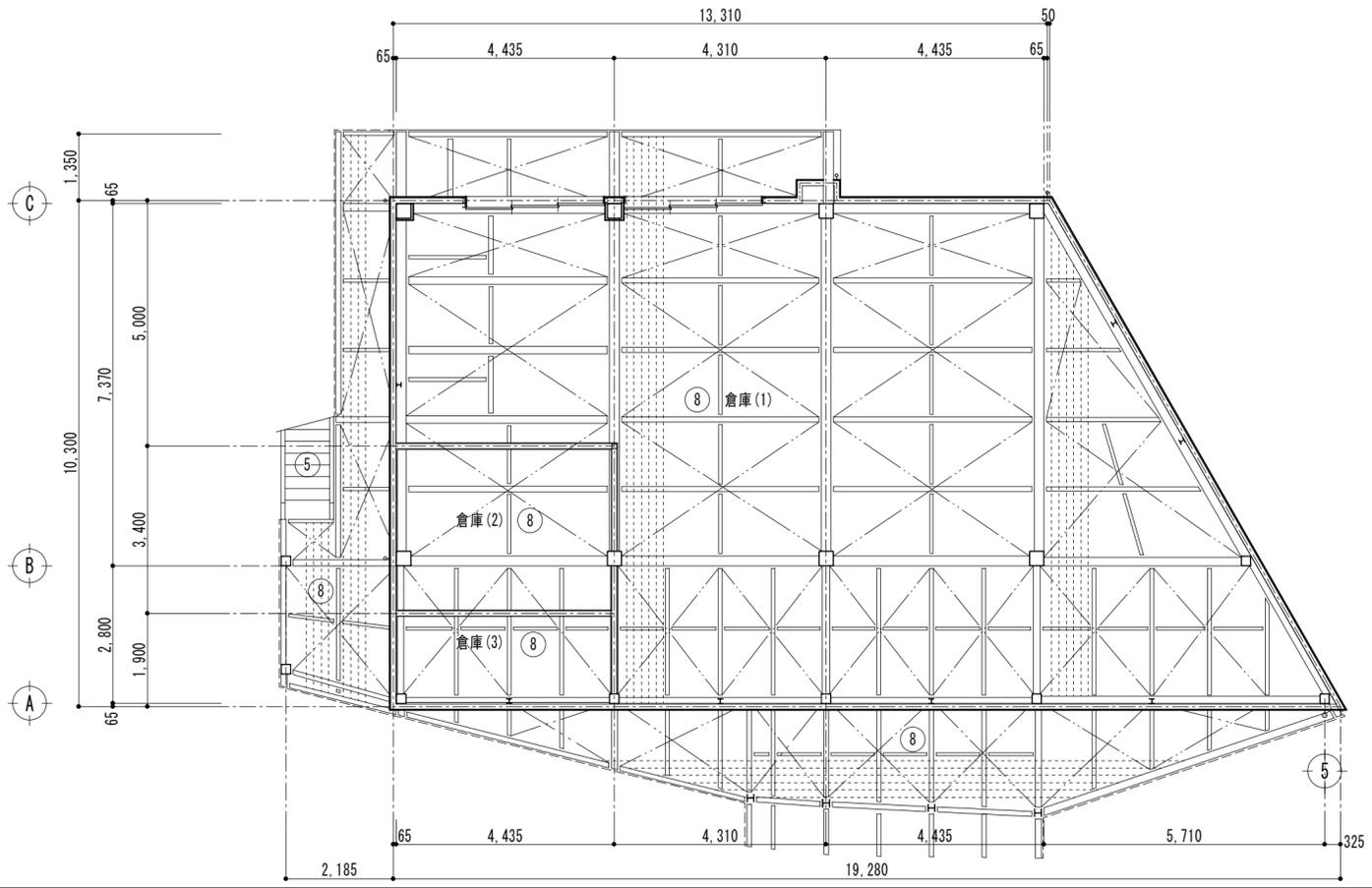
FILE No.  
 A-44



(既設・撤去) 2階天井伏図 S=1/100

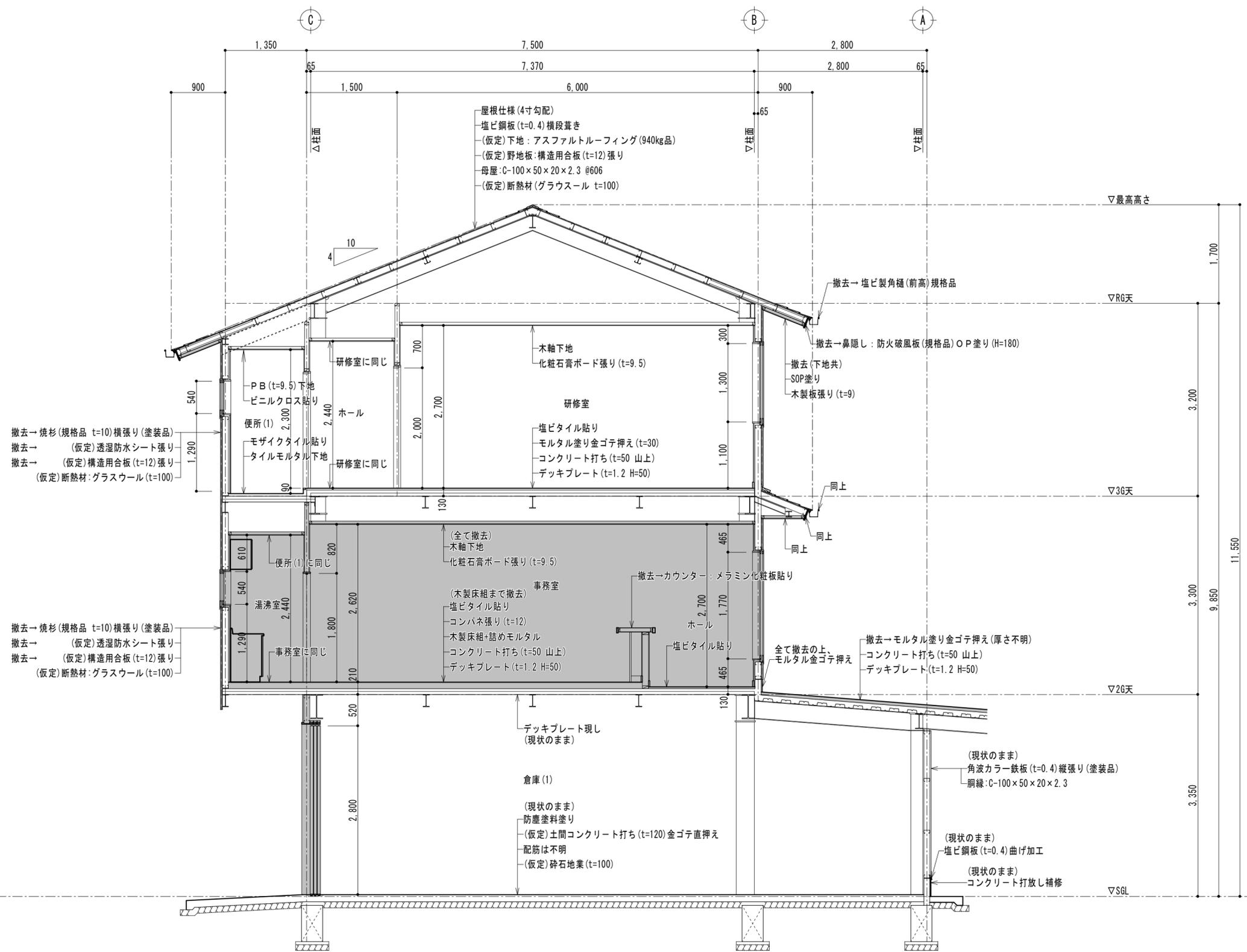


※ 今回工事範囲外  
(既設) 3階天井伏図 S=1/100



(既設) 1階天井伏図 S=1/100

(既設・撤去) 天井仕上表		
記号	既設仕上	撤去内容
①	化粧石膏ボード張り (t=9.5)	撤去 (木軸下地共)
②	PB (t=9.5) 下地ビニルクロス貼り	撤去 (木軸下地共)
③	PB (t=9.5) 下地寒冷紗パテEP塗り	撤去 (木軸下地共)
④	PB (t=9.5) 素地張り	現状のまま
⑤	鉄骨階段現し (サビ止め仕上)	現状のまま
⑥	軒天: 木製板張り (t=9) SOP塗り	撤去 (木軸下地共)
⑦	軒樋: 塩ビ製角樋 (規格品) 前高タイプ	撤去 (支持金物共)
⑧	デッキプレート・鉄骨梁・ブレース現し (サビ止めの上 SOP塗り)	現状のまま
⑨	見切金物: 塩ビ鋼板 (t=0.4) 曲げ加工 (塗装品)	撤去 (木軸下地共)
⑩	勾配天井部分: 半磁器質タイル貼り	撤去 (木軸下地共)
⑪	鼻隠し: 防火破風板 (規格品) OP塗り (H=180)	全て撤去
☒	アルミ製点検口 (口-450)	撤去 (3階部分は除く)

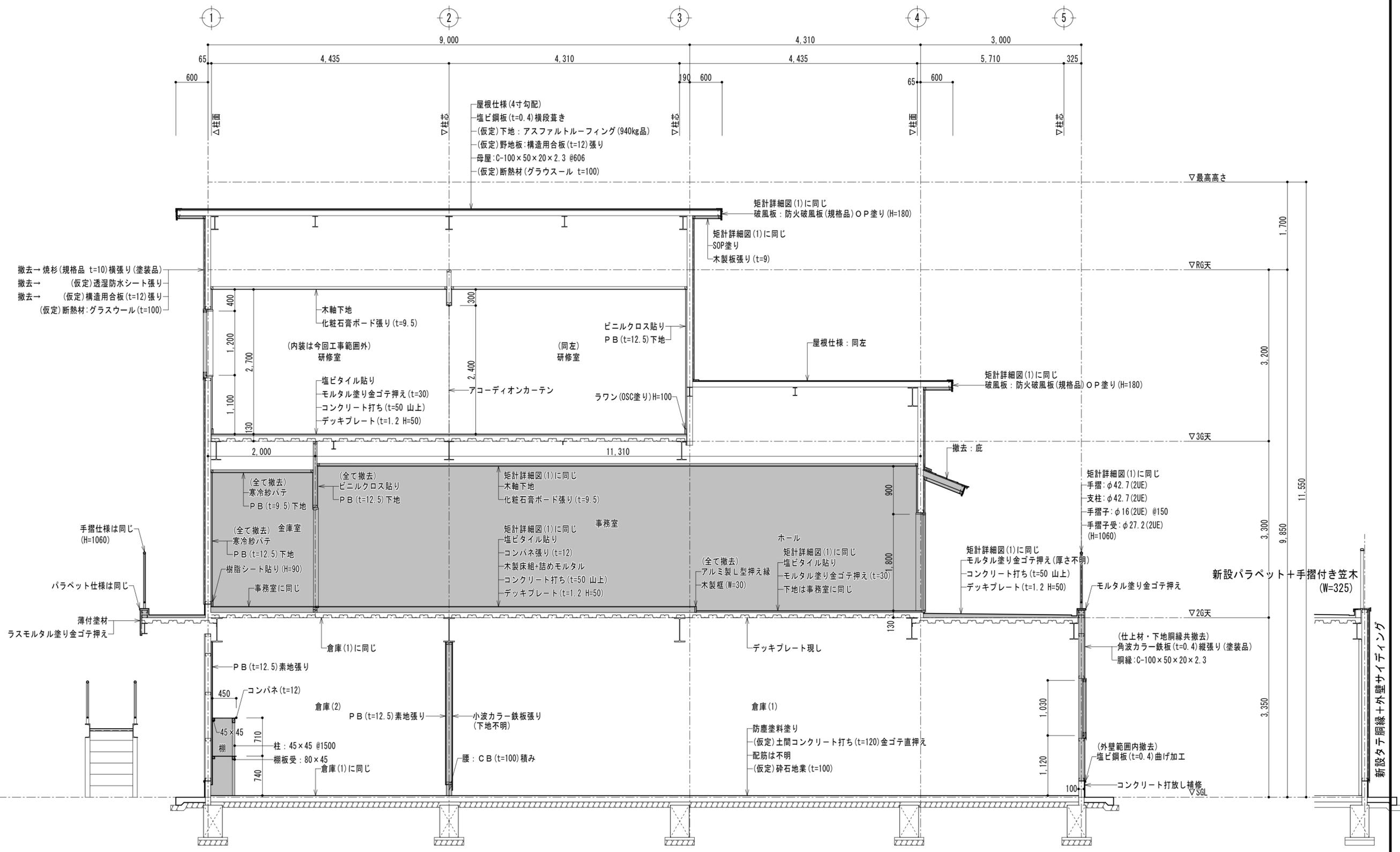


撤去→焼杉(規格品 t=10)横張り(塗装品)  
 撤去→(仮定)透湿防水シート張り  
 撤去→(仮定)構造用合板(t=12)張り  
 (仮定)断熱材:グラスウール(t=100)

撤去→焼杉(規格品 t=10)横張り(塗装品)  
 撤去→(仮定)透湿防水シート張り  
 撤去→(仮定)構造用合板(t=12)張り  
 (仮定)断熱材:グラスウール(t=100)

■ = 撤去範囲を示す  
 (既設・撤去) 矩計詳細図(1) S=1/50

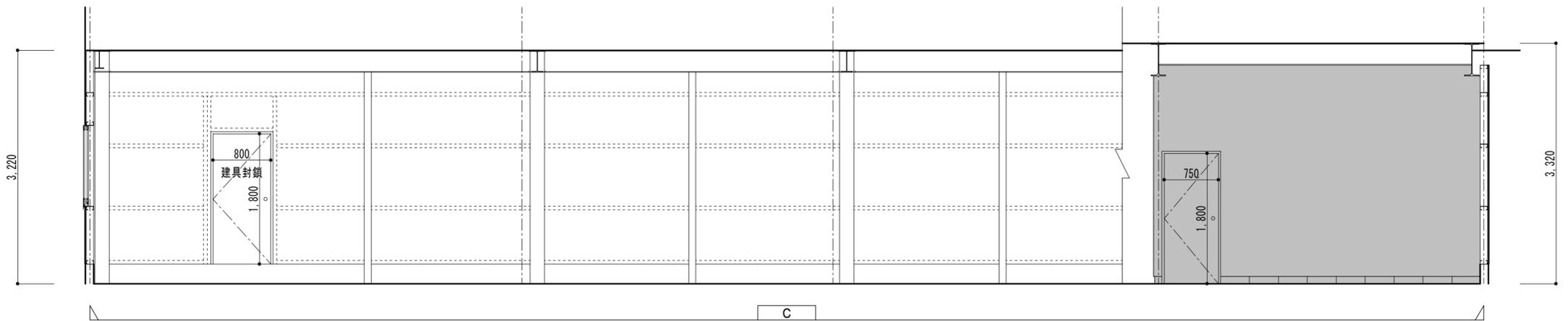
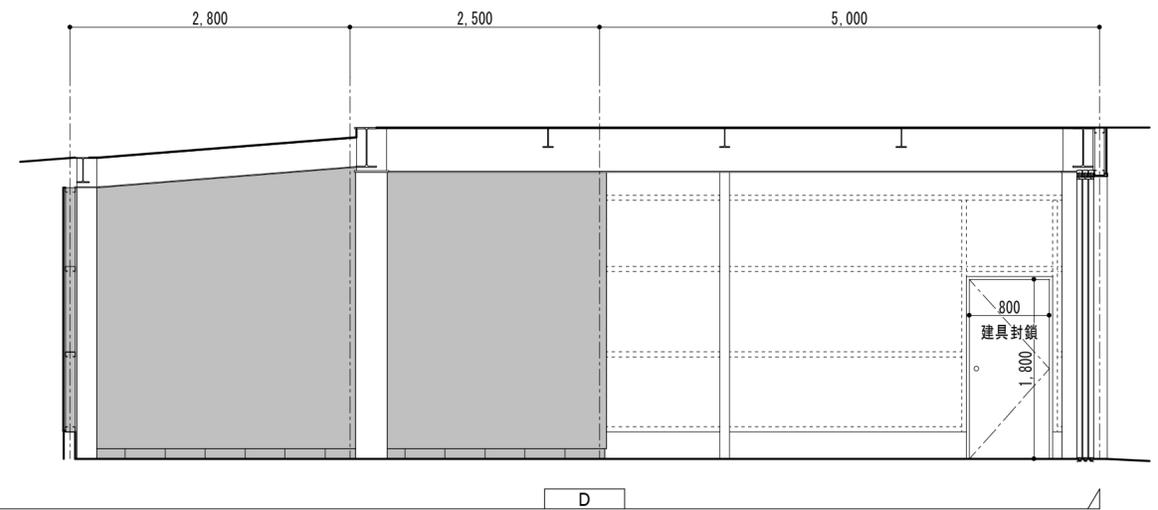
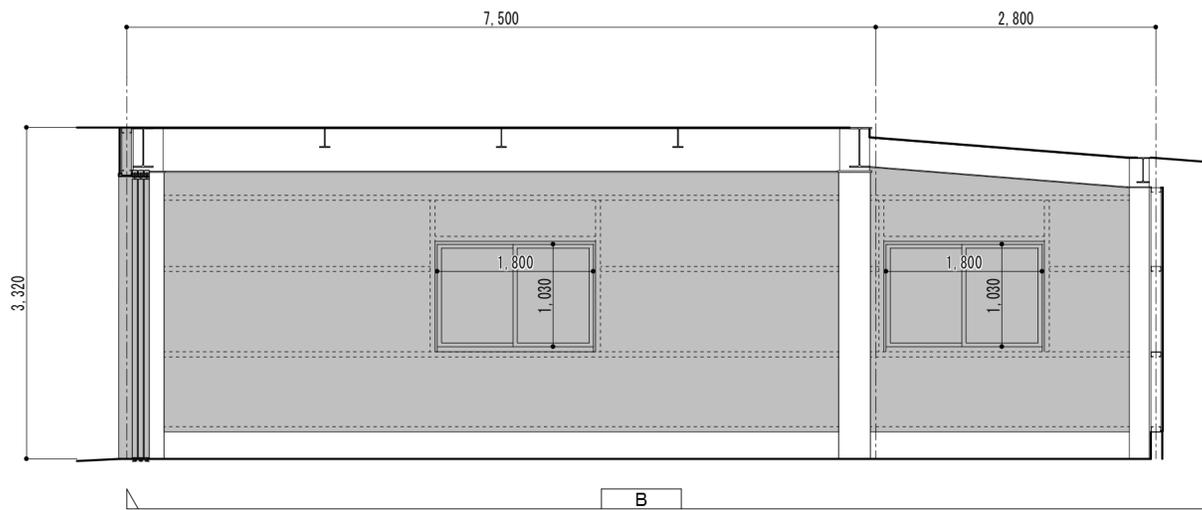
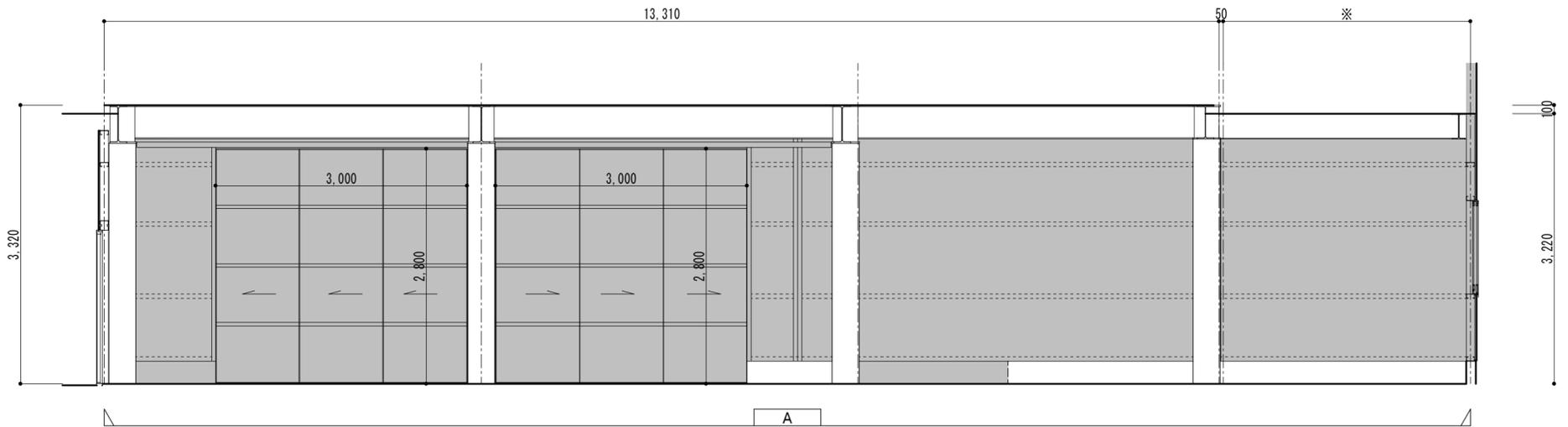
REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE <small>493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)</small>	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.		
		DRAWING	(既設・撤去) 矩計詳細図(1)	S=1/50	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	CHECK	DRAWN



■ = 撤去範囲を示す  
 (既設・撤去) 矩計詳細図 (2) S=1/50

REVISION	 株式会社 川 建築事務所 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
		DRAWING	(既設・撤去) 矩計詳細図 (2)	S=1/50	一級建築士事務所登録第(〒)326-6号	DESIGNER CHECK DRAWN SHEET No.

■ = 撤去範囲を示す	
室名	倉庫(1)
天井	梁・デッキプレート現し
壁	外壁裏・鉄骨胴縁現し
壁	小波カラー鉄板張り
巾木	腰壁コンクリート現し
巾木	基礎：CB(t=100)1段積み
床	防塵塗料塗り



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

設計図

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

DATE

DESIGNER CHECK DRAWN

FILE No.

DRAWING

(既設・撤去) 1階展開図(1)

S=1/50

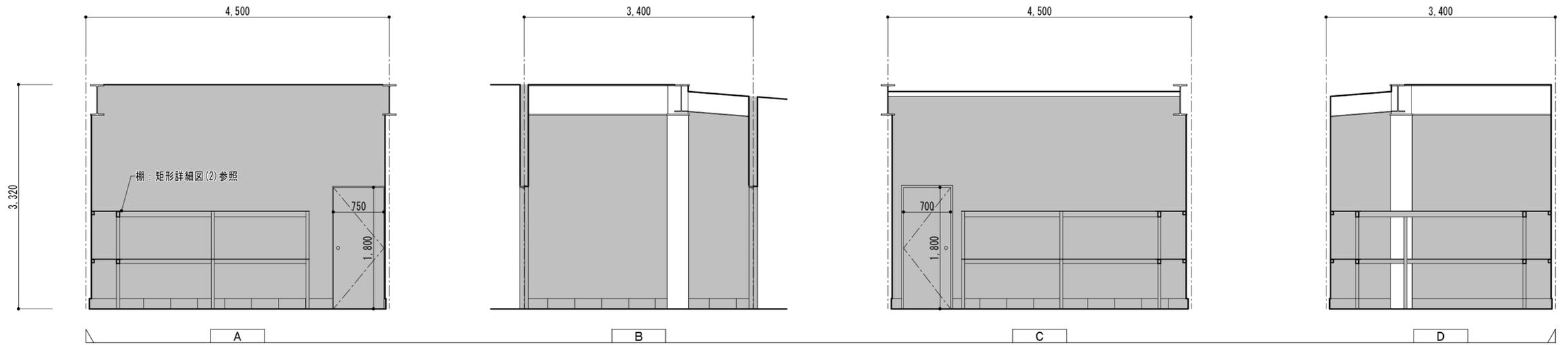
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

SHEET No.

A-48

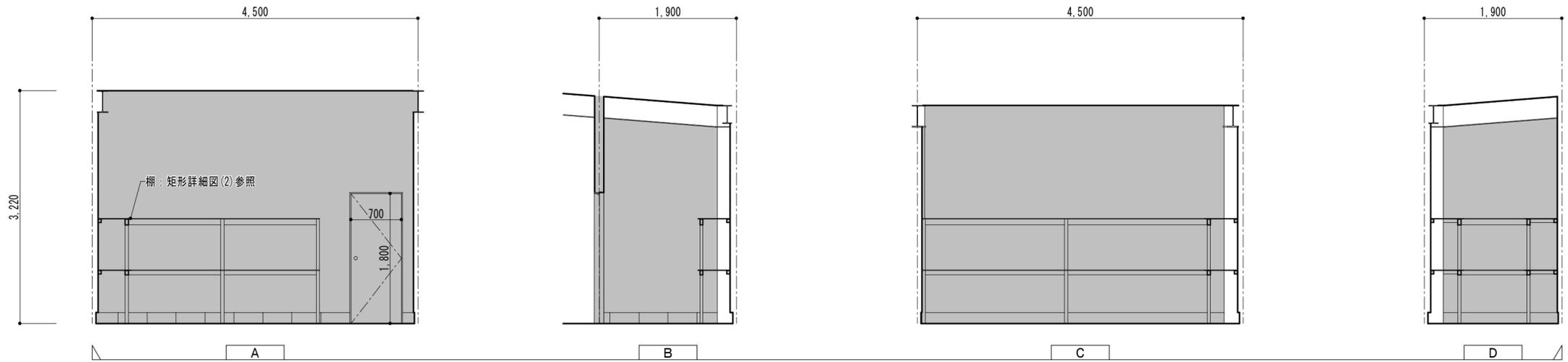
■ = 撤去範囲を示す

室名	倉庫(2)
天井	梁・デッキプレート現し
壁	PB素地張り
巾木	腰壁コンクリート現し
巾木	基礎：CB(t=100)1段積み
床	防塵塗料塗り



■ = 撤去範囲を示す

室名	倉庫(3)
天井	梁・デッキプレート現し
壁	PB素地張り
巾木	腰壁コンクリート現し
巾木	基礎：CB(t=100)1段積み
床	防塵塗料塗り



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

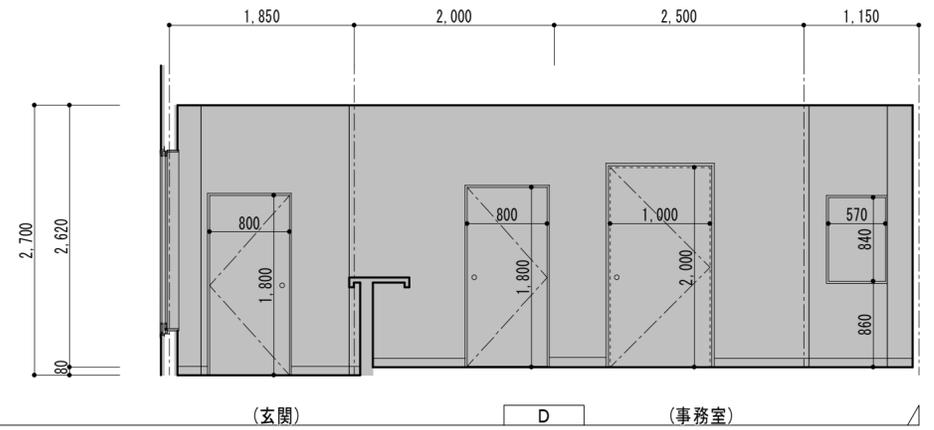
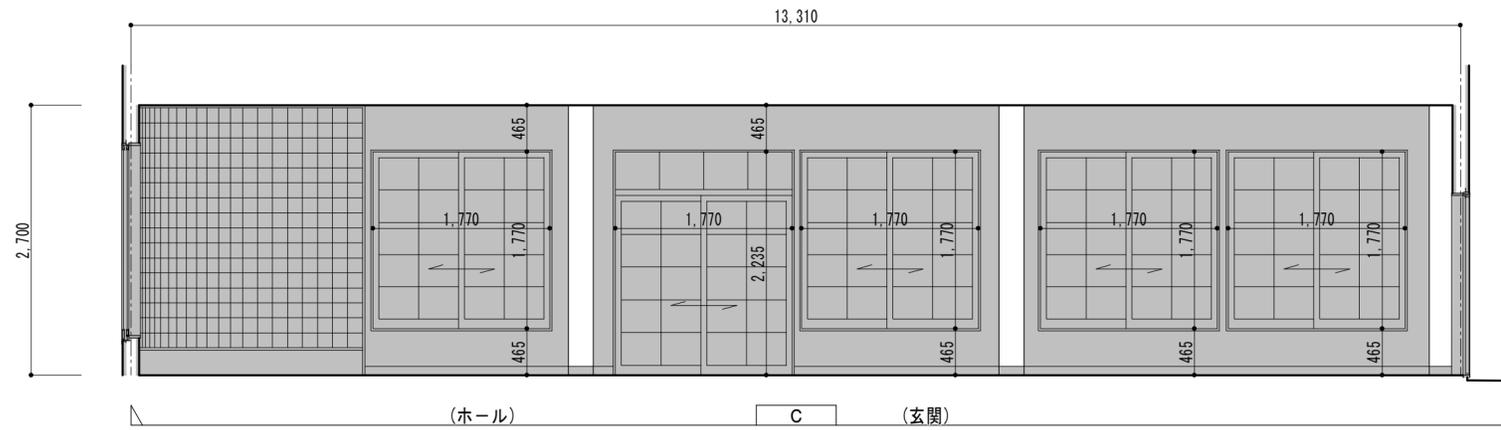
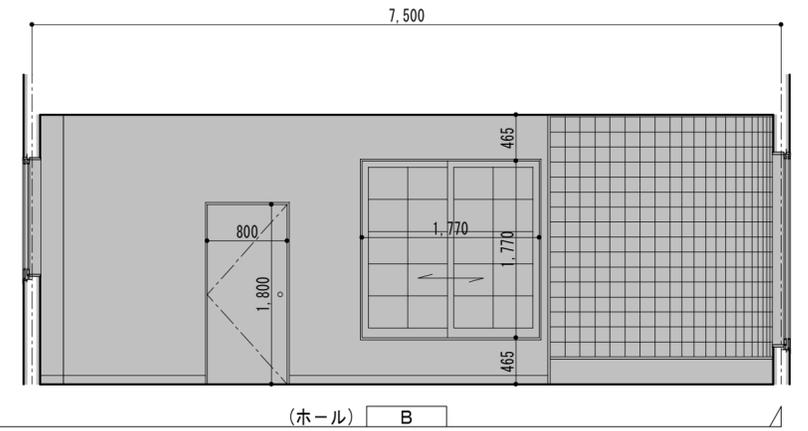
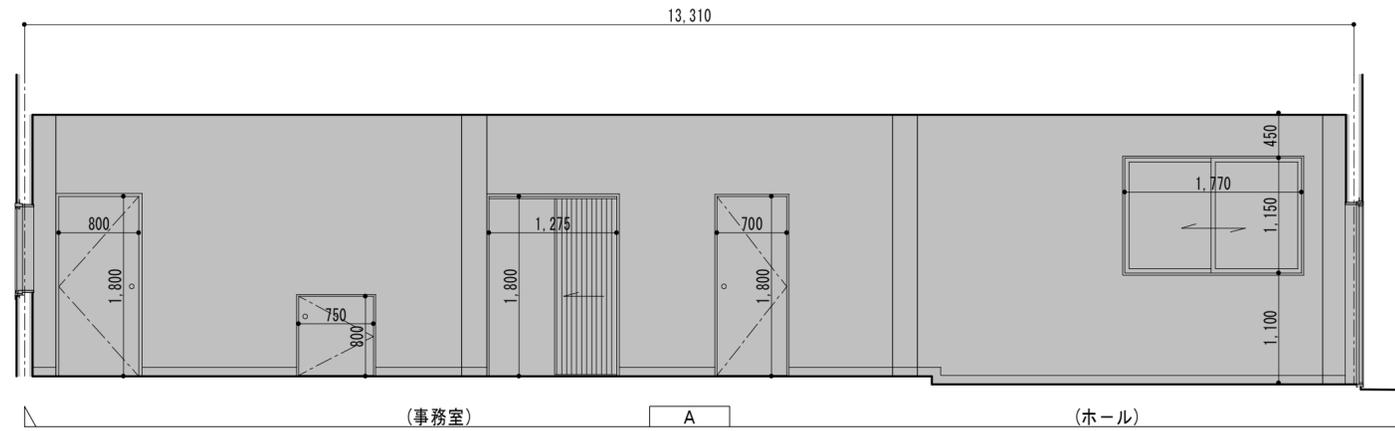
TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 (既設・撤去) 1階展開図(2) S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
 一級建築士事務所登録第(ト)326-6号

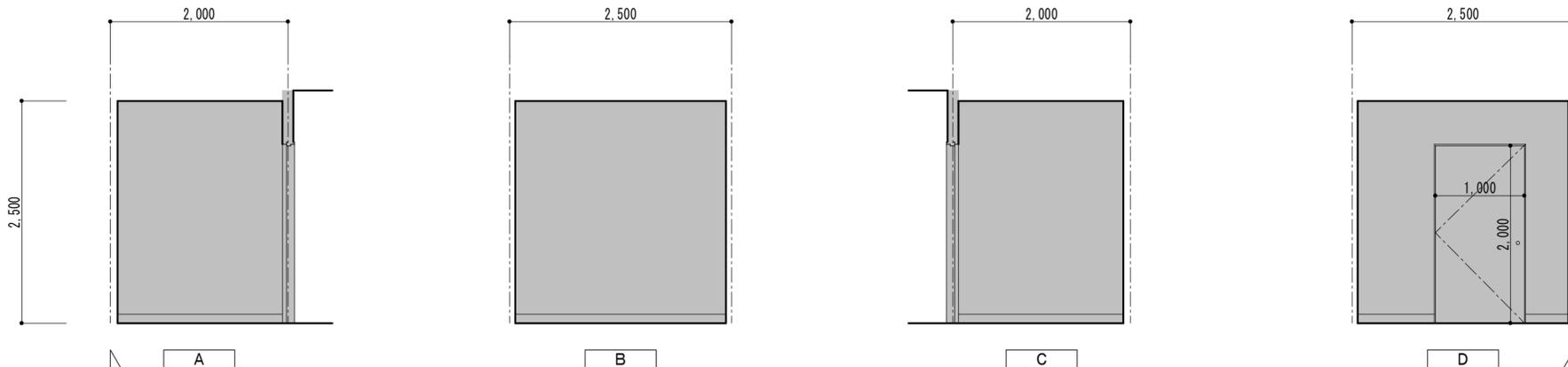
DATE  
 DESIGNER CHECK DRAWN

FILE No.  
 SHEET No.  
 A-49

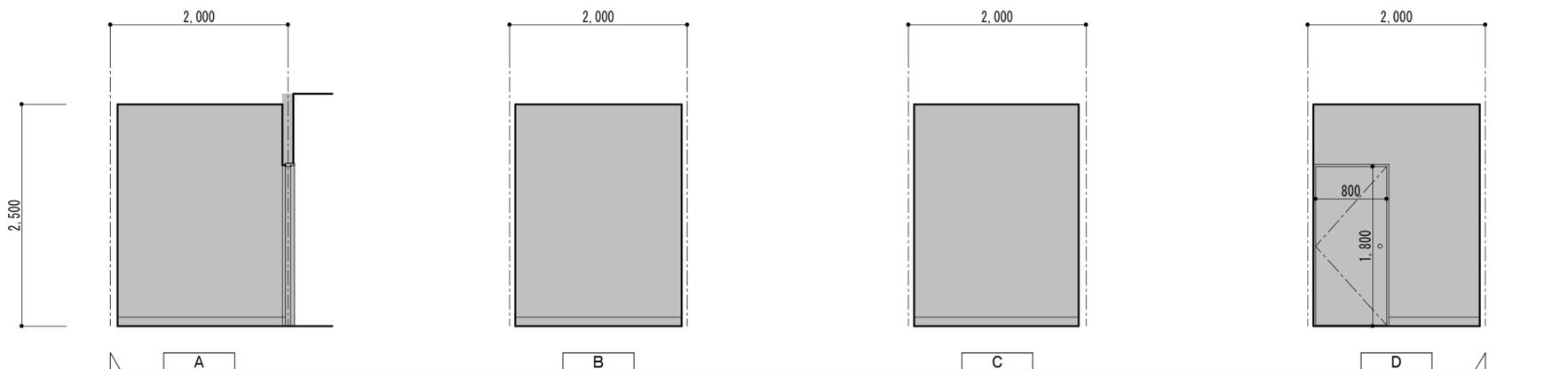
室名	玄関・ホール・事務室
天井	化粧石膏ボード張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床(玄関)	塩ビタイル貼り(モルタル下地)
床(事務室)	塩ビタイル貼り(木軸下地)



室名	金庫室
天井	P B下地寒冷紗パテEP塗り
壁	P B下地寒冷紗パテEP塗り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り(木軸下地)



室名	書庫
天井	P B下地寒冷紗パテEP塗り
壁	P B下地寒冷紗パテEP塗り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り(木軸下地)



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE

文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事

DRAWING

(既設・撤去) 2階展開図(1)

設計図

S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一

一級建築士事務所登録第(〒)326-6号

DATE

DESIGNER

CHECK

DRAWN

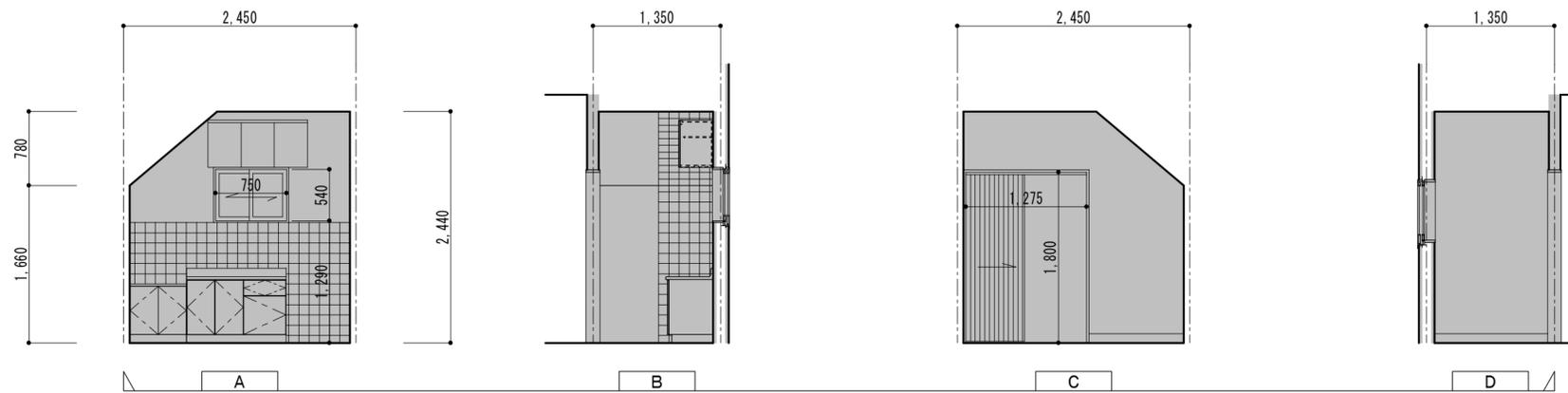
FILE No.

SHEET No.

A-50

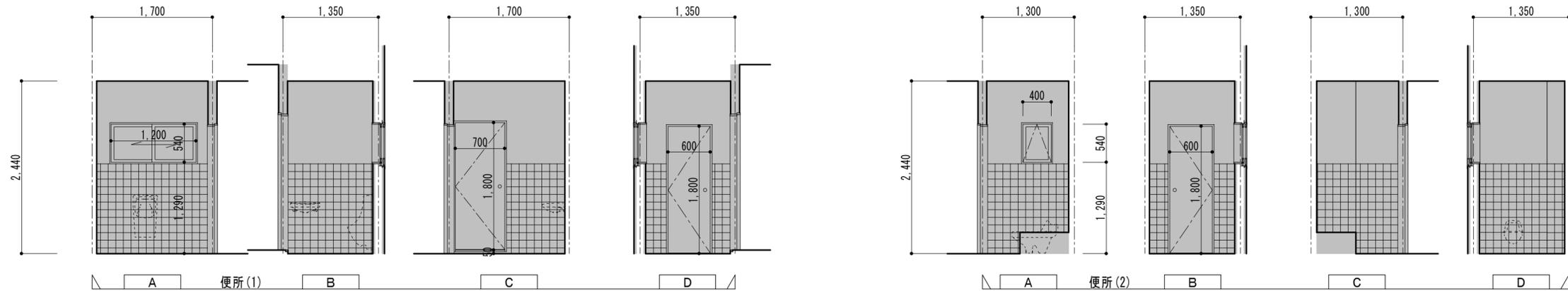
■ = 撤去範囲を示す

室名	湯沸室
天井	ビニルクロス貼り
壁	ビニルクロス貼り
腰壁	半磁器質タイル貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り



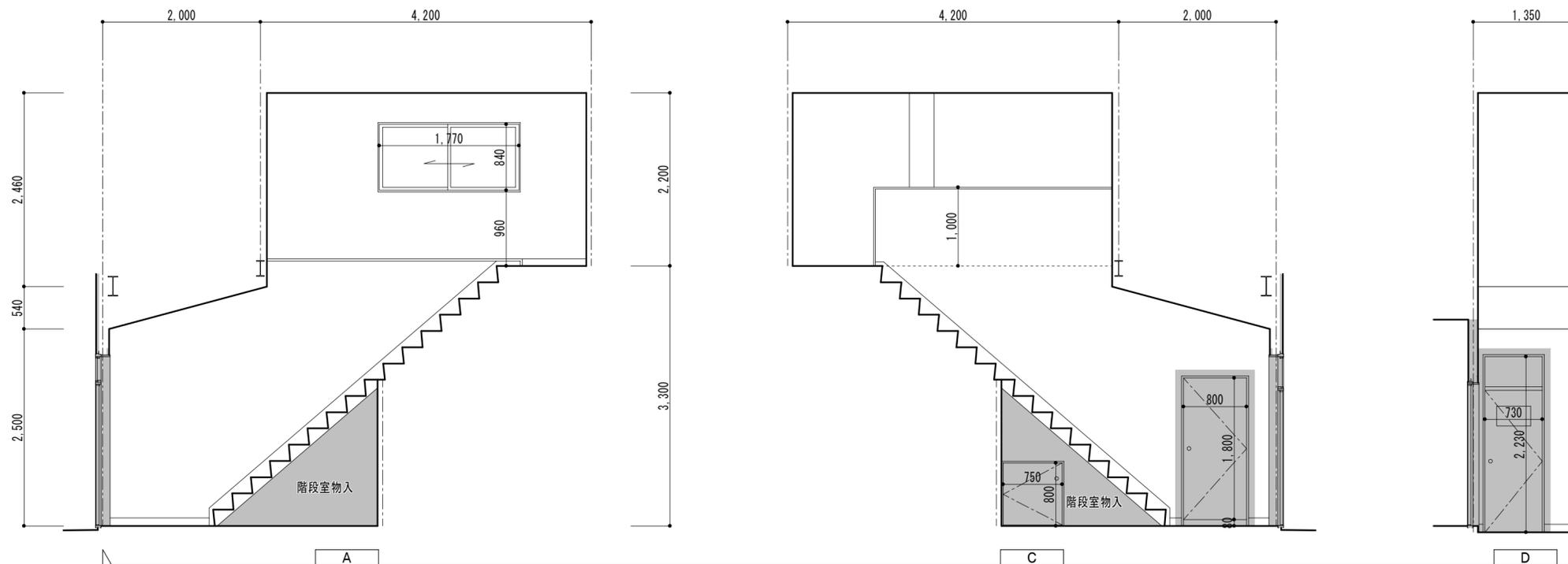
■ = 撤去範囲を示す

室名	便所(1・2)
天井	ビニルクロス貼り
壁	ビニルクロス貼り
腰壁	半磁器質タイル貼り
巾木	-
床	モザイクタイル貼り



■ = 撤去範囲を示す

室名	階段室
2階天井	化粧石膏ボード張り
1階天井	ビニルクロス貼り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り(モルタル下地)



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE  
文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
DRAWING  
(既設・撤去) 2階展開図(2) S=1/50

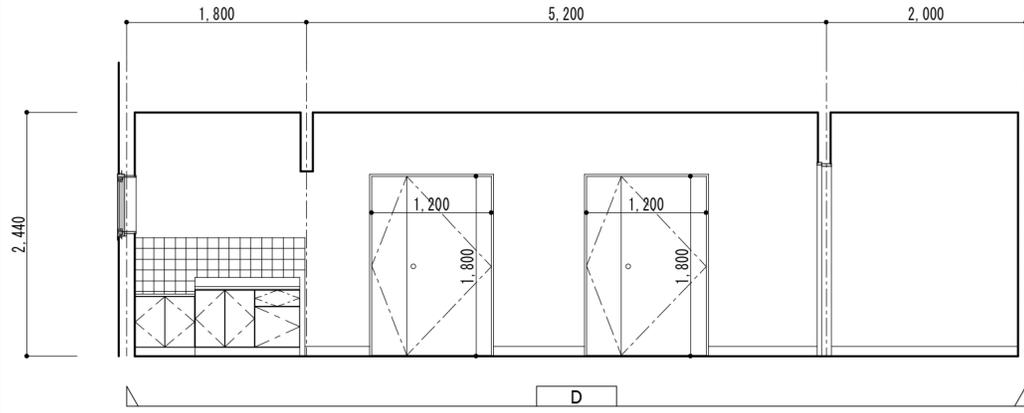
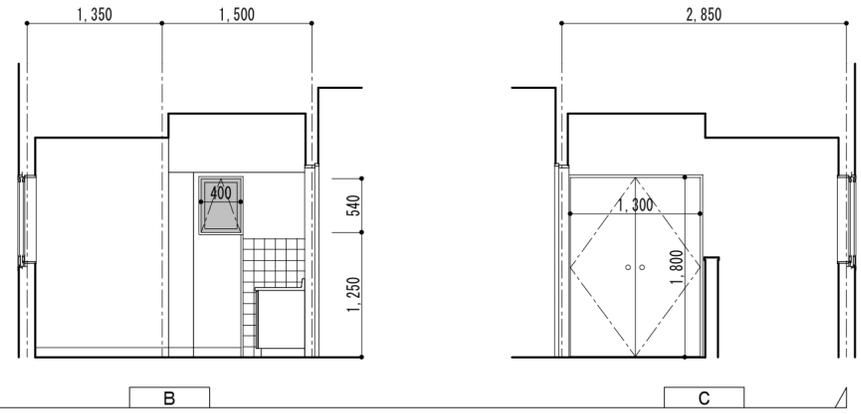
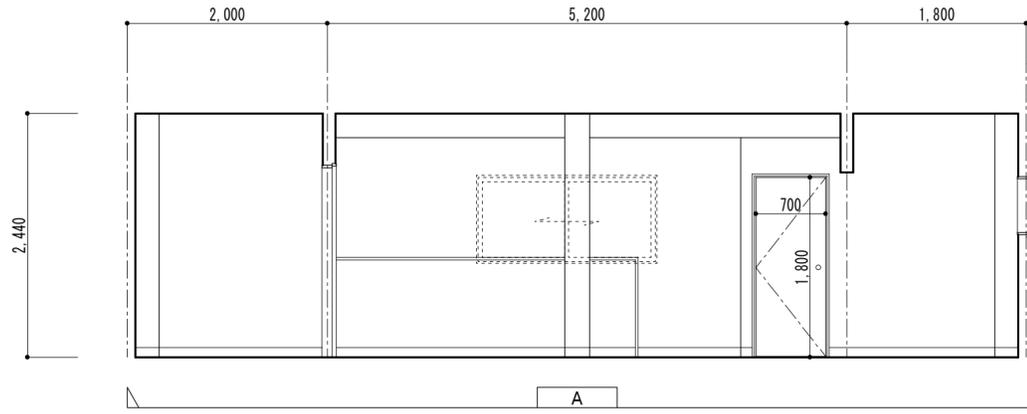
一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
一級建築士事務所県登録第(ト)326-6号

DATE  
DESIGNER  
CHECK  
DRAWN  
SHEET No.

FILE No.  
A-51

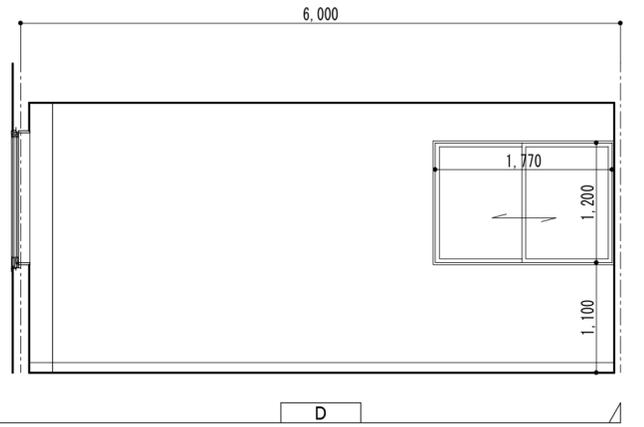
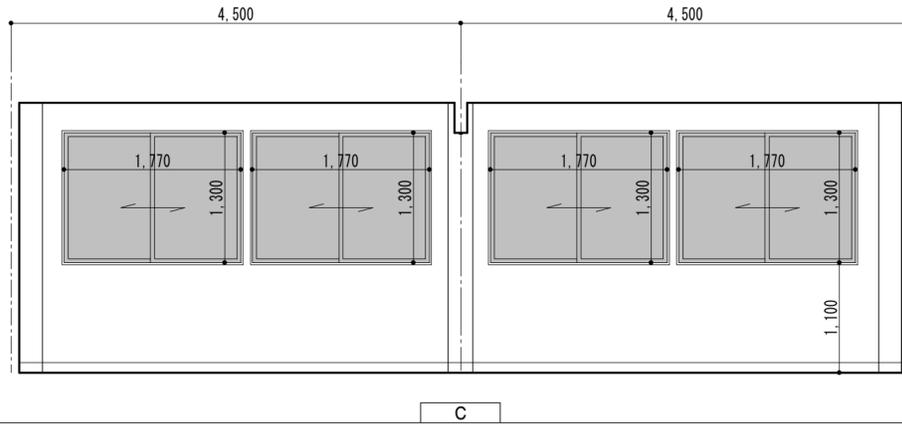
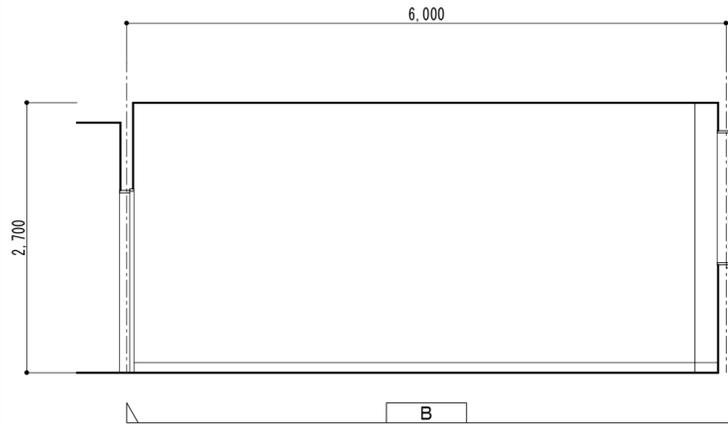
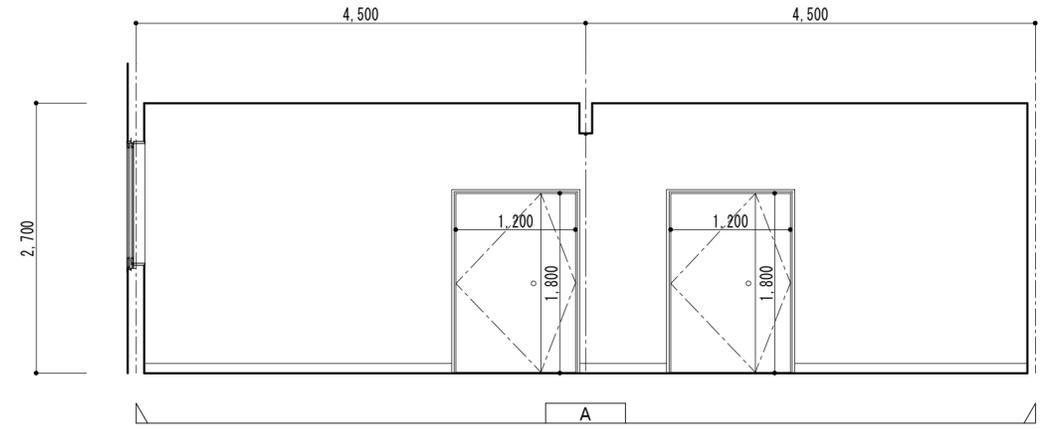
■ =撤去範囲を示す(サッシのみ撤去)

室名	階段室・ホール
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り



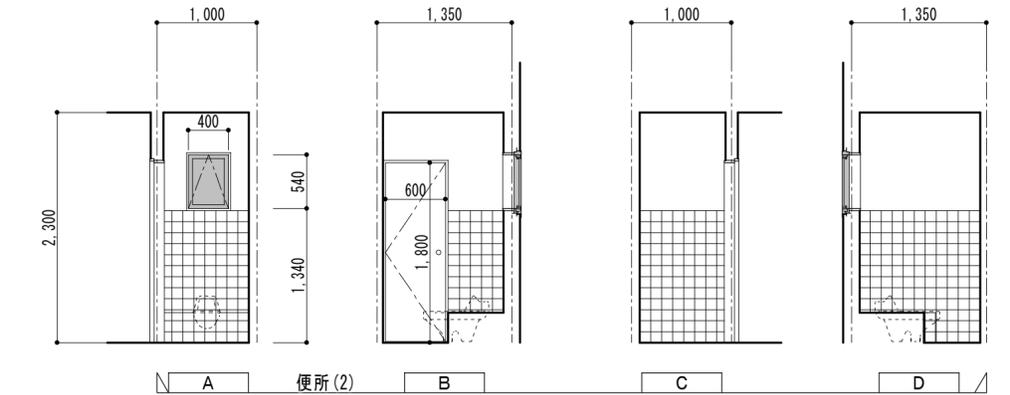
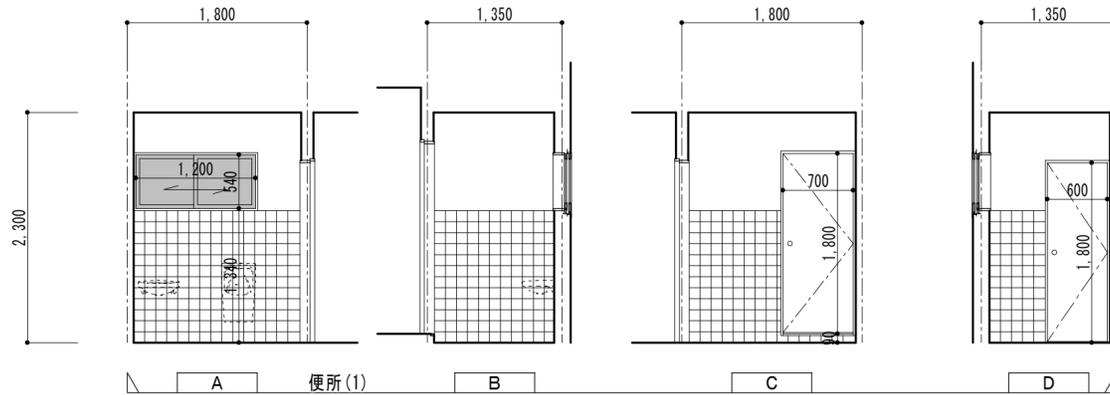
■ =撤去範囲を示す(サッシのみ撤去)

室名	研修室
天井	化粧石膏ボード(t=9.5)張り
壁	ビニルクロス貼り
巾木	樹脂シート貼り(H=90)
床	塩ビタイル貼り



■ =撤去範囲を示す(サッシのみ撤去)

室名	便所(1・2)
天井	ビニルクロス貼り
壁	ビニルクロス貼り
腰壁	半磁器質タイル貼り
巾木	-
床	モザイクタイル貼り



REVISION

株式会社 **川 建築事務所**  
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

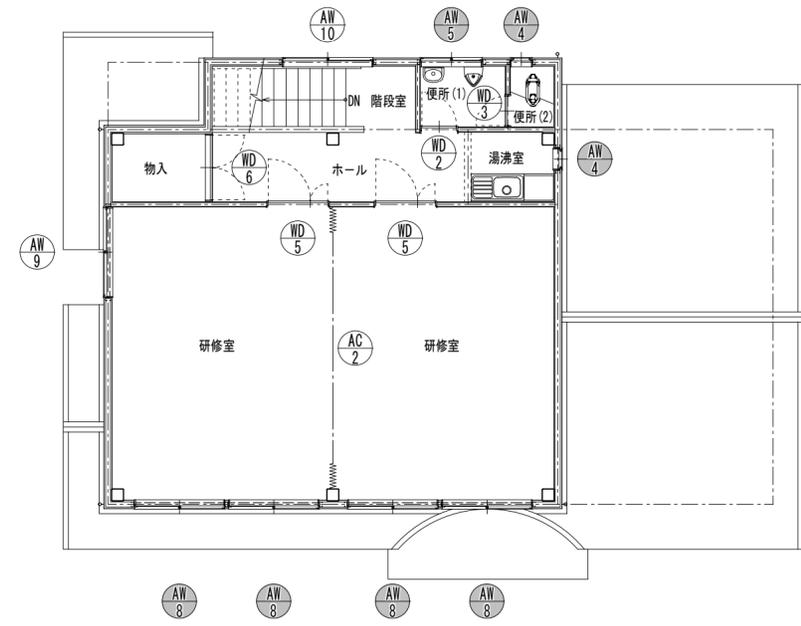
TITLE  
文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
DRAWING  
(既設・撤去)3階展開図  
S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一  
一級建築士事務所県登録第(ト)326-6号

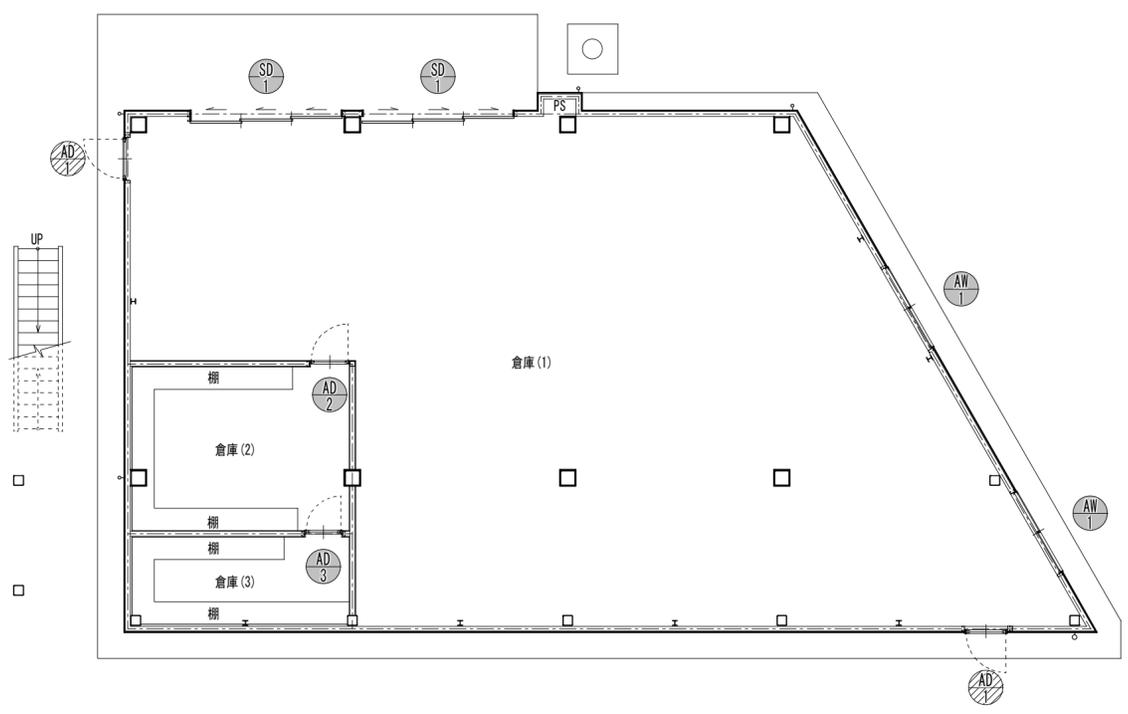
DATE  
DESIGNER  
CHECK  
DRAWN

FILE No.  
SHEET No.  
A-52

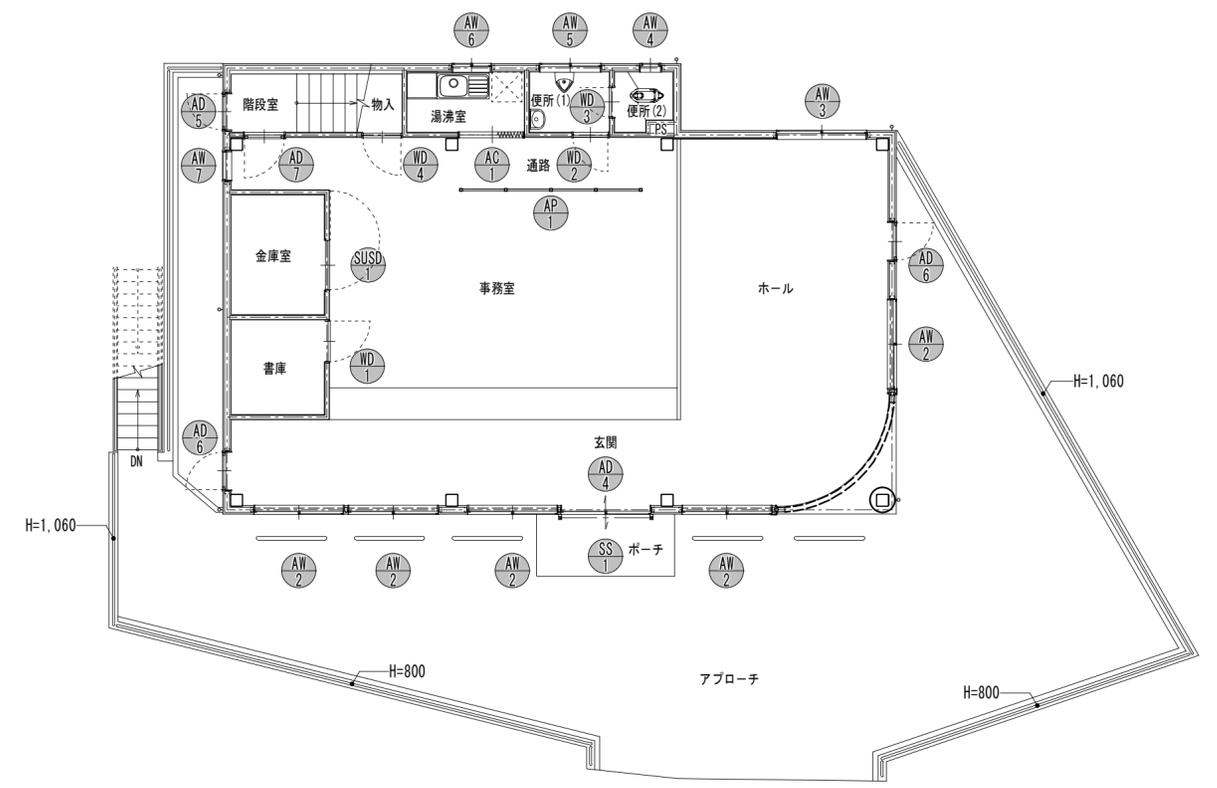
記号	工事内容
	= 撤去建具を示す
	= 封鎖建具を示す
	= 既設建具(現状のまま使用)を示す
注	= 3階部分建具は現状のまま



(既設) 3階建具配置平面図 S=1/100



(既設) 1階建具配置平面図 S=1/100



(既設) 2階建具配置平面図 S=1/100

符号	SD 1	2	SS 1	1	SUSD 1	1
室名	1階倉庫(1)		2階玄関		2階金庫室	
形状						
材種・仕上/見込	スチール製枠キーストンプレート張り(SOP塗り)		軽量シャッター(スチール製メーカー工場塗装品)		スチール製メッキ仕上	
開閉勝手	3枚引込ハンガードア				片開きフラッシュ戸	
硝子						
金物	ハンガーレール・ガイドレール・下枠SUSレール		スラット(t=0.6)・SUS製ガイドレール・SUS製座板		AP・フロアーヒンジ・シリンダー錠・SUS製沓摺	
備考	戸当・ストッパー・3方見切縁:カラー鋼板(t=0.4)曲げ加工・附属金物一式		SUS製マグサ・附属金物一式		戸当・附属金物一式	
符号	AD 1	2	AD 2	1	AD 3	1
室名	1階倉庫(1)		1階倉庫(2)		1階倉庫(3)	
形状						
材種・仕上/見込	アルミ製(樹脂シート貼り)		アルミ製(樹脂シート貼り)		アルミ製(樹脂シート貼り)	
開閉勝手	片開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸		片開きフラッシュ戸	
硝子						
金物	T番・シリンダー錠(サムターン付)・DC・SUS製沓摺		T番・シリンダー錠・SUS製沓摺・戸当・附属金物一式		T番・シリンダー錠・SUS製沓摺・戸当・附属金物一式	
備考	戸当・附属金物一式		戸当・附属金物一式		戸当・附属金物一式	
符号	AD 4	2	AD 5	1	AD 6	2
室名	1階倉庫(1)		2階玄関		2階階段室	
形状						
材種・仕上/見込	アルミ製(樹脂シート貼り)		アルミ製(規格色)		アルミ製(規格色)	
開閉勝手	片開きフラッシュ戸		ランマFIX付引違い戸		ランマFIX付片開きフラッシュ戸	
硝子			トメイガラス(t=5)		型ガラス(t=4)	
金物	AP・T番・シリンダー錠(サムターン付)・DC・SUS製沓摺		AP・戸車・シリンダー錠(サムターン付)・SUS製レール		T番・シリンダー錠(サムターン付)・DC・SUS製沓摺	
備考	戸当・附属金物一式		引手・化粧格子貼付・附属金物一式		戸当・附属金物一式	
符号	AD 7	1	AD 8	5	AD 9	1
室名	2階階段室		2階玄関・ホール		2階ホール	
形状						
材種・仕上/見込	アルミ製(樹脂シート貼り)		アルミ製(規格色)		アルミ製(規格色)	
開閉勝手	片開きフラッシュ戸		引違い窓		引違い窓	
硝子			型ガラス(t=4)		トメイガラス(t=5)	
金物	AP・T番・シリンダー錠(サムターン付)・DC・SUS製沓摺		戸車・引手・クレセント・附属金物一式		戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式	
備考	戸当・附属金物一式		網戸・附属金物一式		網戸・附属金物一式	
符号	AD 10	3	AD 11	3	AD 12	3
室名	2階階段室		1階倉庫(1)		2・3階便所(2)・3階湯沸室	
形状						
材種・仕上/見込	アルミ製(樹脂シート貼り)		アルミ製(規格色)		アルミ製(規格色)	
開閉勝手	片開きフラッシュ戸		引違い窓		横すべり出し窓	
硝子			型ガラス(t=4)		型ガラス(t=4)	
金物	AP・T番・シリンダー錠(サムターン付)・DC・SUS製沓摺		戸車・引手・クレセント・附属金物一式		AP・カムラッチハンドル・突出しアーム	
備考	戸当・附属金物一式		網戸・附属金物一式		網戸・附属金物一式	

REVISION
----------


**株式会社 川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE  
 文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図  
 DRAWING  
 (既設・撤去) 建具表 (1) S=1/50

一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	FILE No.
一級建築士事務所登録第(ト)326-6号	DESIGNER	SHEET No.
	CHECK	A-54
	DRAWN	

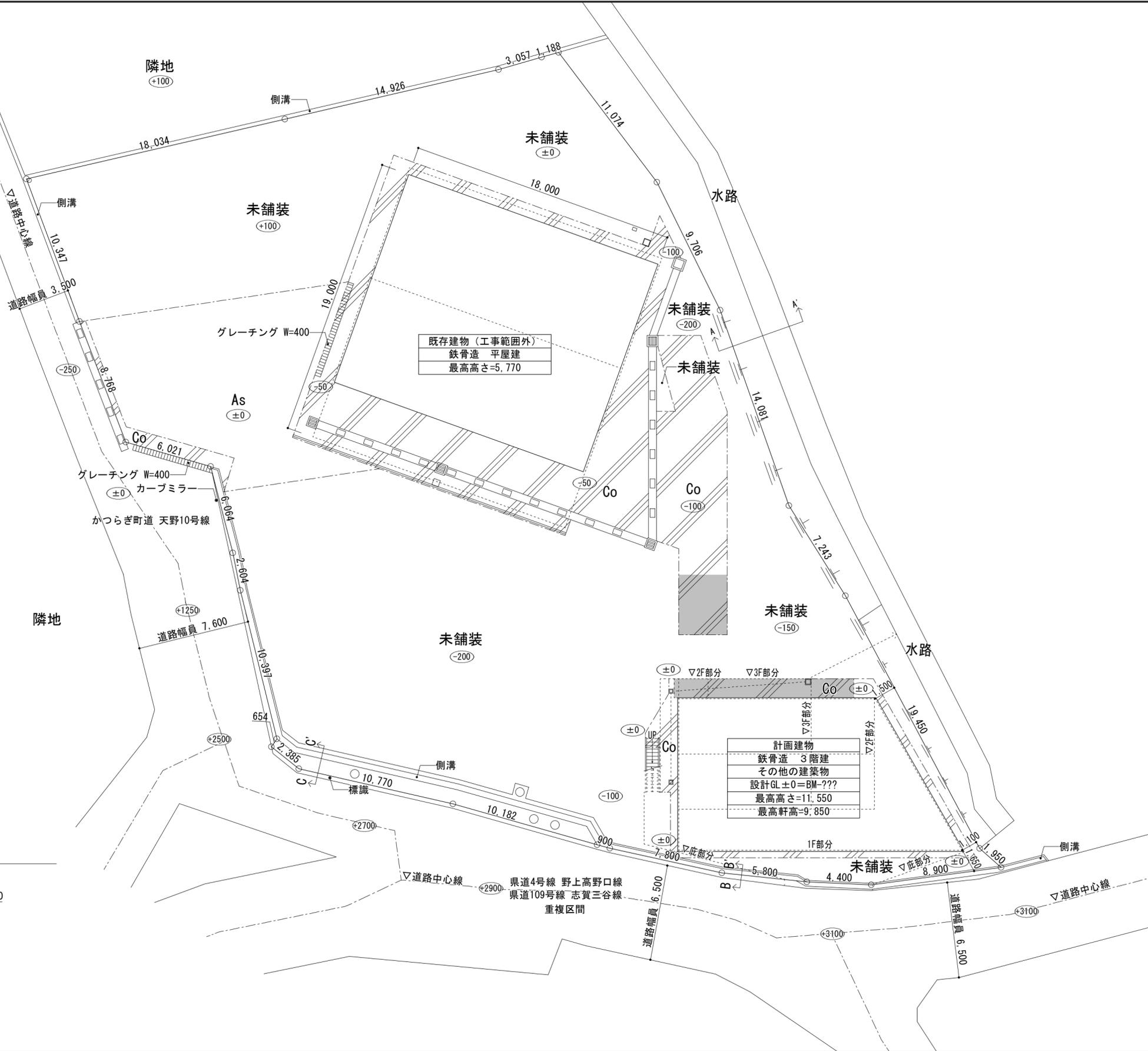
符号	AW5	2	AW6	1	AW7	1	AW8	4	AW9	1	AW10	1
室名	2・3階便所(1)		2階湯沸室		2階事務室		3階研修室		3階研修室		3階階段室	
形状												
材種・仕上/見込	アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70		アルミ製(規格色) 70	
開閉勝手	引違い窓		引違い窓		FIX窓		引違い窓		引違い窓		引違い窓	
硝子	型ガラス(t=4)		型ガラス(t=4)		型ガラス(t=4)		型ガラス(t=4)		型ガラス(t=4)		トーマイガラス(t=5)	
金物	A P・戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式		A P・戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式		A P・附属金物一式		A P・戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式		A P・戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式		A P・戸車・引手・クレセント・網戸・附属金物一式	
備考												
符号	WD1	1	WD2	2	WD3	2	WD4	1	WD5	2	WD6	1
室名	2階書庫		2・3階便所(1)		2・3階便所(2)		2階階段下物入		3階研修室		3階ホール物入	
形状												
材種・仕上/見込	ビニルクロス貼りフラッシュ 36		ポリ合板貼りフラッシュ 36		ポリ合板貼りフラッシュ 36		ビニルクロス貼りフラッシュ 36		ポリ合板貼りフラッシュ 36		ポリ合板貼りフラッシュ 36	
開閉勝手	片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開き戸		親子開き戸		両開き戸	
硝子												
金物	丁番・シリンダー錠・附属金物一式		丁番・シリンダー錠・附属金物一式		丁番・シリンダー錠(サムターン付)・附属金物一式		丁番・把手・マグネットキャッチ・附属金物一式		丁番・シリンダー錠(サムターン付)・DC		丁番・把手・マグネットキャッチ・附属金物一式	
備考									戸当・フランス落し・附属金物一式			
符号	AC1	1	AC2			1			AP1			1
室名	2階湯沸室		3階研修室						2階事務室			
形状												
材種・仕上/見込	アコーディオンカーテン(防炎加工)		アコーディオンカーテン(防炎加工)						アルミ製(規格色) 50			
開閉勝手	片引込み		両引分け						パーティション(ポリ合板フラッシュ)			
硝子												
金物	左右ハンドル取付・レール・マグネットキャッチ・附属金物一式		左右ハンドル取付・レール・マグネットキャッチ・附属金物一式						支柱・附属金物一式			
備考												

REVISION
----------

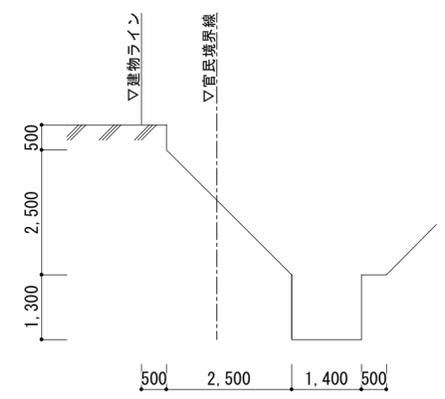

**株式会社 川 建築事務所**  
 KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE  
 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)

TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図
DRAWING	(既設・撤去) 建具表 (2)
	S=1/50

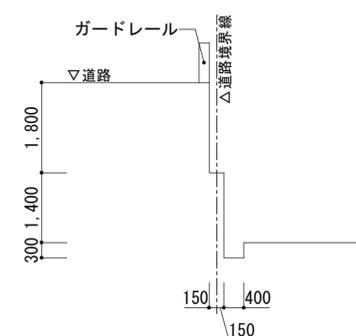
FILE No.	A-55
SHEET No.	A-55
DATE	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一
DESIGNER	一級建築士事務所登録第(特)326-6号
CHECK	
DRAWN	



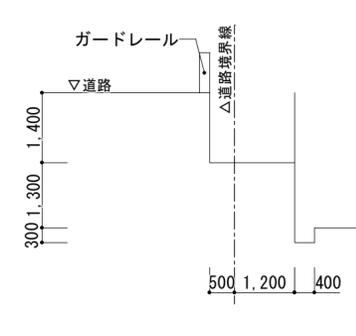
既存コンクリート・アスファルト撤去部分



A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100



C-C' 断面図 S=1/100

REVISION	 <b>株式会社 川 建築事務所</b> KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 493-8 Hirokawa-cho Arida-gun Wakayama-ken Japan 〒643-0071 Phone(0737)64-1800(代)	TITLE	文化財拠点施設本館(歴史民俗資料館)改修建築工事 設計図	一級建築士大臣登録第142989号 川 宗一	DATE	DESIGNER	CHECK	DRAWN	SHEET No.
		DRAWING	(既設) 外構図	S=1/200	一級建築士事務所登録第(ト)326-6号				A-56